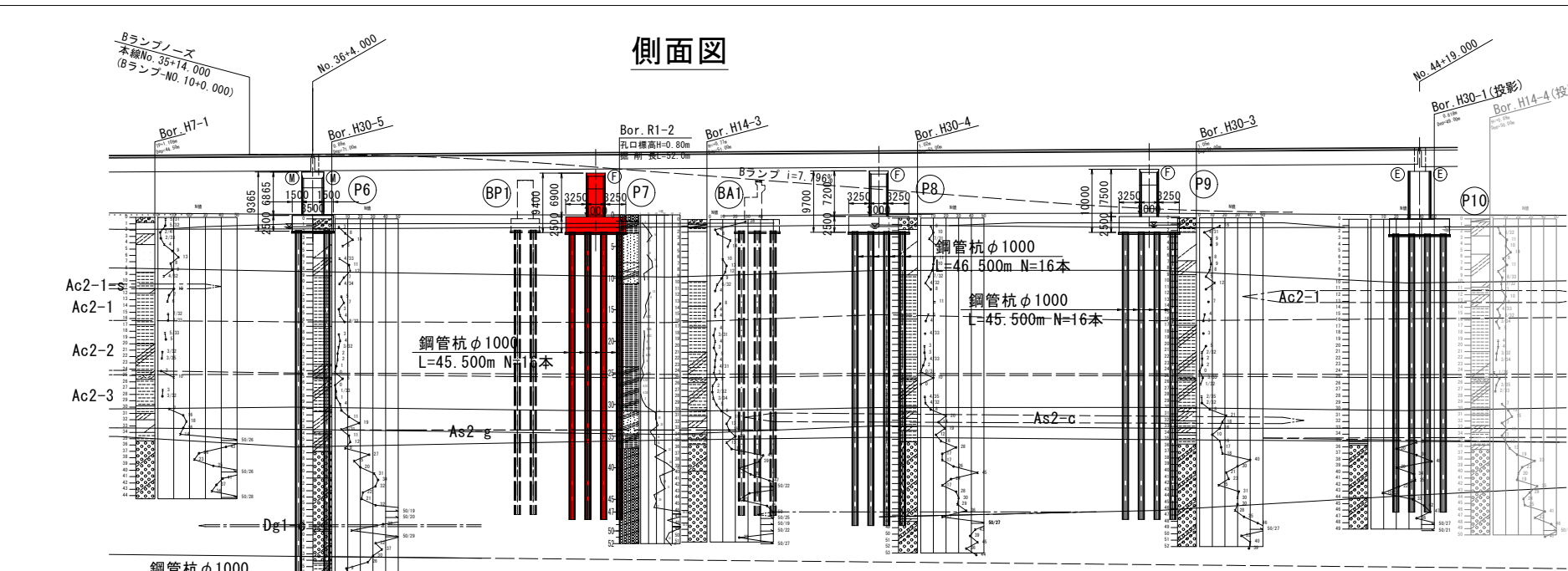
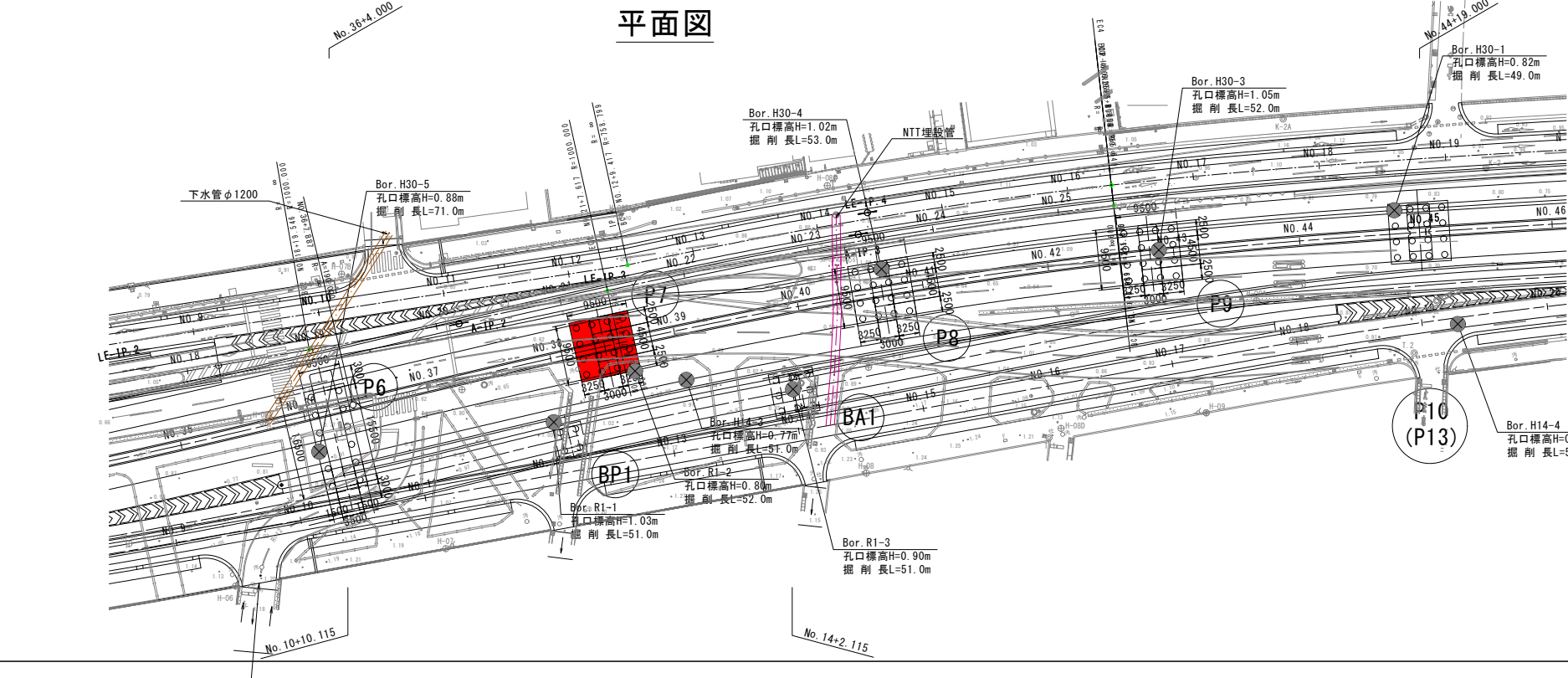


## 図 面 目 録 (当初)

図面 番号	図 面 名 称	備 考	図面 番号	図 面 名 称	備 考
1	橋梁一般図(本線P6-P10径間)		31	BP1橋脚配筋図 ( その 1 )	
2	橋梁一般図(Bランプ)		32	BP1橋脚配筋図 ( その 2 )	
3	下部工位置図(本線P6-P10径間)		33	BP1橋脚配筋図 ( その 3 )	
4	下部工位置図(Bランプ)		34	BP1橋脚配筋図 ( その 4 )	
5	P7橋脚構造図		35	BP1橋脚鋼管杭詳細図	
6	P7橋脚配筋図 ( その 1 )		36	BP1橋脚土留工詳細図	
7	P7橋脚配筋図 ( その 2 )				
8	P7橋脚配筋図 ( その 3 )				
9	P7橋脚配筋図 ( その 4 )				
10	P7橋脚配筋図 ( その 5 )				
11	P7橋脚配筋図 ( その 6 )				
12	P7橋脚配筋図 ( その 7 )				
13	P7橋脚鋼管杭詳細図				
14	P7橋脚土留工詳細図				
15	BA1橋台構造図 ( その 1 )				
16	BA1橋台構造図 ( その 2 )				
17	BA1橋台配筋図 ( その 1 )				
18	BA1橋台配筋図 ( その 2 )				
19	BA1橋台配筋図 ( その 3 )				
20	BA1橋台配筋図 ( その 4 )				
21	BA1橋台配筋図 ( その 5 )				
22	BA1橋台配筋図 ( その 6 )				
23	BA1橋台配筋図 ( その 7 )				
24	BA1橋台配筋図 ( その 8 )				
25	BA1橋台配筋図 ( その 9 )				
26	BA1橋台配筋図 ( その 10 )				
27	BA1橋台鋼管杭詳細図				
28	BA1橋台土留工詳細図				
29	BA1橋台背面排水工計画図(参考図)				
30	BP1橋脚構造図				



項目	No. 35	No. 36	K4-1 K4-2	No. 37	No. 38	No. 39	No. 40	KE4-1	No. 41	No. 42	KE4-2	No. 43	No. 44	No. 45
計画高	10.270	10.390	10.390	10.510	10.630	10.750	10.870	10.902	10.990	11.110	11.177	11.230	11.350	11.470
地盤高	0.760	0.695	0.734	0.501	0.562	0.598	0.606	0.631	0.698	0.747	0.866	1.041	1.019	0.781
追加距離	700.000	720.000	727.887	740.000	760.000	780.000	800.000	805.400	820.000	840.000	851.080	860.000	880.000	900.000
点間距離	20.000	20.000	7.887	12.113	20.000	20.000	20.000	5.400	14.600	20.000	11.080	8.920	20.000	20.000
測点	No. 35	No. 36	K4-1 K4-2	No. 37	No. 38	No. 39	No. 40	KE4-1	No. 41	No. 42	KE4-2	No. 43	No. 44	No. 45
曲線	A2=190 A3=232.936 A4=232.936 <small>IP-4 IA=10°5'0" - A3=232.936 R=700.000 A4=232.936 L3=77.513 LC=45.680 L4=77.513</small>													
片勾配すりつけ図	右+2.0% 0% 左+2.0% 左+3.0% 左+3.0% 左+2.0% 左-2.0% 右-2.0% 右-3.0% 右-3.0% 右-2.0%													
幅	60000 47513 W=0.10 15503 62010													



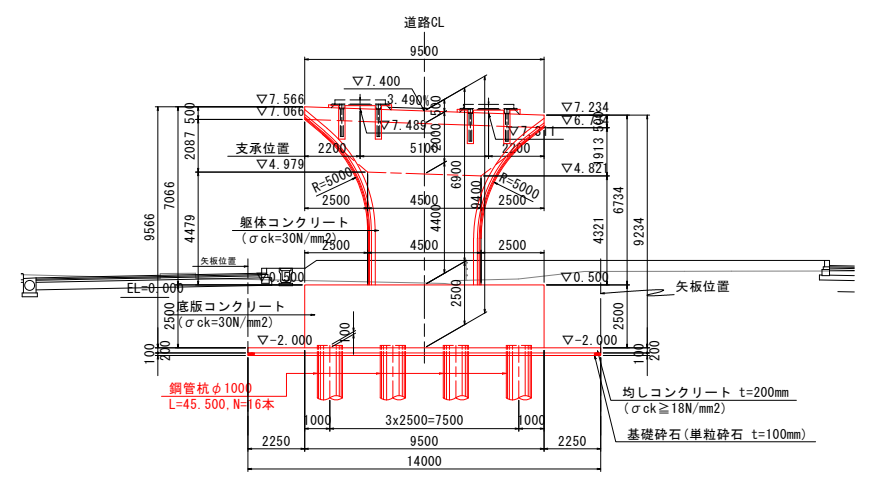
## 橋梁一般図 S=1:500

### 本線P6-P10径間

設計条件		設計概要	
路線	徳島東環状線	下部工	限界状態設計法、部分係数設計法 非線形時刻応答解析
道路規格	第4種 第1級	基礎工	限界状態設計法、部分係数設計法
設計速度	V=60km/h	地盤条件	南北に延びる本計画線は、上部部を除けばほぼ均一な地形性状であると考えられるが、東西方向への連続性は低く、複雑な地層構成を呈する。
設計荷重	B活荷重	地質	盛土層・沖積粘性土・砂質土層 ~ 洪積粘性土・礫質土層
大型車交通量	1,140 台/日・1方向 (※将来(H42)交通量推計)	支持層	洪積礫質土層(Dg1) ※Dg1層でN値≥30を安定して満たしていない場合はDg2層を支持層とする
計画交通量	28,500 台/日 (※将来(H42)交通量推計)	液状化の有無	B層, As1層, Ac2-1-s層において液状化が生じる
交差物件	側道	材料の条件	
橋名	徳島東環状線高架橋 (本線P6-P10径間)	下部	コンクリート P6橋脚: σck=24N/mm <sup>2</sup> , P7-P9橋脚: σck=30N/mm <sup>2</sup>
幾何条件		鉄筋	SD345, SD490 (P7-P9橋脚主鉄筋に使用)
橋脚		鋼管杭	SKK400
総幅員	W=18.900m+最大100mmの拡幅	基礎	鉄筋 SD345, SD490 (P7-P9橋脚枕頭鉄筋に使用)
有効幅員	W=18.250m (1.25+7.00+1.75+7.00+1.25)	製作-施工	
斜角	θ = 90° 00' 00"	下部工	現場打設
平面線形	R=700.000m~緩和曲線区間	基礎工	鋼管杭: 中掘工法(セメントミルク噴出攪拌方式)
縦断勾配	i=0.600% ( / )	支承	橋軸方向: P6終点側=可動, P7-P9=固定, P10起点側=分散直角方向: 全橋脚固定
横断勾配	i=3.000%~-3.000%	荷重条件(耐震条件)	
橋の重要度区分	B種の橋	定期点検 (5年/回)	下部工: 検査路及び梯子を利用して実施
地盤種別	皿種地盤	異常時点検	支承、折端部、柱基部に対し、地上または橋面及び検査路で実施
地域別補正係数	A2地域: C2=1.000, C1z=1.000, CIIz=1.000	その他	
耐震性能	永続作用及び変動作用: 限界状態1 偶発作用: 限界状態2	適用基準	道路橋示方書・同解説 平成29年11月(日本道路協会) 設計便覧(案) 平成30年7月(四国地方整備局)
設計水平震度	L1地震: kh=0.30 L2地震: kh=1.20(Type1), kh=1.50(Type2)		

## 下部工構造図 S=1:150

### P7橋脚

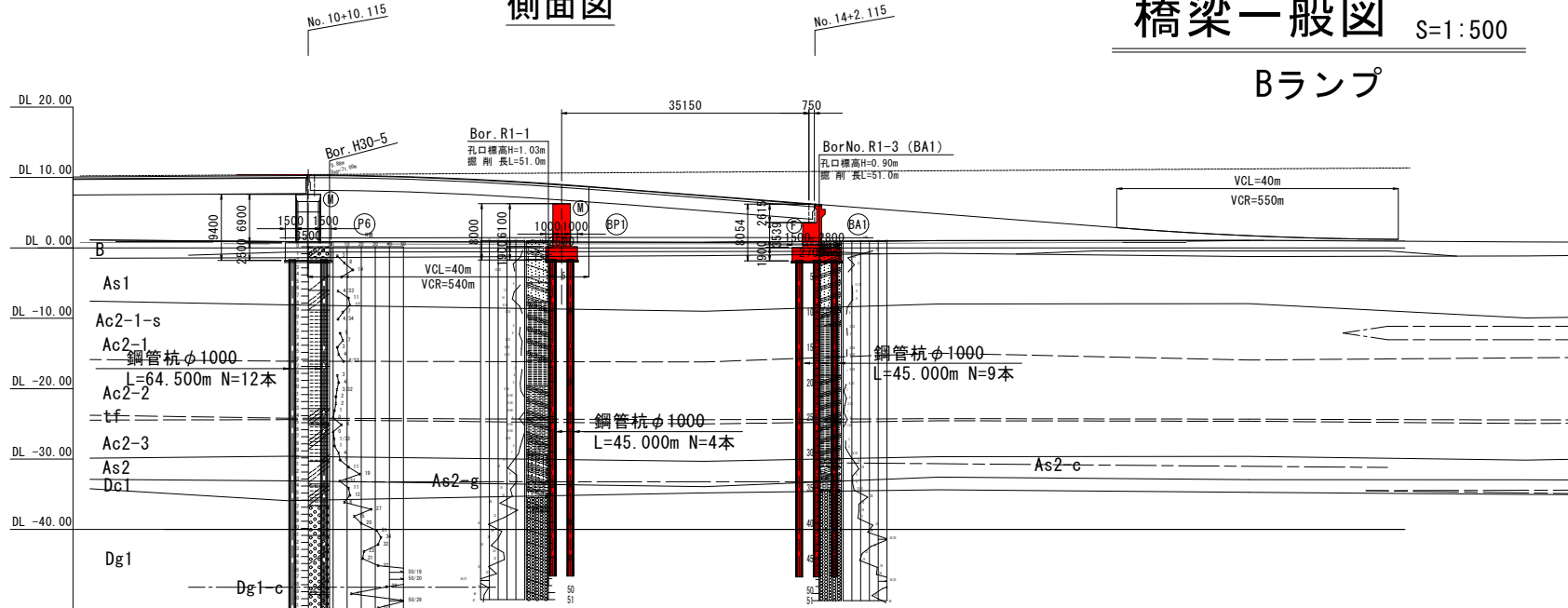


工事名	R1徳島 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	橋梁一般図(本線P6-P10径間)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)

# 橋梁一般図 S=1:500

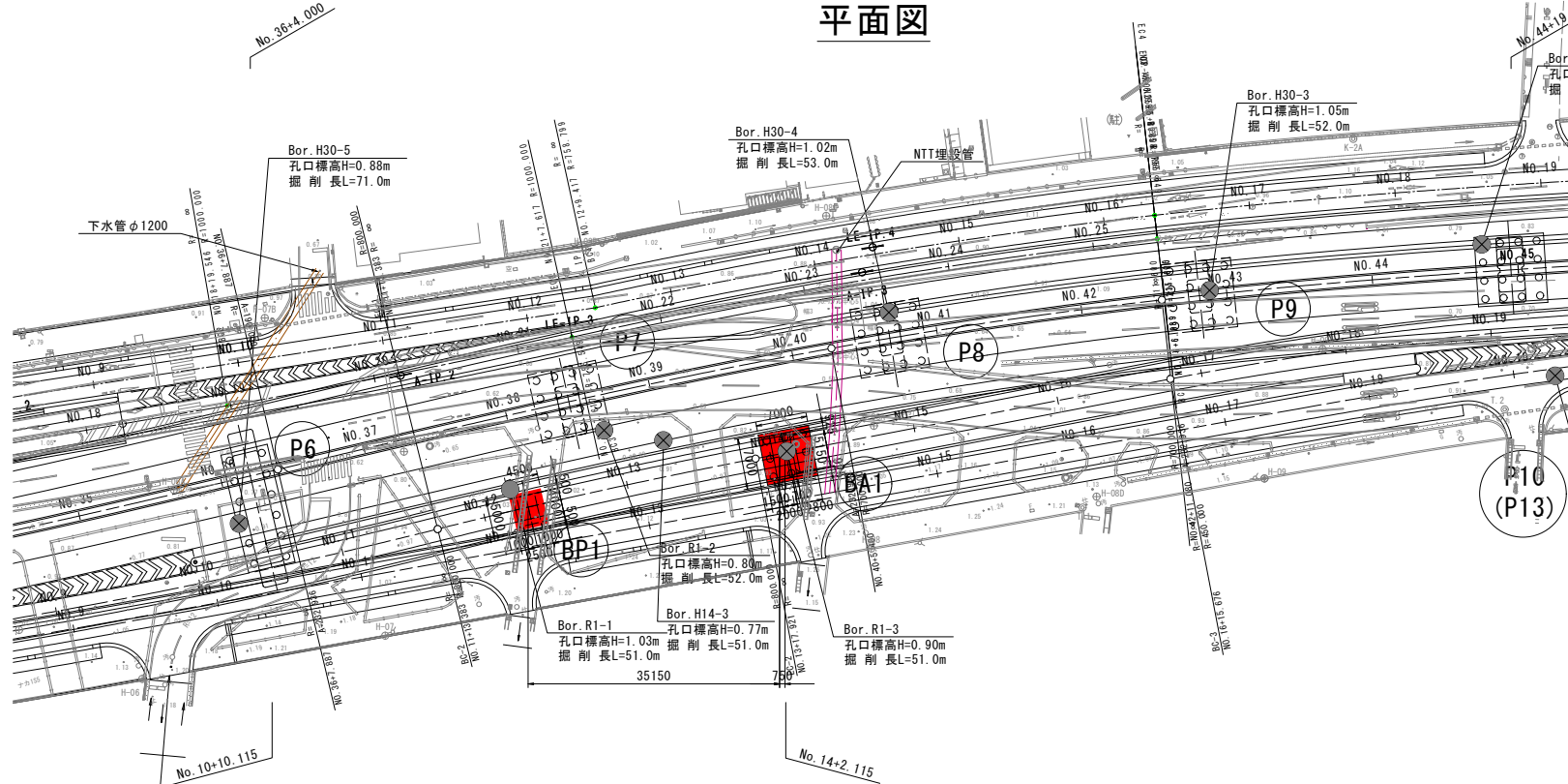
## Bランプ

### 側面図



縦断勾配	Dc2																		
計画高	Dc2-s																		
地盤高	Dg2																		
追加距離	180.000	200.000	220.000	230.000	233.383	240.000	260.000	277.921	280.000	300.000	320.000	335.676	340.000	345.000	360.000	365.000	380.000		
単距離	20.000	20.000	9.885L	10.000	3.383L	6.617L	14.996L	17.921	0.398L	20.000	20.000	15.676L	4.324L	5.000L	15.000L	5.000L	15.000L	15.000L	
測点	No. 9	No. 10 (水線)	No. 11	+10.000	EC. 1, BC. 2	No. 12	No. 13	EC. 2	No. 14	No. 15	No. 16	BC. 3	No. 17	+5.000 (右側道)	No. 18	+5.000 (左側道)	No. 19		
平面線形	IP-1 R=800.000, IP-2 R=800.000, R=∞, IP-3 R=450.000																		
片勾配摺付図	左 +2.0% 側道と同勾配, 右 -2.0% 側道と同勾配																		

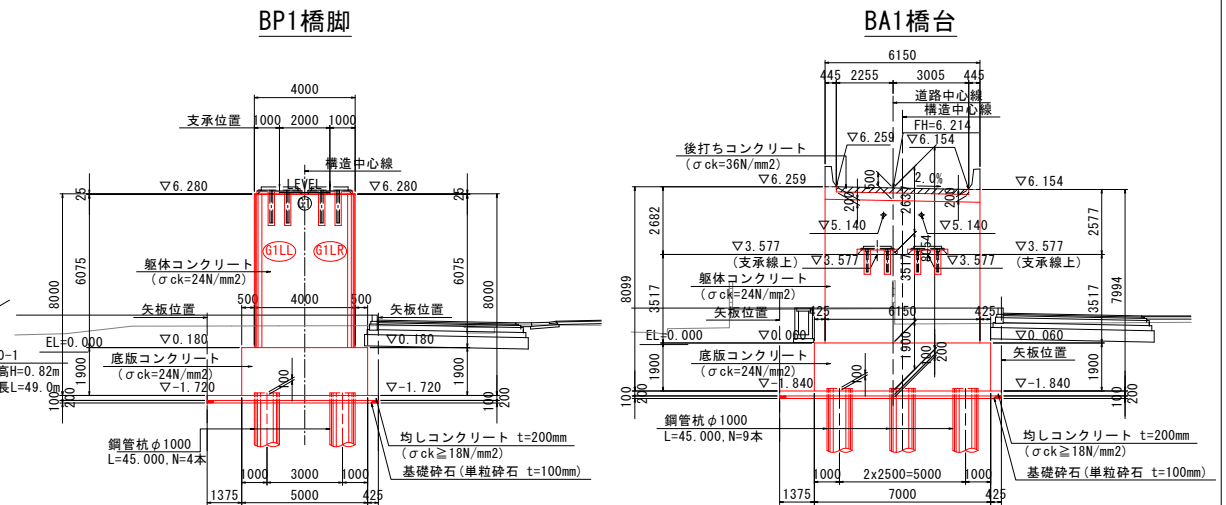
### 平面図



### 設計条件

道路条件		設計概要	
路線	徳島東環状線	下部工	限界状態設計法、部分係数設計法、非線形時刻歴応答解析
道路規格	ランプ B規格	基礎工	限界状態設計法、部分係数設計法
設計速度	V=40km/h	地盤条件	
設計荷重	B活荷重	地形	南北に延びる本計画線は、上層部を除けばほぼ均一な地形性であると見られるが、東西方向への連続性は低く、複雑な地層構成を呈する。
大型車交通量	400台/日・1方向 (※将来(H42)交通量推計)	地質	盛土層・沖積粘性土・砂質土層 ~ 洪積粘性土・礫質土層
計画交通量	4,000台/日 (※将来(H42)交通量推計)	支持層	洪積礫質土層(Dg1) ※Dg1層でN値≥30を安定して満たしていない場合はDg2層を支持層とする
交差物件	側道	液状化の有無	B層, As1層, Ac2-1-s層において液状化が生じる
幾何条件		材料の条件	
橋名	徳島東環状線高架橋 (Bランプ)	下部	コンクリート P6橋脚、BP1橋脚、BA1橋台: σck=24N/mm <sup>2</sup>
支間長	35.100m + 35.150m (道路中心線上)	鉄筋	SD345
総幅員	W=6.150m	鋼管杭	P6橋脚、BA1橋台: SKK400、BP1橋脚: SKK490
有効幅員	W=5.500m (1.50+3.25+0.75)	基礎	鉄筋 SD345
斜角	θ = 90° 00' 00"	製作-施工	
平面線形	R=800.000m~∞	下部工	現場打設
縦断勾配	縦断曲線区間 (i=0.340%~i=7.796%) ( \ )	基礎工	鋼管杭: 中掘工法(セメントミルク噴出撈拌方式)
横断勾配	i=2.000%	維持管理	
構造形式		橋の重要度区分	B種の橋
舗装	アスファルト舗装 t=75mm	地盤種別	Ⅲ種地盤
下部工	鉸支橋脚、壁式橋脚、逆T式橋台	地域別補正係数	A2地域: Cz=1.000, C1Iz=1.000, C1Iz=1.000
基礎工	中掘り鋼管杭	耐震性能	永続作用及び変動作用: 限界状態1 偶発作用: 限界状態2
支承	橋軸方向: P6終点側=可動, BP1=可動, BA1=固定 直角方向: 全下部工固定	定期点検 (5年/回)	下部工: 検査路及び梯子を利用して実施
荷重条件 (耐震条件)		異常時点検	支承、桁端部、柱基部に対し、地または橋面及び検査路で実施
適用基準		その他	
設計水平震度	L1地震: kh=0.30 L2地震: kh=1.20 (Type1), kh=1.50 (Type2)	適用基準	道路標示方書・同解説 平成29年11月 (日本道路協会) 設計便覧 (案) 平成30年7月 (四国地方整備局)

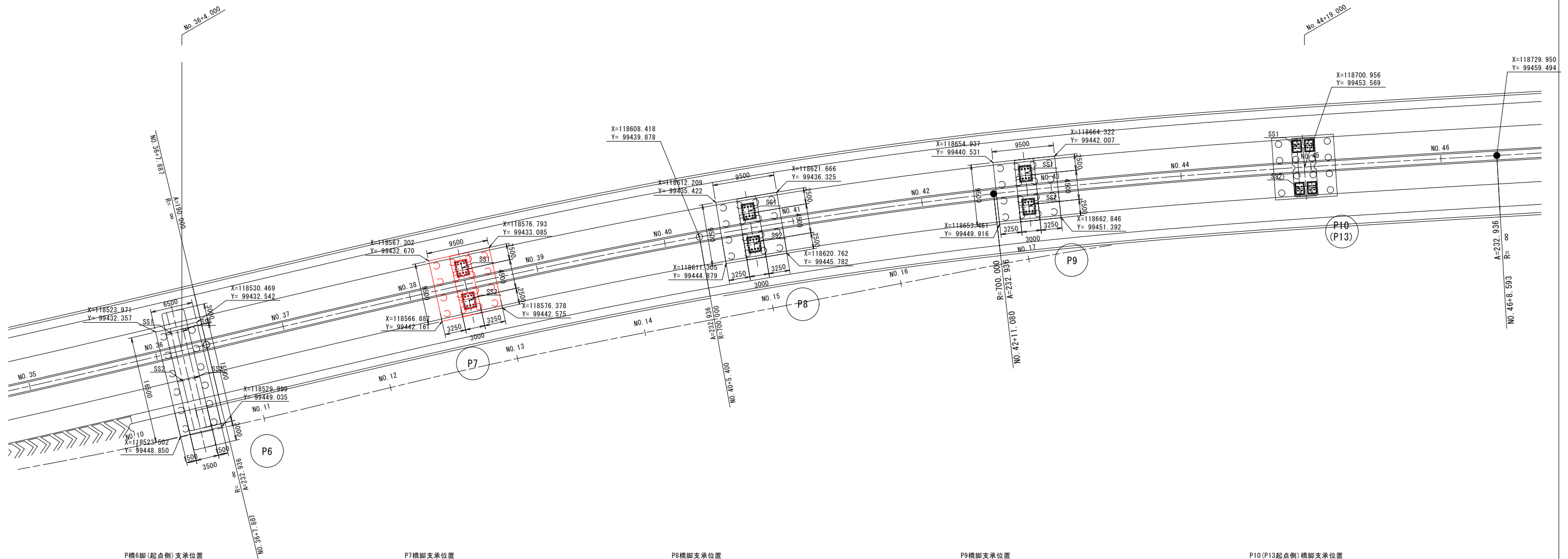
### 下部工構造図 S=1:150



工事名	R1徳島 徳島東環状線 徳島市末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	橋梁一般図 (Bランプ)
縮尺	図示 図面番号
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)

# 下部工位置図 S=1:300

## 本線P6-P10径間



P6橋脚(起点側)支承位置

	X座標 (m)	Y座標 (m)
SS1	118526.247	99433.255
SS2	118526.036	99440.669

P6橋脚(終点側)支承位置

	X座標 (m)	Y座標 (m)
SS1	118528.146	99433.309
SS2	118527.935	99440.723

P6橋脚杭位置

杭座標位置図

	X座標 (m)	Y座標 (m)
1	118524.943	99433.385
2	118524.860	99436.284
3	118524.777	99439.183
4	118524.695	99442.082
5	118524.612	99444.980
6	118524.530	99447.879
7	118529.441	99433.513
8	118529.358	99436.412
9	118529.276	99439.311
10	118529.193	99442.210
11	118529.110	99445.109
12	118529.028	99448.007

P7橋脚支承位置

	X座標 (m)	Y座標 (m)
SS1	118571.951	99438.075
SS2	118571.729	99440.170

P7橋脚杭位置

杭座標位置図

	X座標 (m)	Y座標 (m)
1	118568.257	99433.713
2	118568.148	99436.210
3	118568.039	99438.708
4	118567.930	99441.205
5	118570.755	99438.822
6	118570.646	99436.319
7	118570.537	99438.817
8	118570.427	99441.315
9	118573.252	99433.931
10	118573.143	99436.428
11	118573.034	99438.926
12	118572.925	99441.424
13	118575.750	99439.040
14	118575.641	99436.538
15	118575.532	99442.035
16	118575.423	99444.533

P8橋脚支承位置

	X座標 (m)	Y座標 (m)
SS1	118616.728	99438.063
SS2	118616.243	99443.140

P8橋脚杭位置

杭座標位置図

	X座標 (m)	Y座標 (m)
1	118613.109	99436.512
2	118612.871	99439.001
3	118612.634	99441.489
4	118612.396	99443.978
5	118615.598	99436.750
6	118615.360	99439.238
7	118615.122	99441.727
8	118614.885	99444.216
9	118618.086	99436.987
10	118617.849	99439.476
11	118617.611	99441.965
12	118617.373	99444.453
13	118620.575	99437.225
14	118620.337	99439.714
15	118620.100	99442.202
16	118619.862	99444.691

P9橋脚支承位置

	X座標 (m)	Y座標 (m)
SS1	118659.288	99443.443
SS2	118658.495	99448.481

P9橋脚杭位置

杭座標位置図

	X座標 (m)	Y座標 (m)
1	118655.770	99441.674
2	118655.381	99444.144
3	118654.993	99446.614
4	118654.604	99449.083
5	118658.239	99442.063
6	118657.851	99444.532
7	118657.462	99447.002
8	118657.074	99449.472
9	118660.709	99442.451
10	118660.321	99444.921
11	118659.932	99447.391
12	118659.544	99449.860
13	118663.179	99442.840
14	118662.790	99445.309
15	118662.402	99447.779
16	118662.013	99450.249

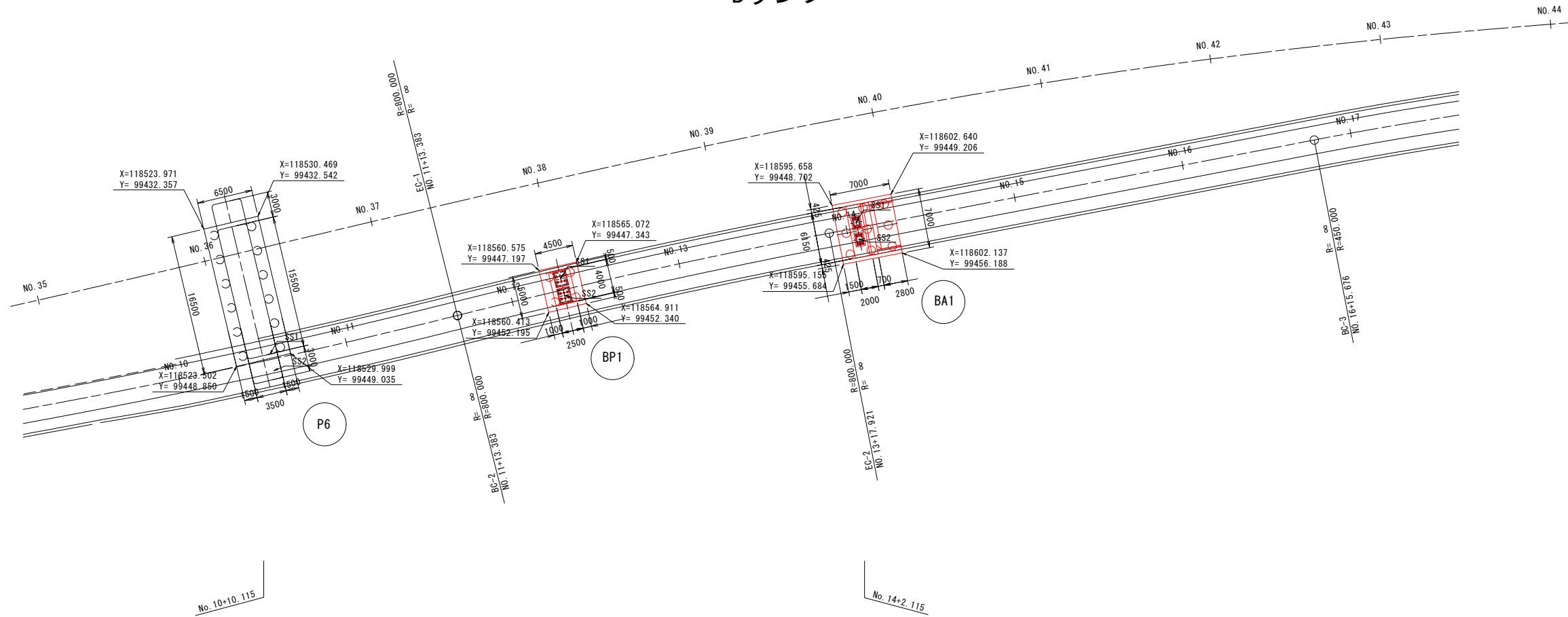
P10(P13起点側)橋脚支承位置

	X座標 (m)	Y座標 (m)
SS1	118700.658	99450.196
SS2	118699.391	99456.571

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	下部工位置図(本線P6-P10径間)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

# 下部工位置図 S=1:300

## Bランプ



**P6橋脚支承位置**

	X座標 (m)	Y座標 (m)
SS1	118527.664	99448.468
SS2	118527.607	99450.467

**BP1橋脚支承位置**

	X座標 (m)	Y座標 (m)
SS1	118562.775	99448.770
SS2	118562.709	99450.769

**BA1橋台支承位置**

	X座標 (m)	Y座標 (m)
SS1	118597.872	99451.369
SS2	118597.728	99453.363

**P6橋脚杭位置**

杭座標位置図

	X座標 (m)	Y座標 (m)
1	118524.943	99433.385
2	118524.860	99436.284
3	118524.777	99439.183
4	118524.695	99442.082
5	118524.612	99444.980
6	118524.530	99447.879
7	118529.441	99433.513
8	118529.358	99436.412
9	118529.276	99439.311
10	118529.193	99442.210
11	118529.110	99445.109
12	118529.028	99448.007

**BP1橋脚杭位置**

杭座標位置図

	X座標 (m)	Y座標 (m)
1	118561.542	99448.229
2	118561.443	99451.228
3	118564.041	99448.311
4	118563.942	99451.310

**BA1橋台杭位置**

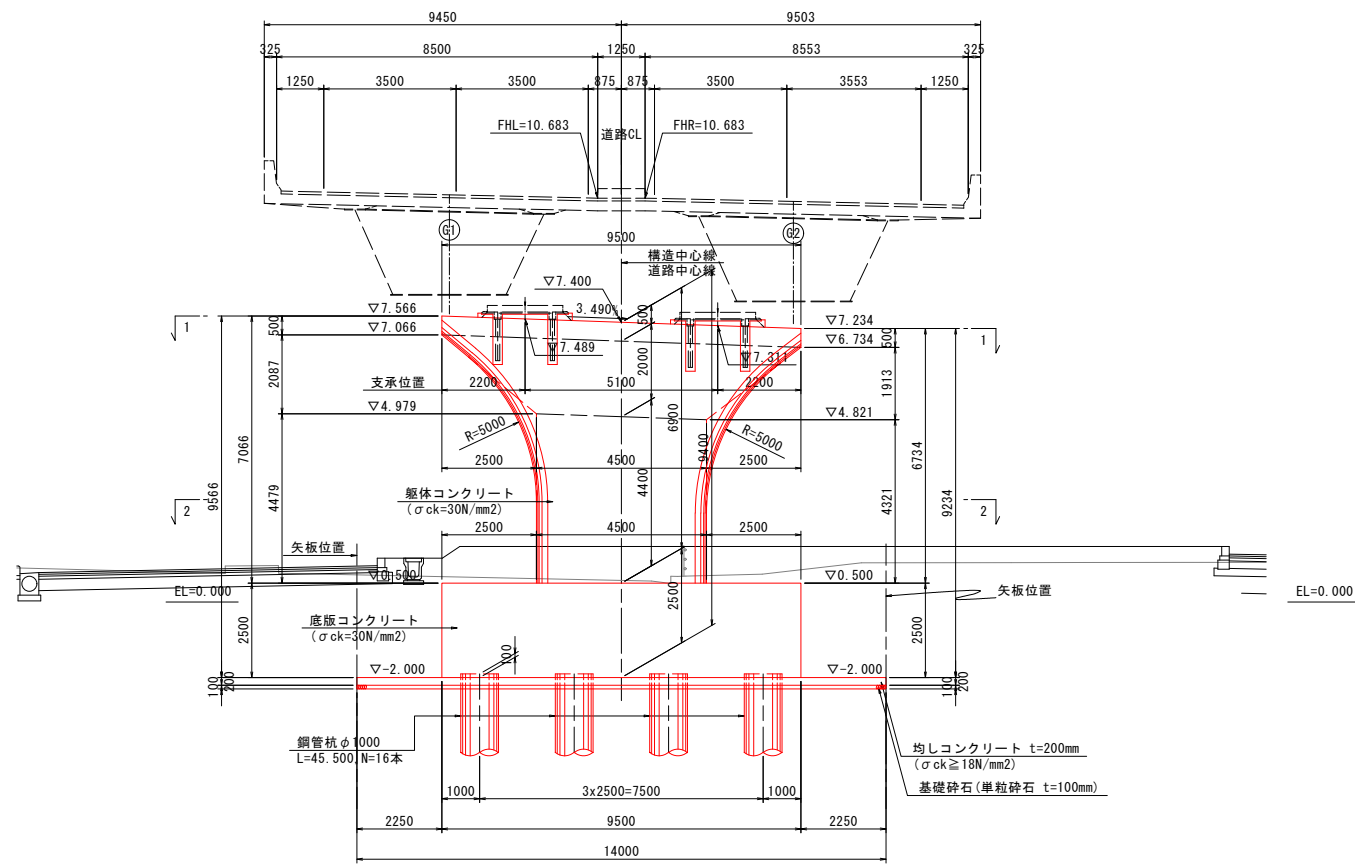
杭座標位置図

	X座標 (m)	Y座標 (m)
1	118596.584	99449.772
2	118596.404	99452.265
3	118596.224	99454.759
4	118599.077	99449.952
5	118598.897	99452.445
6	118598.718	99454.939
7	118601.571	99450.131
8	118601.391	99452.625
9	118601.211	99455.118

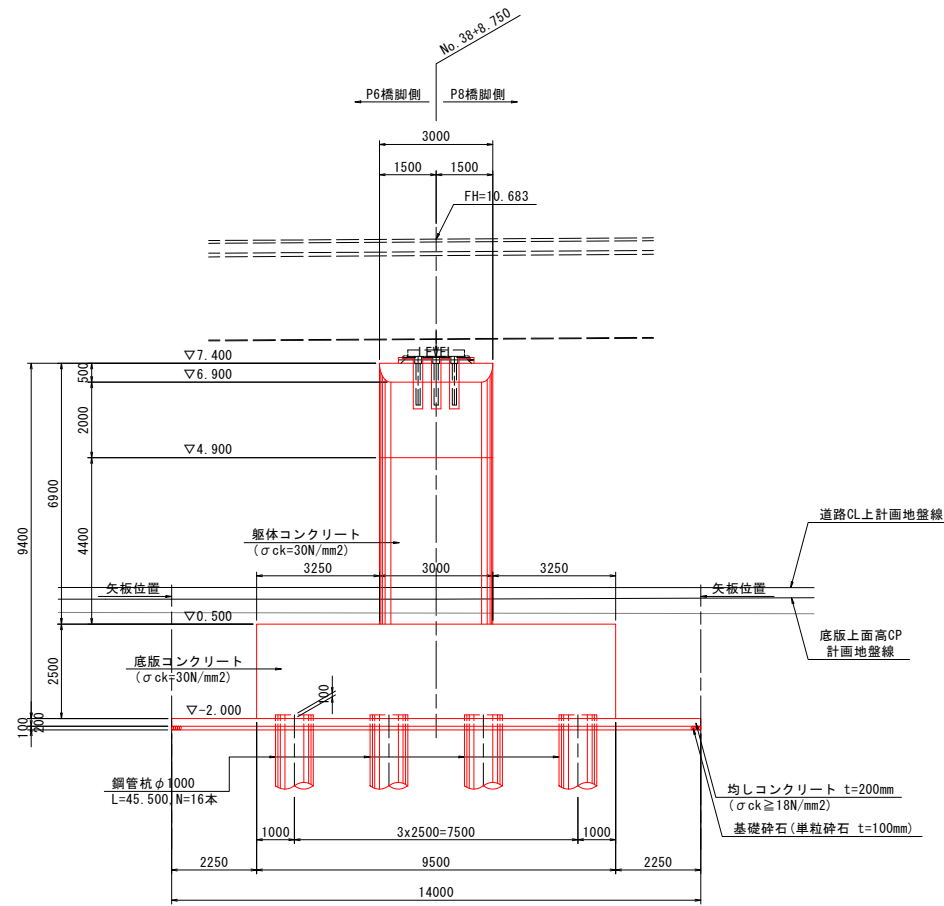
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	下部工位置図 (Bランプ)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

# P7橋脚構造図 S=1:100

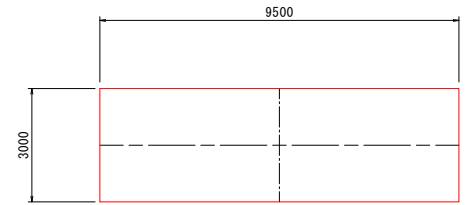
正面図



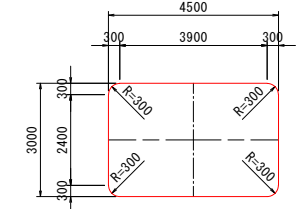
側面図



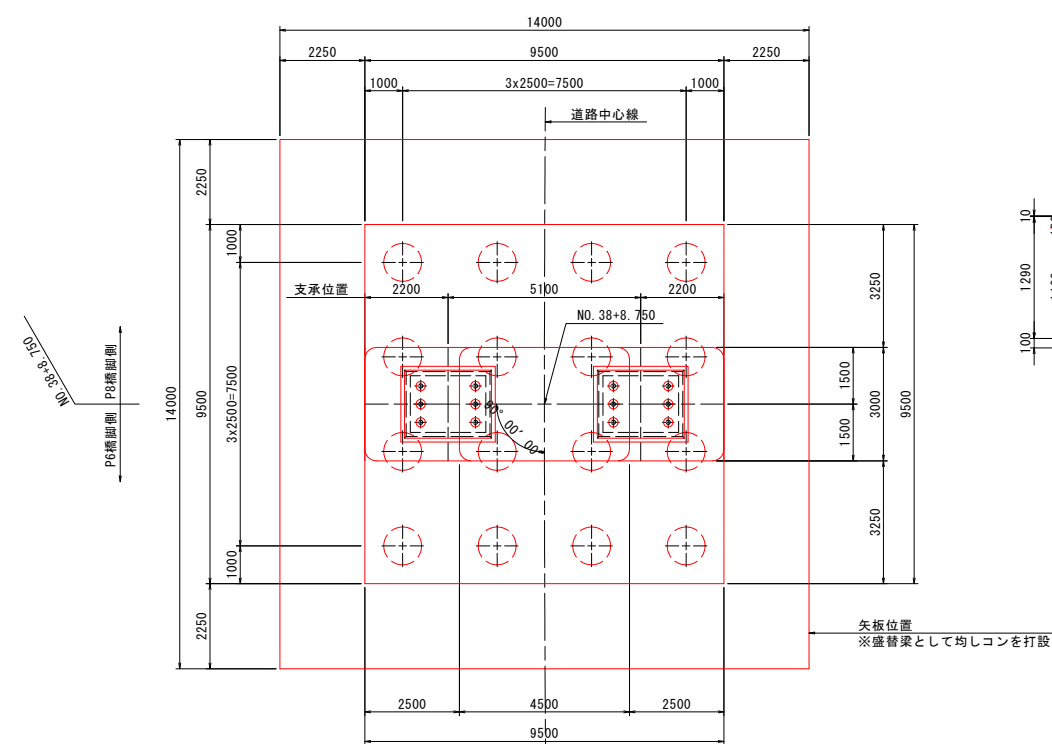
面取り部詳細図 (1-1)



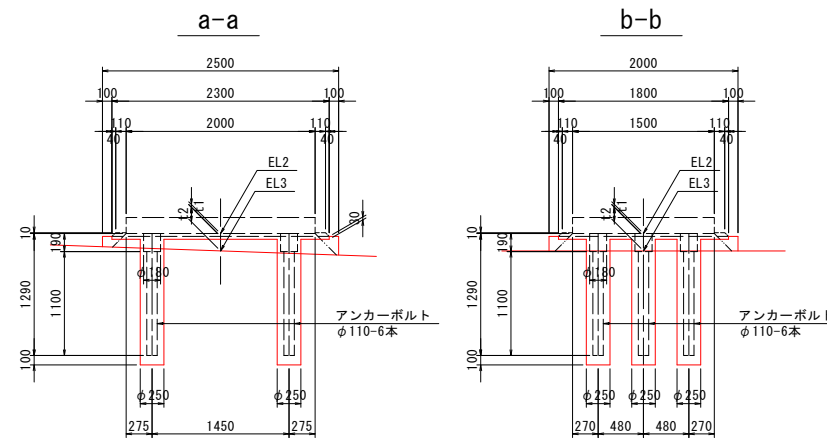
(2-2)



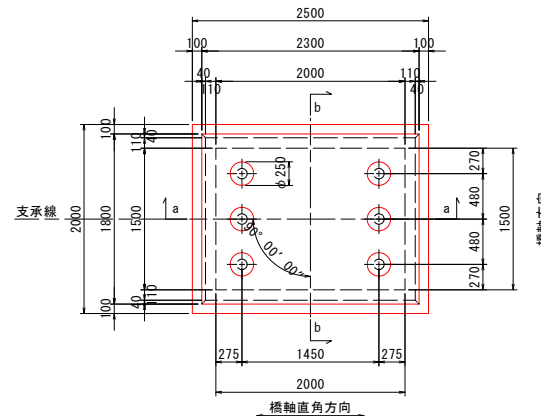
平面図



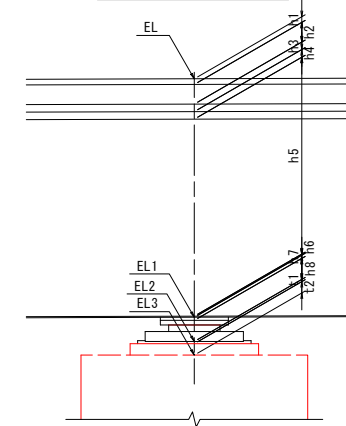
支承箱抜き詳細図 S=1:40



平面図



支承位置断面図

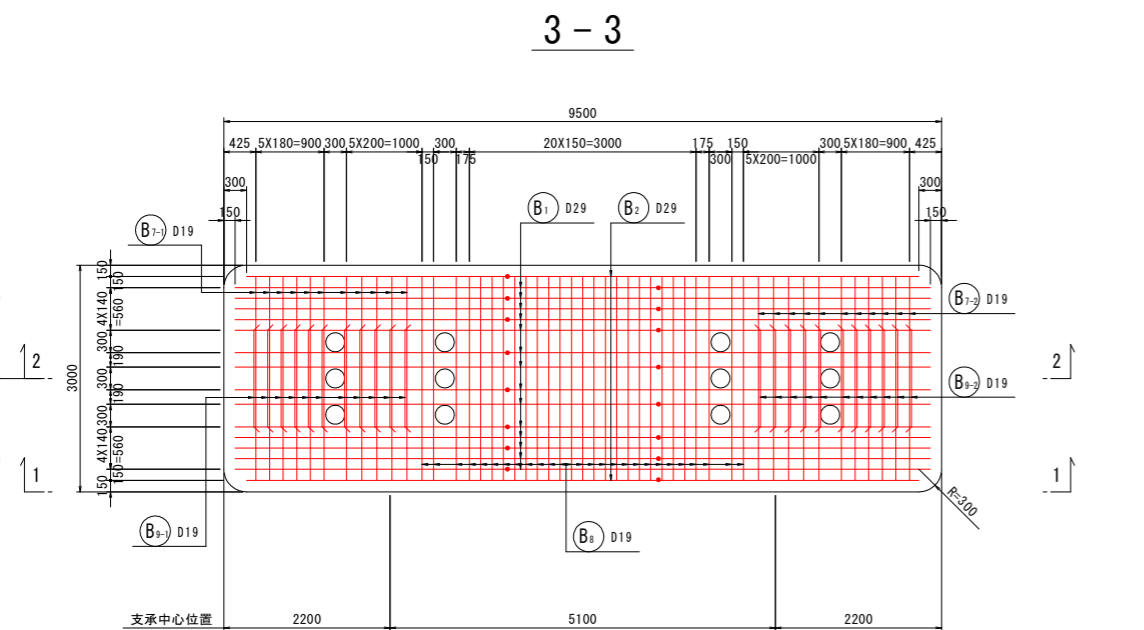
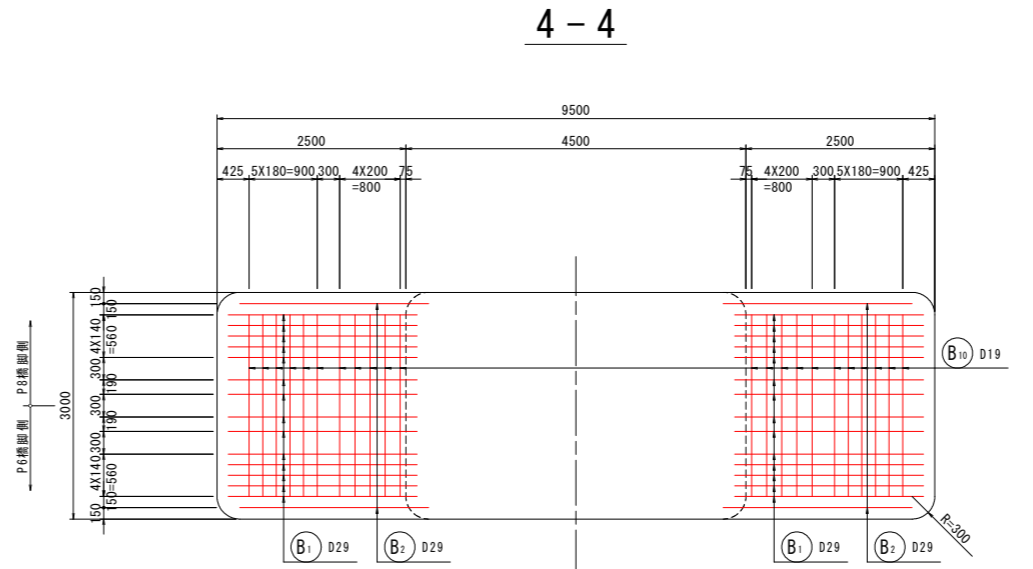
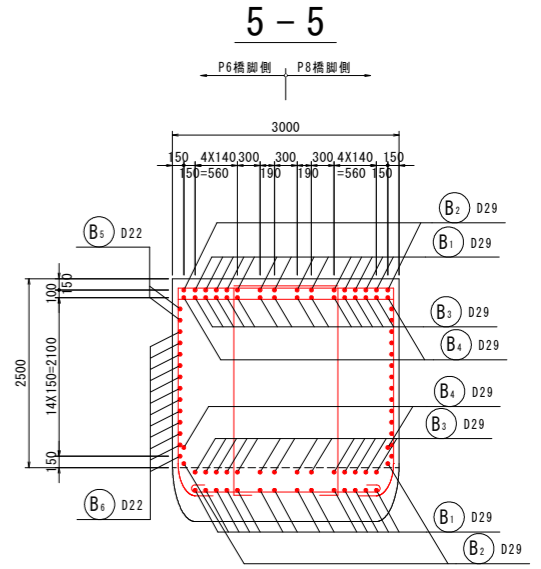
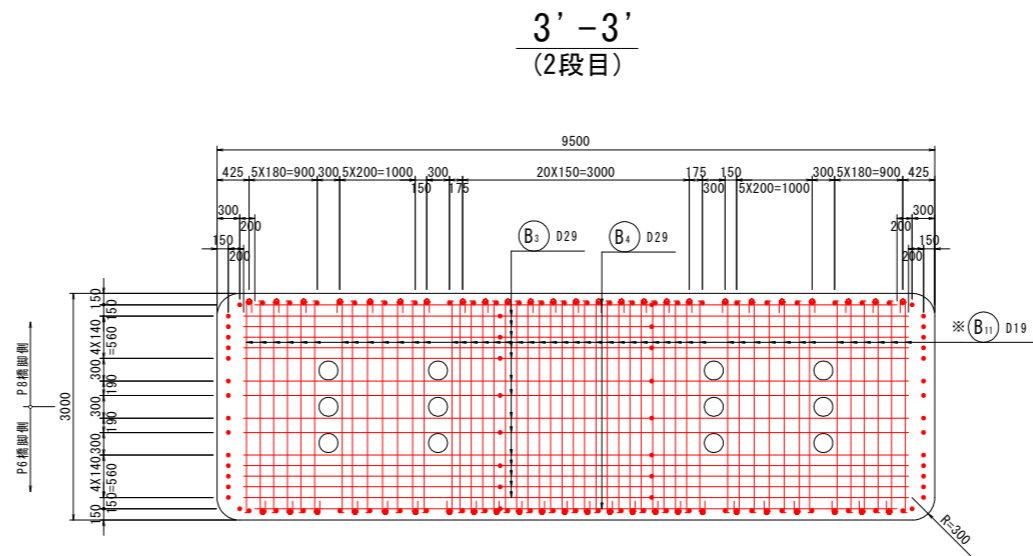
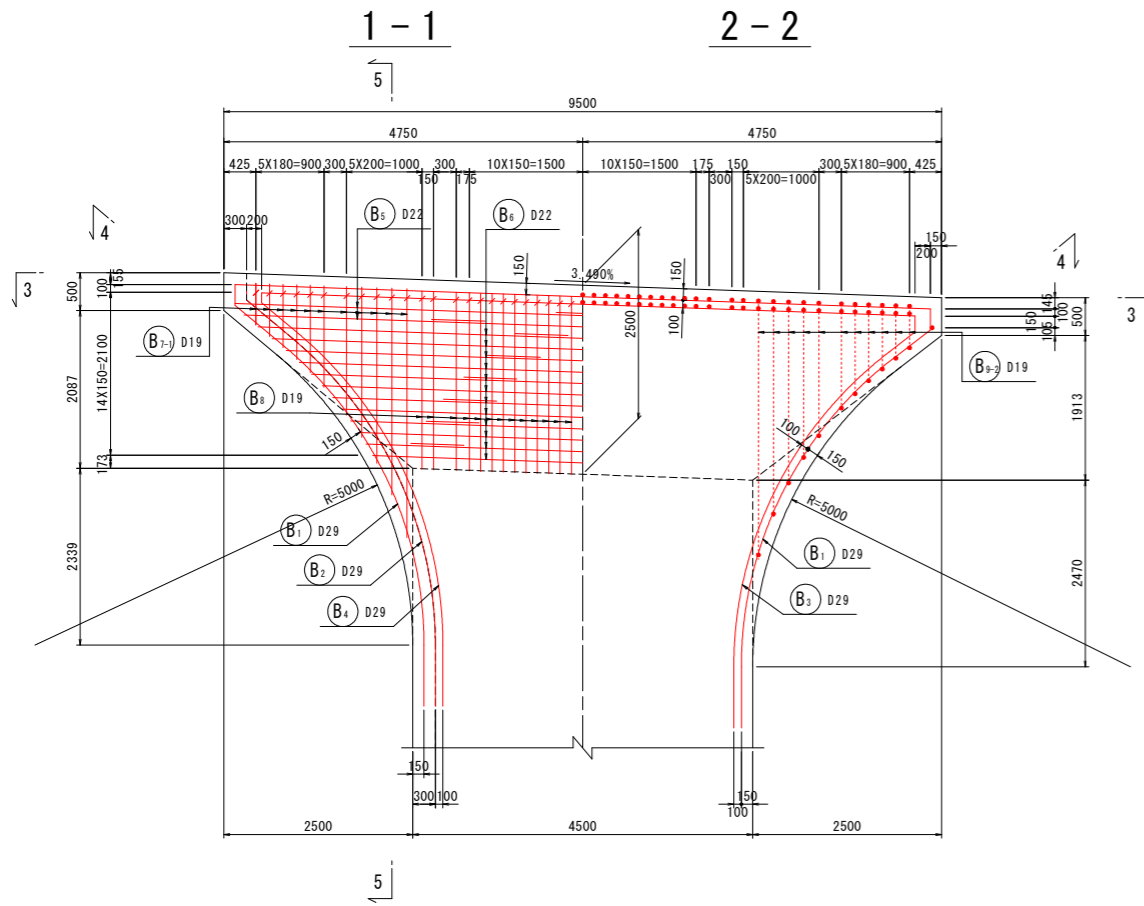


構造高表 (P7上)

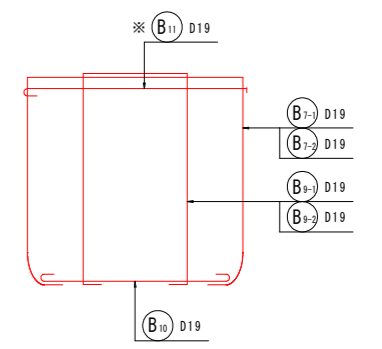
	G1	G1支承部	G2支承部	G2
路面計画高	EL 10.770	10.725	10.640	10.595
舗装厚	h1	0.075	0.075	0.075
床版高	h2	0.270	0.270	0.270
調整コンクリート厚	h3	0.011	-	0.014
ハンチ高	h4	0.100	-	0.100
主桁高	h5	2.200	-	2.200
下フランジ厚	h6	0.020	-	0.020
下フランジ下面高	EL1	8.094	7.916	7.916
ソールプレート厚	h7	-	0.032	-
支承高	h8	-	0.390	-
支承設置高	EL2	-	7.672	7.494
調整モルタル厚	t1	-	0.030	-
台座コンクリート高	t2	-	0.153	-
下部工天端高	EL3	-	7.489	7.311

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	P7橋脚構造図		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

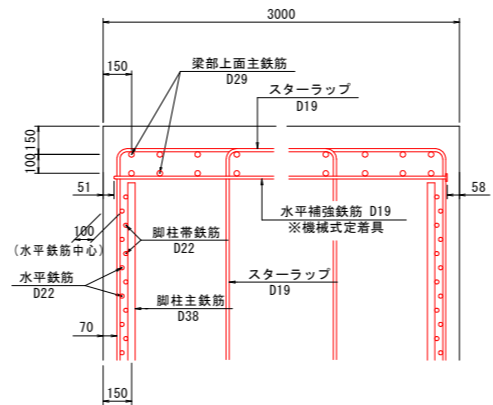
# P7橋脚配筋図(その1) S=1:50



## スターラップ組立図



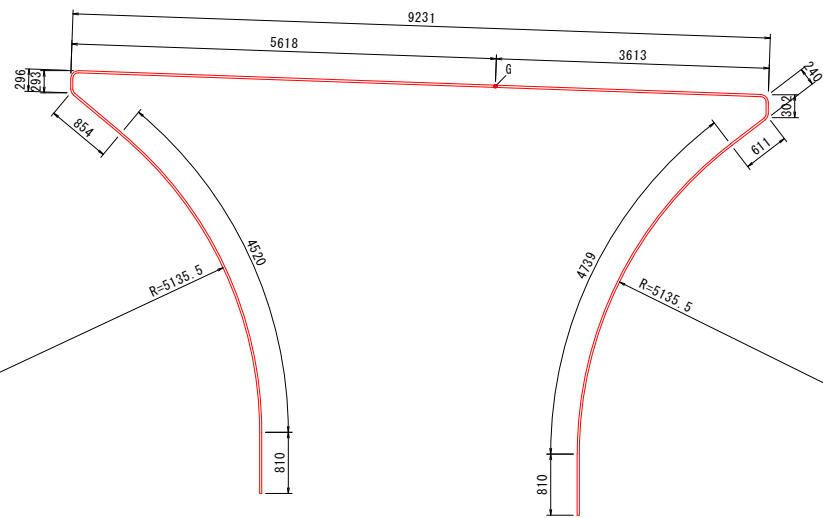
## 梁部かぶり詳細図



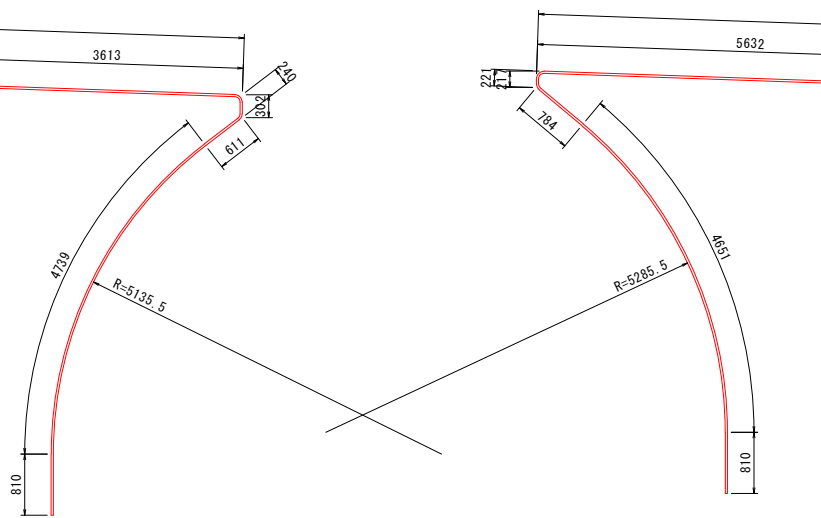
注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

縮小版	5/36
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	P7橋脚配筋図(その1)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

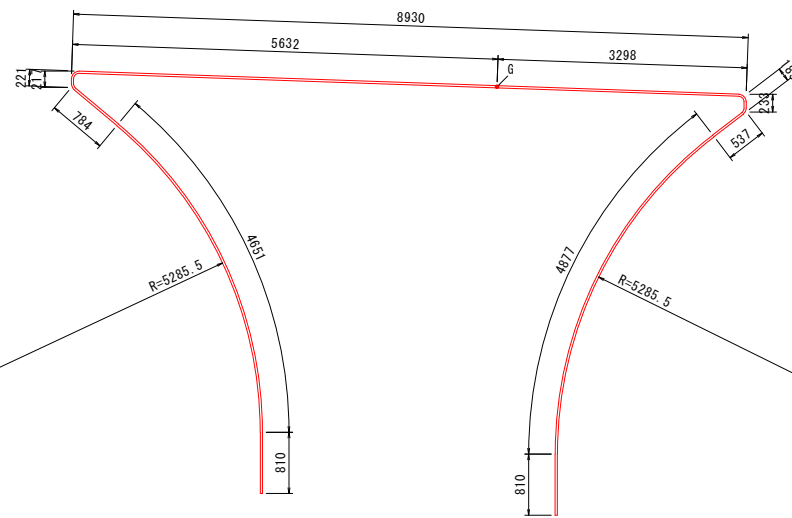
# P7橋脚配筋図(その2) S=1:50



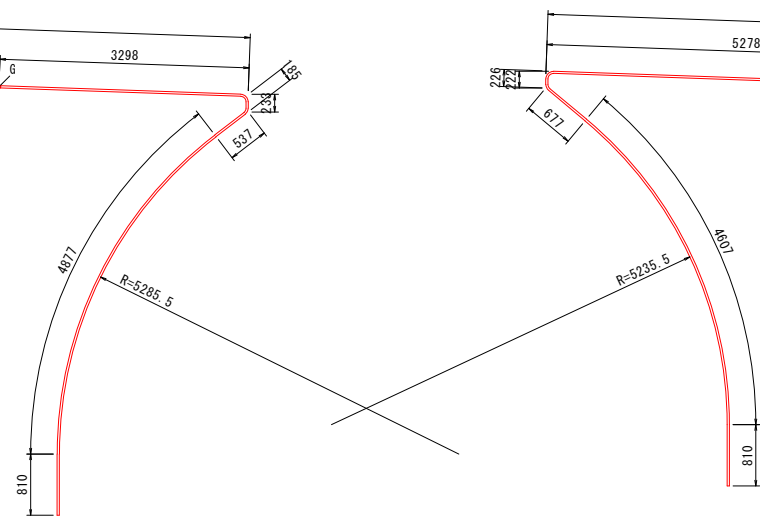
Ⓑ<sub>1-1</sub> 7-D29 X 12000



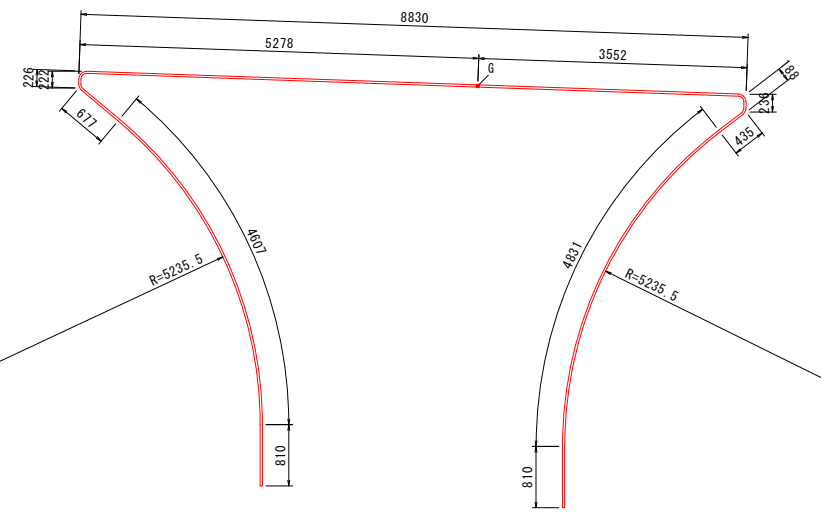
Ⓑ<sub>1-2</sub> 7-D29 X 9980



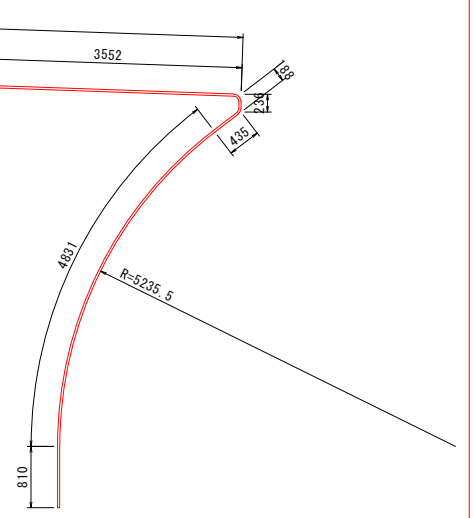
Ⓑ<sub>2-1</sub> 1-D29 X 12000



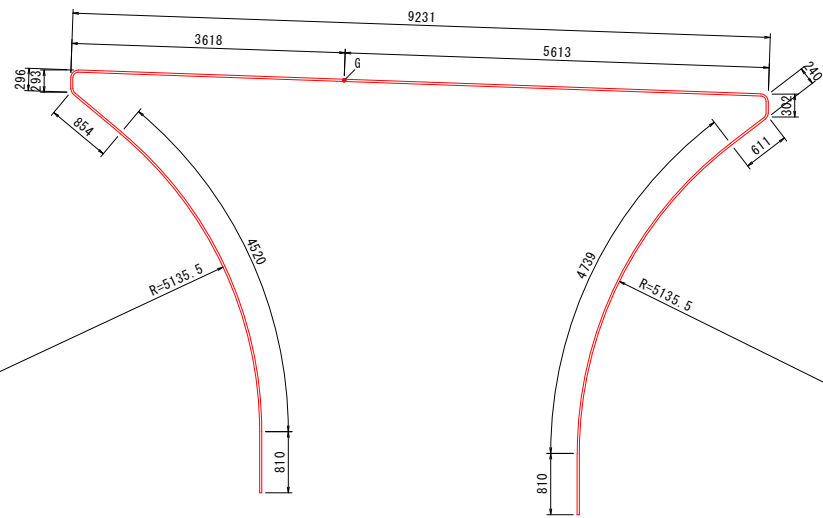
Ⓑ<sub>2-2</sub> 1-D29 X 9660



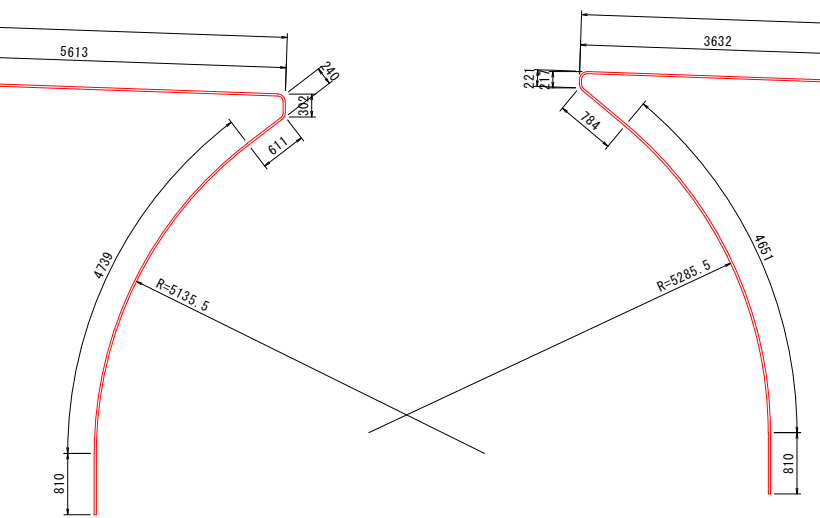
Ⓑ<sub>3-1</sub> 7-D29 X 11500



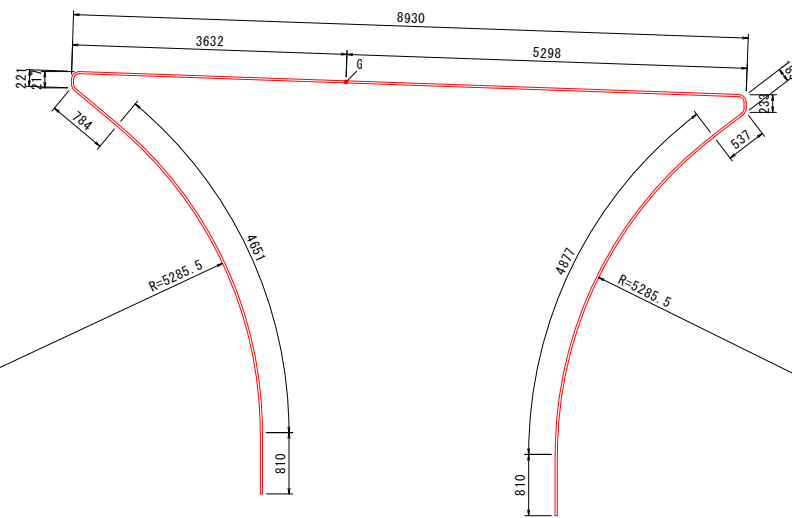
Ⓑ<sub>3-2</sub> 7-D29 X 9770



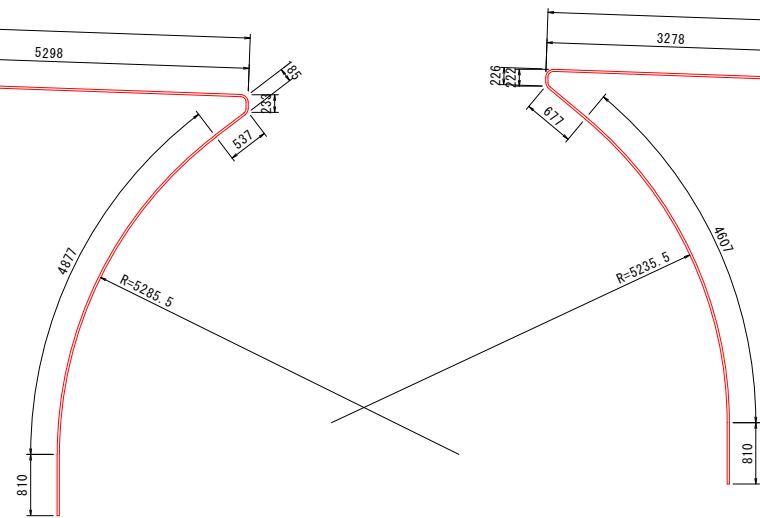
Ⓑ<sub>1-3</sub> 7-D29 X 10000



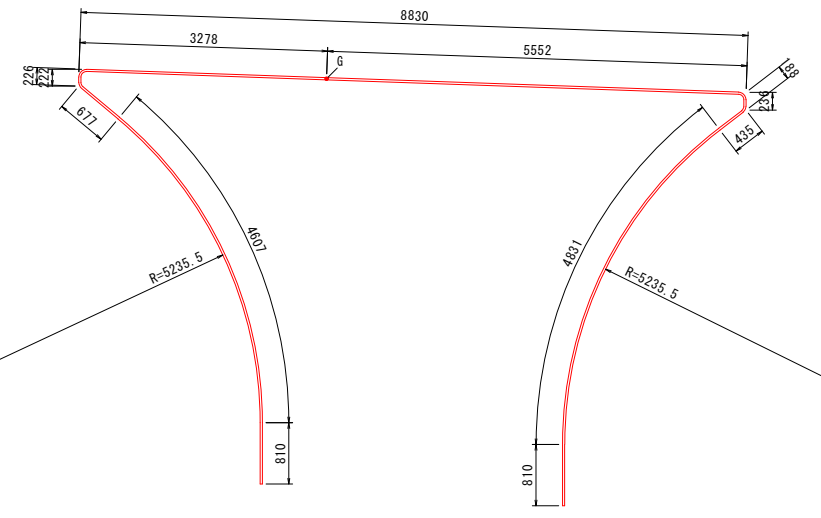
Ⓑ<sub>1-4</sub> 7-D29 X 11980



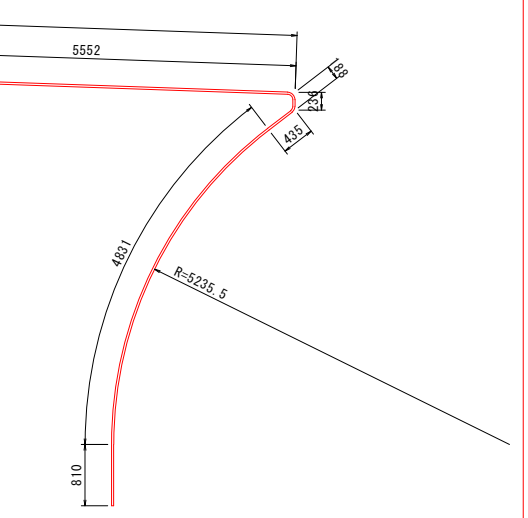
Ⓑ<sub>2-3</sub> 1-D29 X 10000



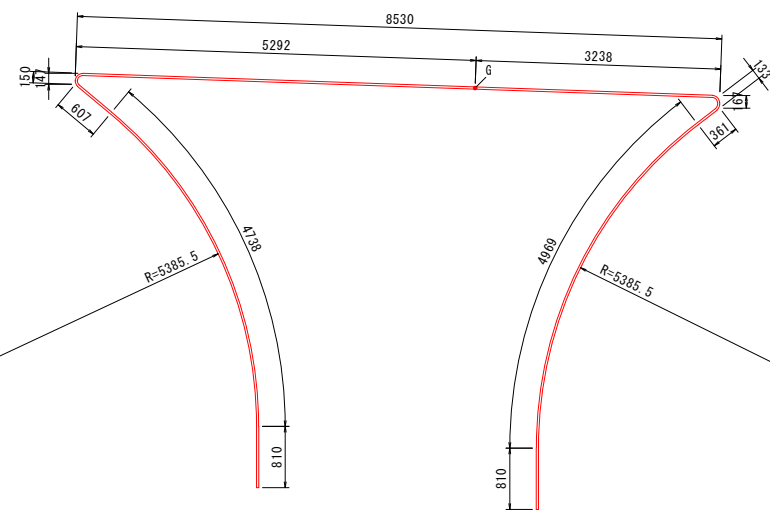
Ⓑ<sub>2-4</sub> 1-D29 X 11660



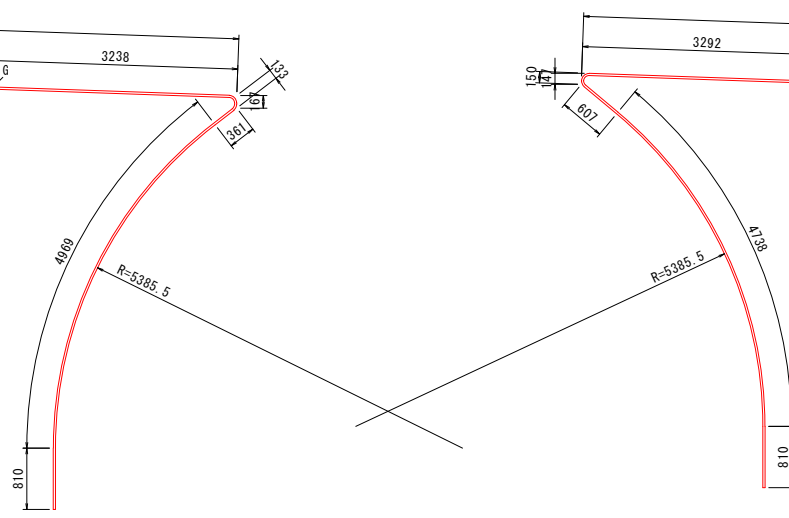
Ⓑ<sub>3-3</sub> 7-D29 X 9500



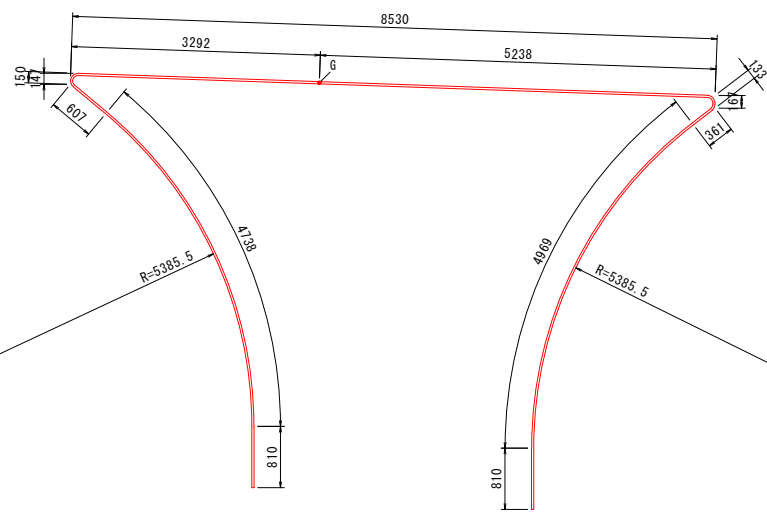
Ⓑ<sub>3-4</sub> 7-D29 X 11770



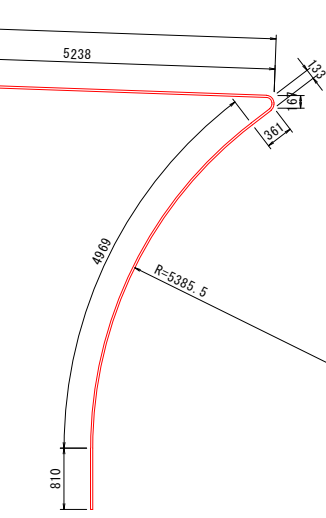
Ⓑ<sub>4-1</sub> 1-D29 X 11500



Ⓑ<sub>4-2</sub> 1-D29 X 9450



Ⓑ<sub>4-3</sub> 1-D29 X 9500



Ⓑ<sub>4-4</sub> 1-D29 X 11450

加工筋曲げ半径	
	曲げ半径(内側)
SD345	2.5φ
SD490	3.5φ

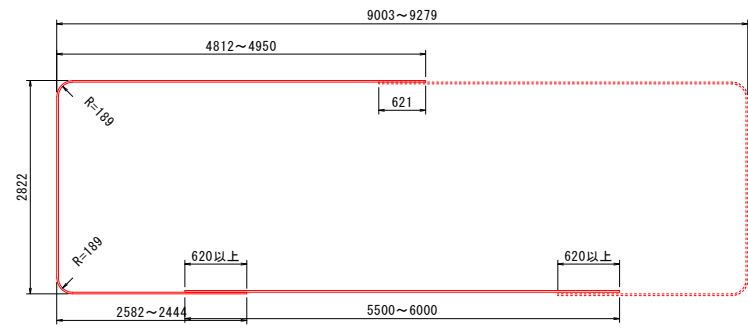
縮小版 7/36

注記 ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記 この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

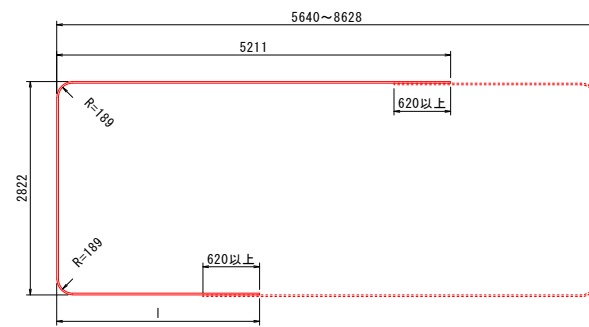
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	P7橋脚配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		



# P7橋脚配筋図(その3) S=1:50



B6-1 4-D22 X 10000 (平均長)  
B6-2 2-D22 X 5750 (平均長)

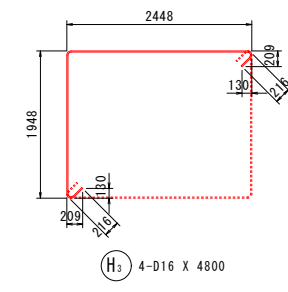
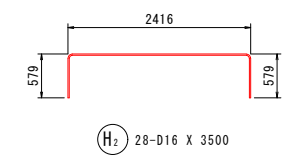
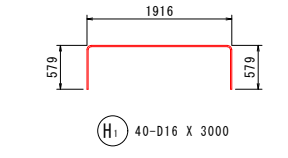
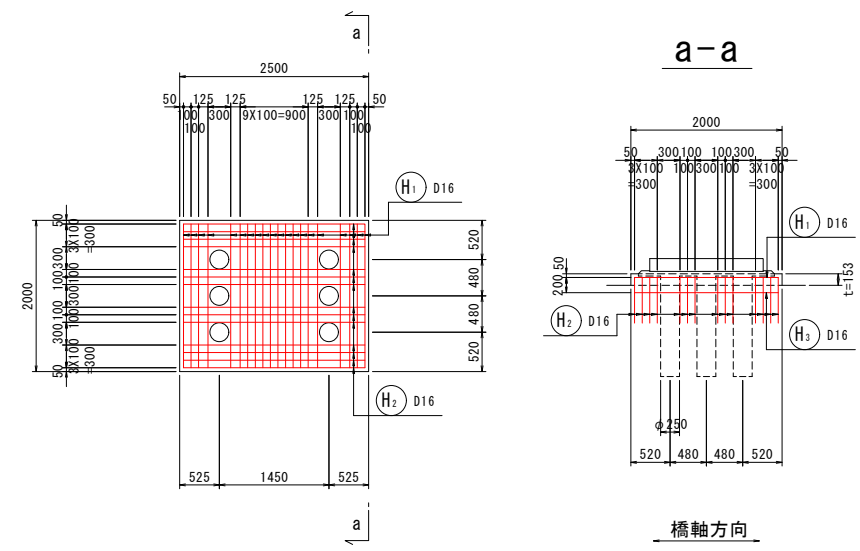


B6 24-D22 X 10380 (平均長)

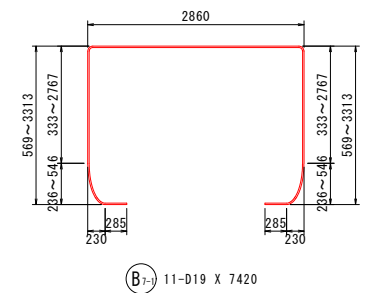
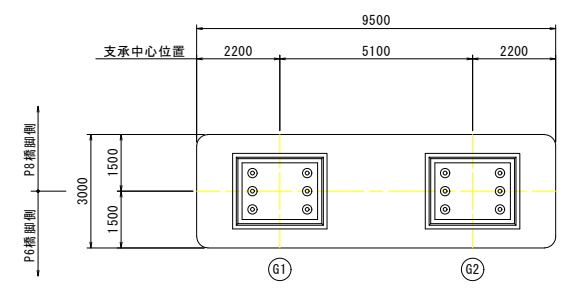
## B4 変化鉄筋表

種別	径	本数	I	L
B 6-1	D22	2	1183	9000
-2	D22	6	1683	9500
-3	D22	4	2183	10000
-4	D22	4	2683	10500
-5	D22	2	3183	11000
-6	D22	4	3683	11500
-7	D22	2	4183	12000
平均長		24		10380

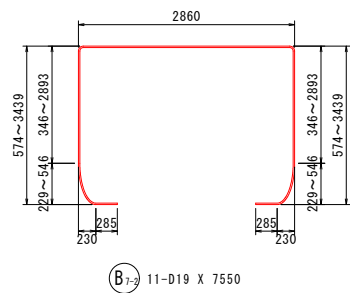
## 支承部台座コンクリート (N=2カ所)



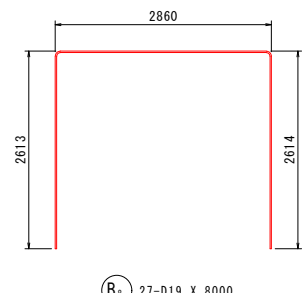
## 支承配置図 S=1:100



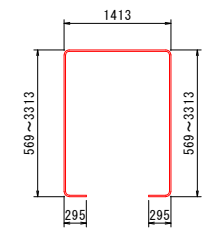
B7-1 11-D19 X 7420



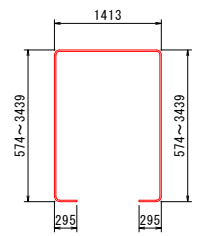
B7-2 11-D19 X 7550



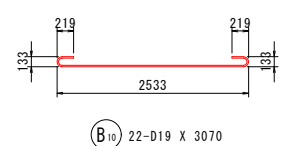
B8 27-D19 X 8000



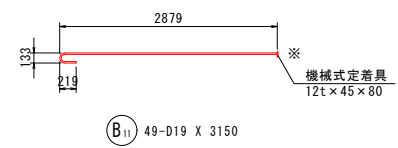
B9-1 11-D19 X 5720 (平均長)



B9-2 11-D19 X 5850 (平均長)



B10 22-D19 X 3070



B11 49-D19 X 3150

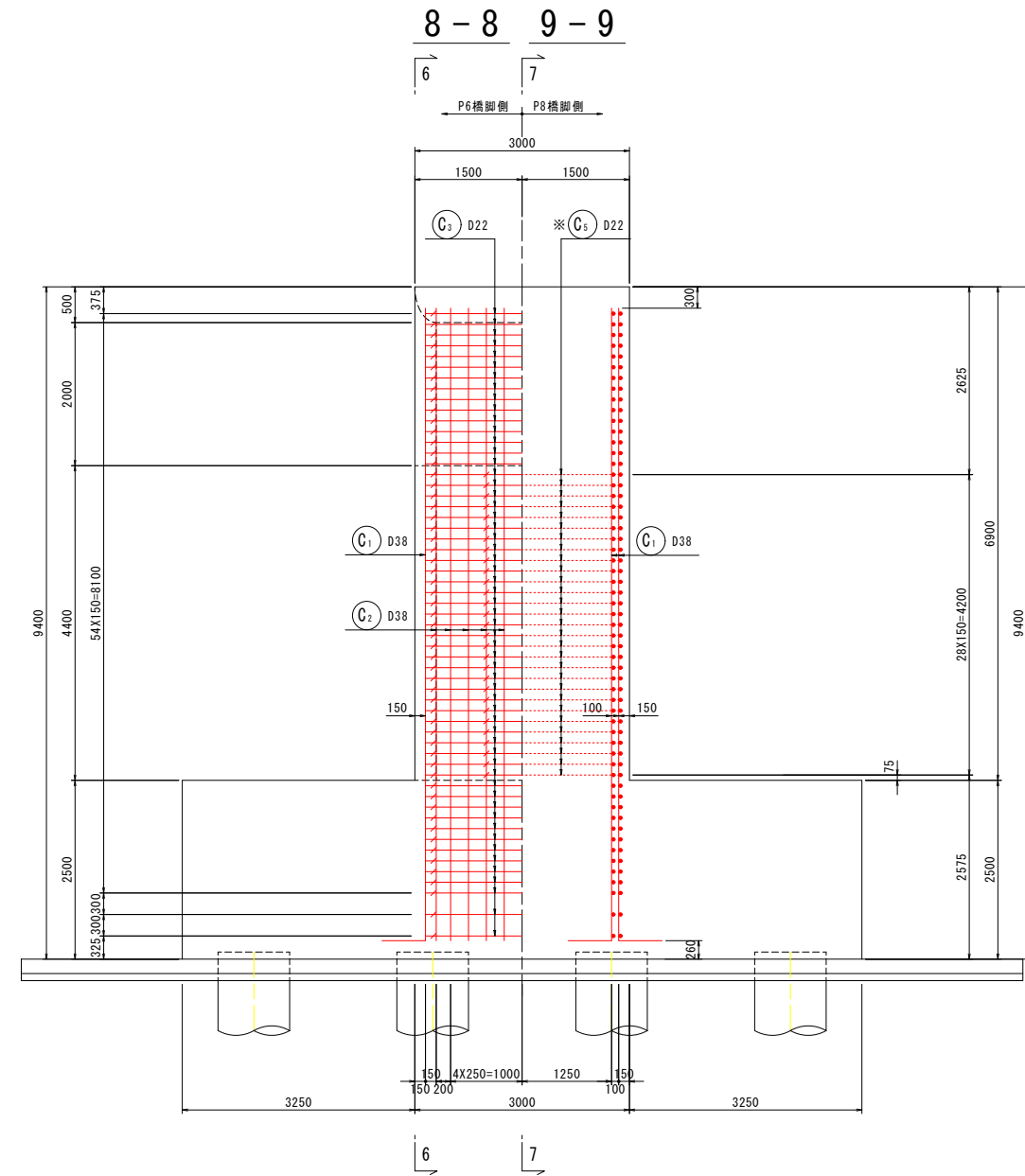
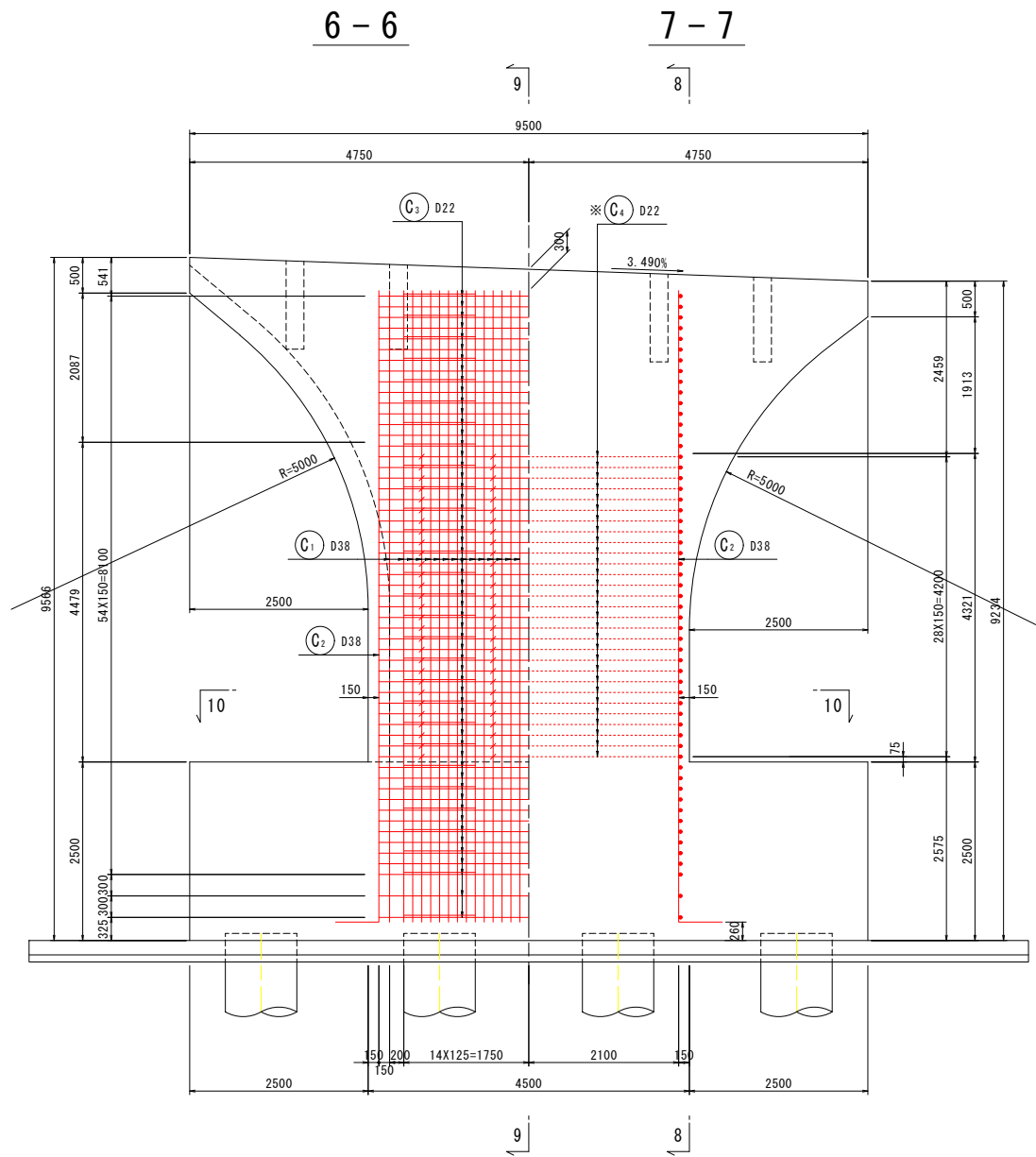
加工筋曲げ半径	
鋼種	曲げ半径(内側)
SD345	2.5φ
SD490	3.5φ

縮小版 8/36

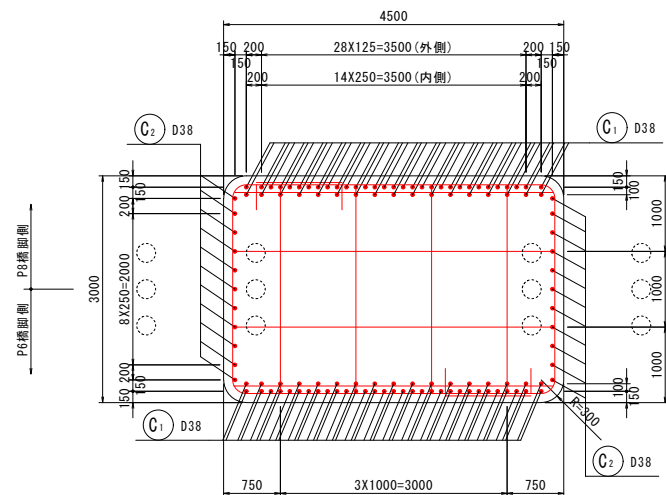
注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	P7橋脚配筋図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

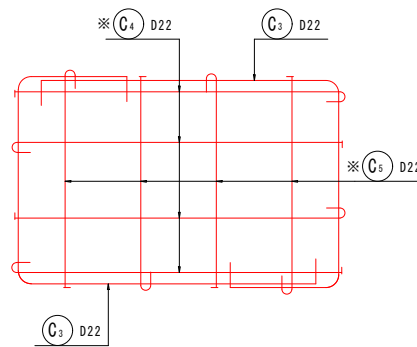
# P7橋脚配筋図(その4) S=1:50



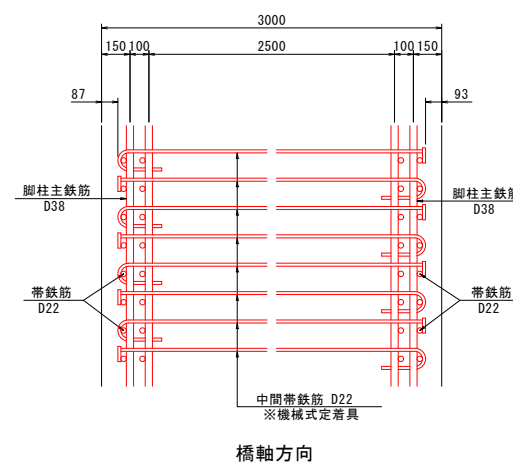
10-10  
(断面図)



帯鉄筋組立図



柱部かぶり詳細図

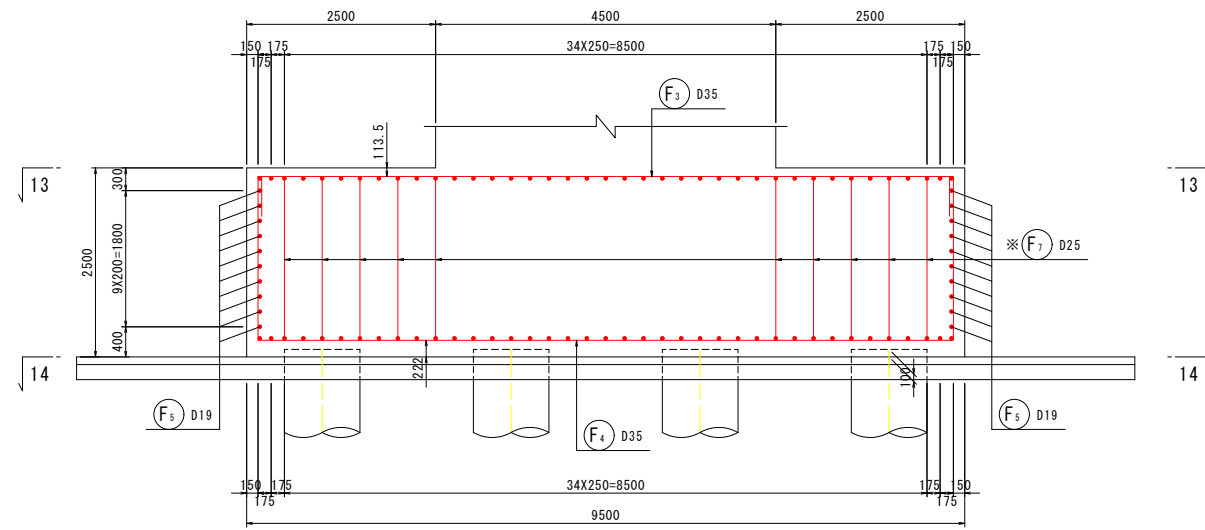


注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	P7橋脚配筋図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

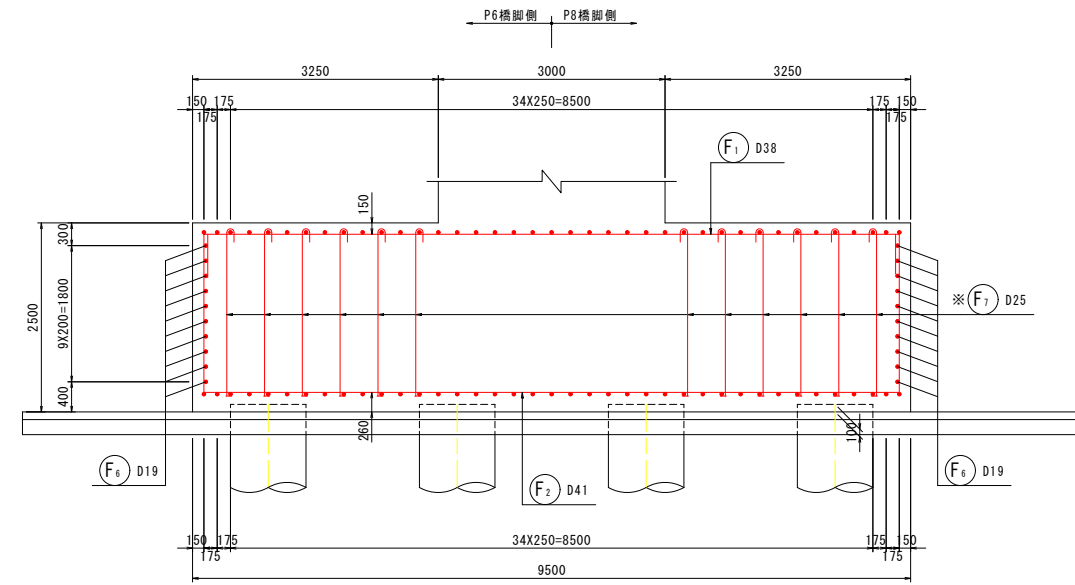
# P7橋脚配筋図(その5) S=1:50

11-11



橋軸直角方向

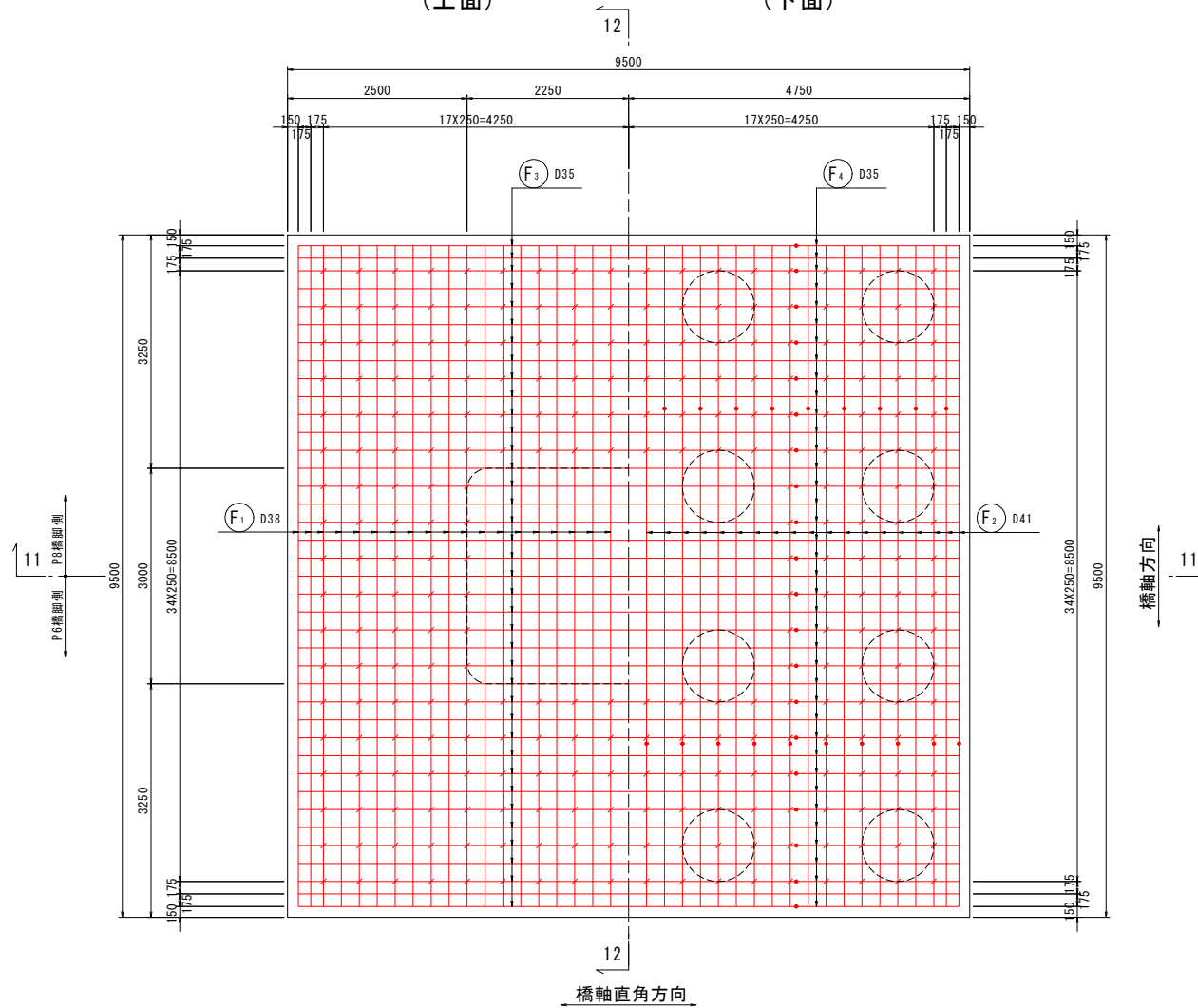
12-12



橋軸方向

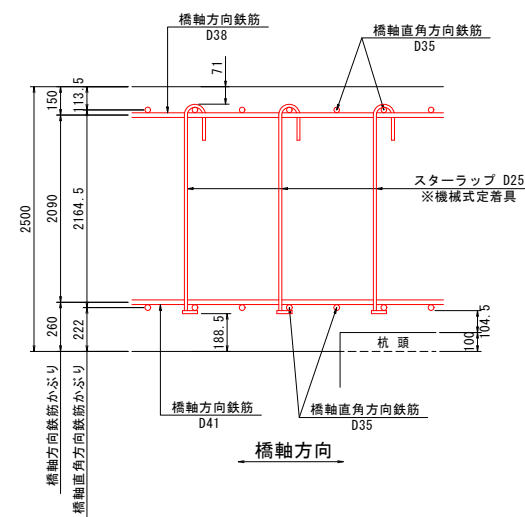
13-13  
(上面)

14-14  
(下面)



橋軸直角方向

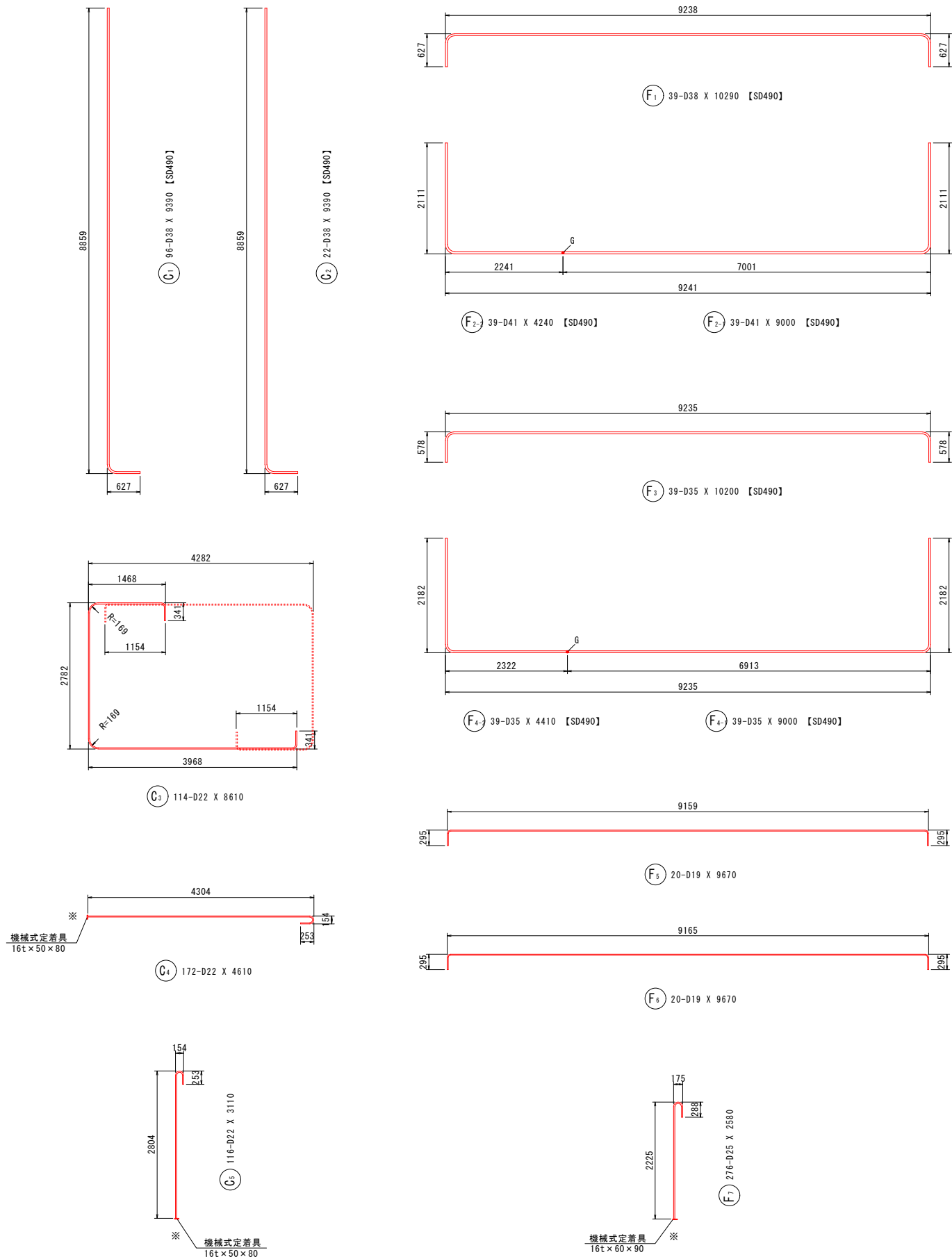
## 底板部かぶり詳細図



注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	P7橋脚配筋図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

# P7橋脚配筋図(その6) S=1:50



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
B 1-1	D29	12000	7	5.04	60.48	423	∟ (7)
B 1-2	D29	9980	7	5.04	50.30	352	∟
B 1-3	D29	10000	7	5.04	50.40	353	∟ (7)
B 1-4	D29	11980	7	5.04	60.38	423	∟
B 2-1	D29	12000	1	5.04	60.48	60	∟ (1)
B 2-2	D29	9660	1	5.04	48.69	49	∟
B 2-3	D29	10000	1	5.04	50.40	50	∟ (1)
B 2-4	D29	11660	1	5.04	58.77	59	∟
B 3-1	D29	11500	7	5.04	57.96	406	∟ (7)
B 3-2	D29	9770	7	5.04	49.24	345	∟
B 3-3	D29	9500	7	5.04	47.88	335	∟ (7)
B 3-4	D29	11770	7	5.04	59.32	415	∟
B 4-1	D29	11500	1	5.04	57.96	58	∟ (1)
B 4-2	D29	9450	1	5.04	47.63	48	∟
B 4-3	D29	9500	1	5.04	47.88	48	∟ (1)
B 4-4	D29	11450	1	5.04	57.71	58	∟
B 5-1	D22	10000	4	3.04	30.40	122	∟
B 5-2	D22	5750	2	3.04	17.48	35	∟ (平均長)
B 6	D22	10380	24	3.04	31.56	757	∟ (平均長)
B 7-1	D19	7420	11	2.25	16.70	184	∟ (平均長)
B 7-2	D19	7550	11	2.25	16.99	187	∟ (平均長)
B 8	D19	8000	27	2.25	18.00	486	∟
B 9-1	D19	5720	11	2.25	12.87	142	∟ (平均長)
B 9-2	D19	5850	11	2.25	13.16	145	∟ (平均長)
B 10	D19	3070	22	2.25	6.91	152	∟
※ B 11	D19	3150	49	2.25	7.09	347	∟
6039							
C 3	D22	8610	114	3.04	26.17	2983	∟
※ C 4	D22	4610	172	3.04	14.01	2410	∟
※ C 5	D22	3110	116	3.04	9.45	1096	∟
6489							
F 5	D19	9670	20	2.25	21.76	435	∟
F 6	D19	9670	20	2.25	21.76	435	∟
※ F 7	D25	2580	276	3.98	10.27	2835	∟
3705							
H 1	D16	3000	40	1.56	4.68	187	∟
H 2	D16	3500	28	1.56	5.46	153	∟
H 3	D16	4800	4	1.56	7.49	30	∟
370							
(圧接箇所)							
合計	D29		3482	kg	(32)		
	D25		2835	kg			
	D22		7403	kg			
	D19		2513	kg			
	D16		370	kg			
総質量			16603	kg	(32)		

鉄筋質量表 (SD490)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C 1	D38	9390	96	8.95	84.04	8068	∟
C 2	D38	9390	22	8.95	84.04	1849	∟
9917							
F 1	D38	10290	39	8.95	92.10	3592	∟
F 2-1	D41	9000	39	10.5	94.50	3686	∟ (39)
F 2-2	D41	4240	39	10.5	44.52	1736	∟
F 3	D35	10200	39	7.51	76.60	2987	∟
F 4-1	D35	9000	39	7.51	67.59	2636	∟ (39)
F 4-2	D35	4410	39	7.51	33.12	1292	∟
15929							
(圧接箇所)							
合計	D41		5422	kg	(39)		
	D38		13509	kg			
	D35		6915	kg	(39)		
総質量			25846	kg	(78)		

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数					
	0<L≤1m	1<L≤2m	2<L≤3m	3<L≤4m	4<L≤5m	5<L≤6m
D13	-	-	-	-	-	-
D16	-	-	-	-	-	-
D19	-	-	-	49	-	-
D22	-	-	-	116	172	-
D25	-	-	276	-	-	-
小計	-	-	276	165	172	-
合計						613

加工筋曲げ半径

	曲げ半径(内側)
SD345	2.5φ
SD490	3.5φ

縮小版 11/36

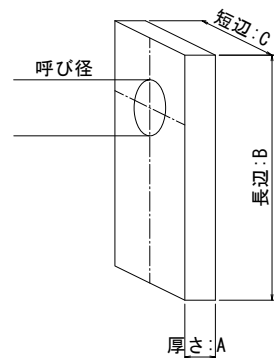
注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	P7橋脚配筋図(その6)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

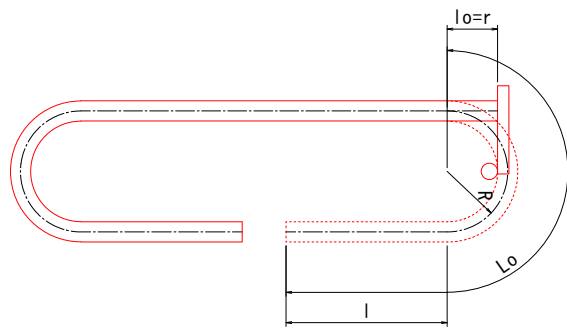
# P7橋脚配筋図(その7) S=1:50

(参考図)

## 寸法図



## 加工仕様



$$L1 = L - Lo + lo$$

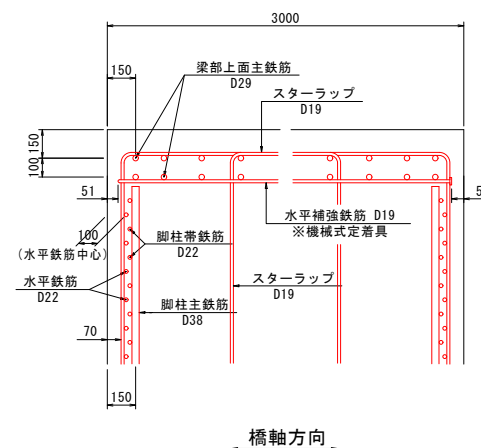
$$Lo = \pi R + l$$

$$lo = r$$

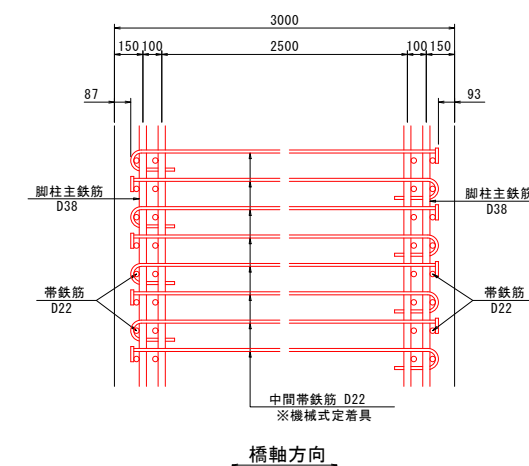
$$r = R - D/2$$

L1: ※機械式定着具の鉄筋長  
L: 両端半円形フックの鉄筋長  
R: 半円形フックの曲げ芯半径  
r: 半円形フックの曲げ内半径  
D: ※機械式定着具の鉄筋径

## 梁部水平補強筋詳細図



## 柱部中間帯鉄筋詳細図



## 寸法表

定着プレートの寸法 (SD345, SD295適用)

せん断補強鉄筋呼び径		D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51	
標準プレート寸法	A 厚さ	9	9	12	16	16	19	19	22	25	25	32	
	B 長辺	70	70	80	80	90	90	90	-	-	-	-	
	C 短辺	40	40	45	50	60	65	70	80	85	95	120	
掛けられる鉄筋の呼び径	D13	70	70	80	80	90	90	90	80	90	95	110	
	D16								85	90	95	115	
	D19								85	90	100	115	
	D22								90	95	100	120	
	D25								95	95	105	120	
	D29								95	100	105	125	
	D32								100	100	110	125	
	D35								95	100	105	110	130
	D38								95	105	105	115	130
	D41								75	75	85	95	100
D51	80	85	85	90	100	105	105	115	120	125	140		

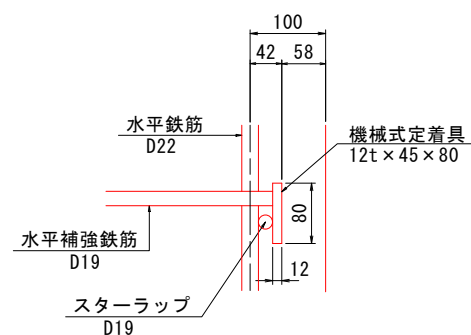
※鉄筋種類がSD345, SD295以外、プレート材質がSM490以外、コンクリート強度が30N/mm<sup>2</sup>以上の場合、審査証明の詳細に従う。

適用範囲(せん断補強鉄筋または中間帯鉄筋)

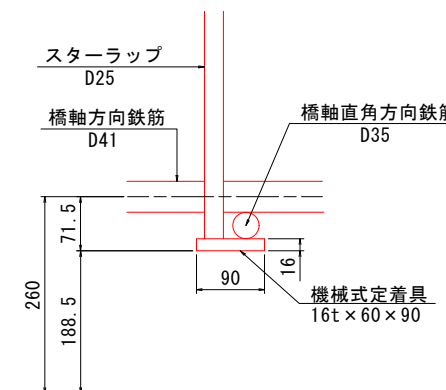
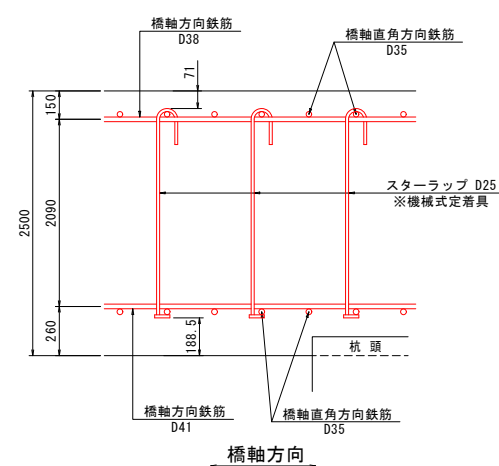
呼び名	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51	プレート材質
鉄筋の種類	SD295	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SM490, S35C, S45C
	SD345	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SM490, S35C, S45C
	SD390	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SM490, S45C
	SD490	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	SM490, S45C

## 配置上の留意点

※機械式定着具のプレートおよびフックは掛けられる鉄筋と直交するようにする。



## 底版部スターラップ詳細図

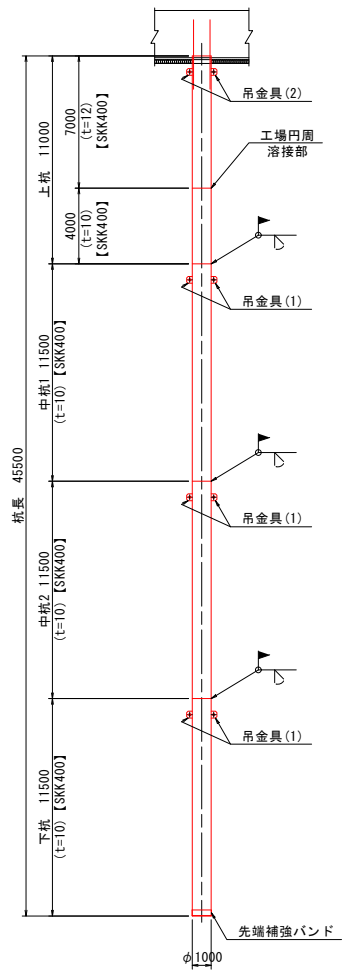


注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

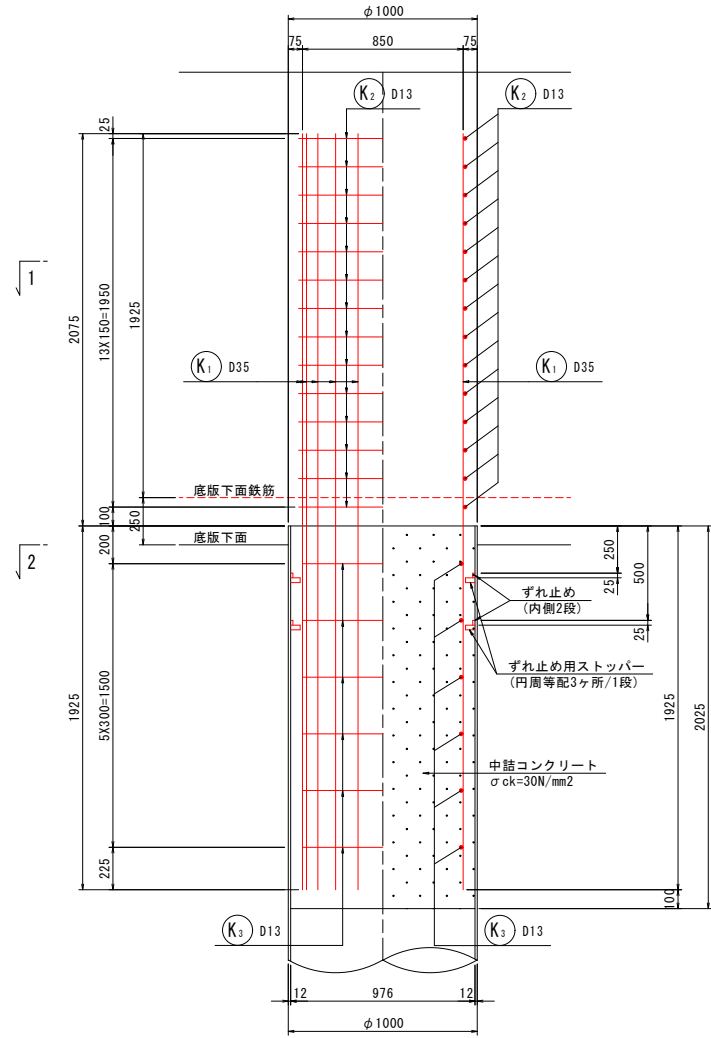
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	P7橋脚配筋図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

# P7橋脚鋼管杭詳細図 S=1:20

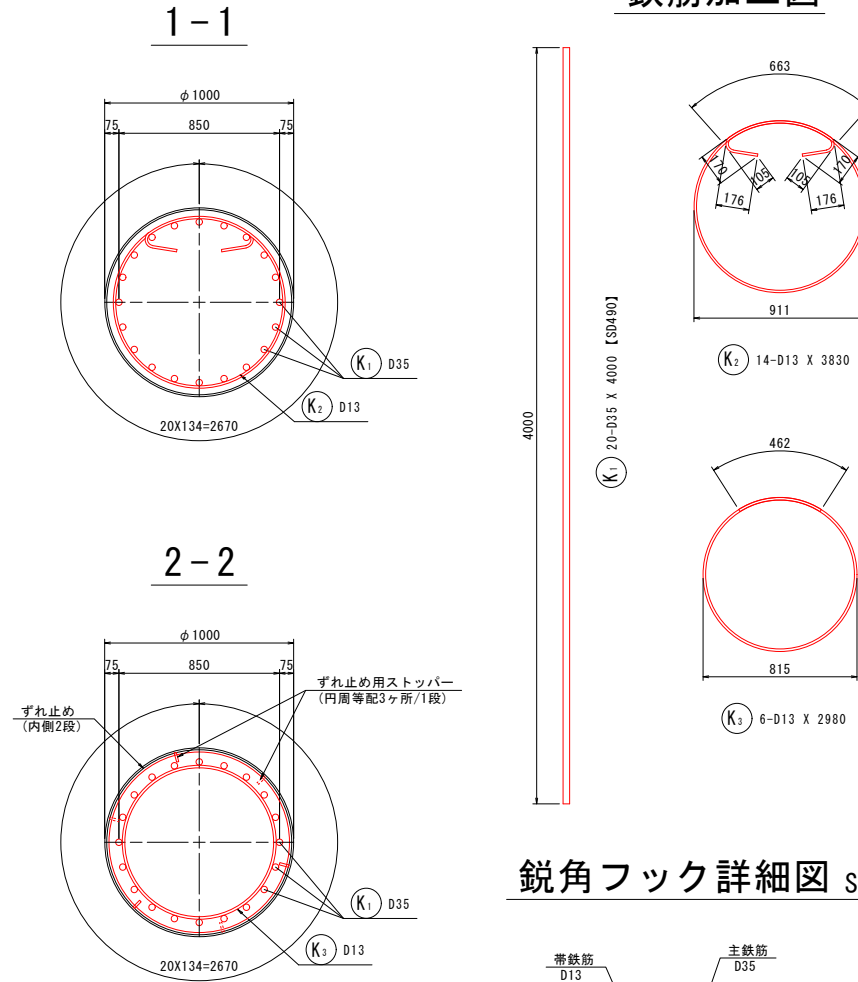
鋼管杭構成図 S=1:200



杭頭処理図



鉄筋加工図



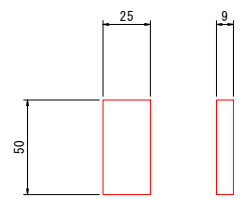
材料表

種別	形状寸法	単位	単位質量	本数	質量	材質	摘要
<b>鋼管</b>							
PIPE	φ 1000 x t 12 x 7 000	kg	292	2044	1	2044	SKK400 鋼管本体 上杭
"	φ 1000 x t 10 x 4 000	"	244	976	1	976	" 上杭
"	φ 1000 x t 10 x 11 500	"	244	2806	3	8418	" 中杭1, 2, 下杭
<b>杭頭・継ぎ手</b>							
PL	PL- 25 x 12 x 2993	kg	2.36	7.06	2	14.12	SS400 ずれ止め
"	PL- 25 x 9 x 50	"	1.77	0.0885	6	0.53	" ずれ止めストッパー
"	PL- 50 x 4.5 x 3065	"	1.77	5.43	3	16.29	" 裏当てリング
"	PL- 6 x 12 x 30	"	0.565	0.0170	18	0.31	" ストッパー
"	PL- 100 x 12 x 120	"	9.42	1.13	6	6.78	SM490A 吊金具(1)
"	PL- 100 x 16 x 120	"	12.6	1.51	2	3.02	" 吊金具(2)
"	PL- 300 x 12 x 3179	"	28.3	89.97	1	89.97	SS400 先端補強バンド
<b>鉄筋</b>							
K1	D 35 x 4000	kg	7.51	30.04	20	601	SD490
K2	D 13 x 3830	"	0.995	3.81	14	53	SD345
K3	D 13 x 2980	"	0.995	2.97	6	18	"
			672 kg				
<b>頭部中詰コンクリート</b>							
V = 1/4 x 0.976 <sup>2</sup> x π x 2.025 =			1.515 m <sup>3</sup>		σ <sub>ck</sub> =30N/mm		

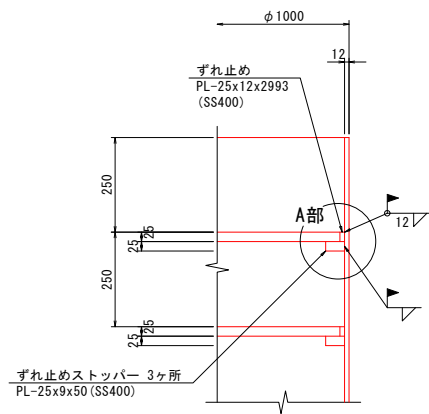
材料集計表

項目	寸法	単位	杭1本当り	数量	摘要
鋼管	φ 1000 x t 12	kg	2044	32704	SKK400
	φ 1000 x t 10	"	9394	150304	"
	小計	"		183008	
杭頭鉄筋	D 35	kg	601	9616	SD490
	D 13	"	71	1136	SD345
	小計	"	672	10752	
プレート		kg	121.22	1940	SS400
		"	9.80	157	SM490A
頭部中詰コンクリート		m <sup>3</sup>	1.515	24.2	σ <sub>ck</sub> =30N/mm <sup>2</sup>

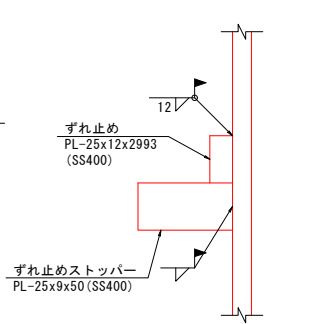
ずれ止めストッパー S=1:2



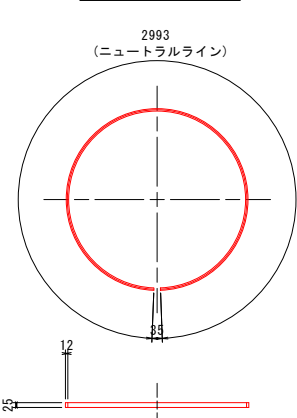
ずれ止め詳細図 S=1:10



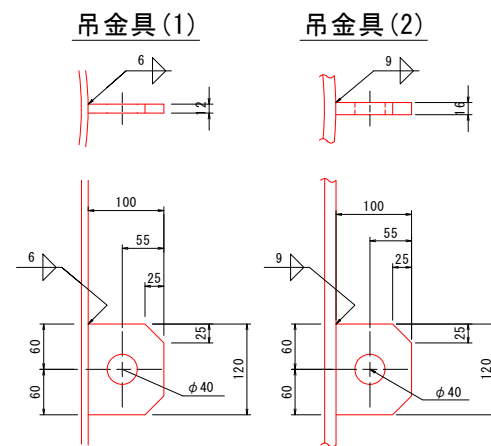
A部詳細図 S=1:2



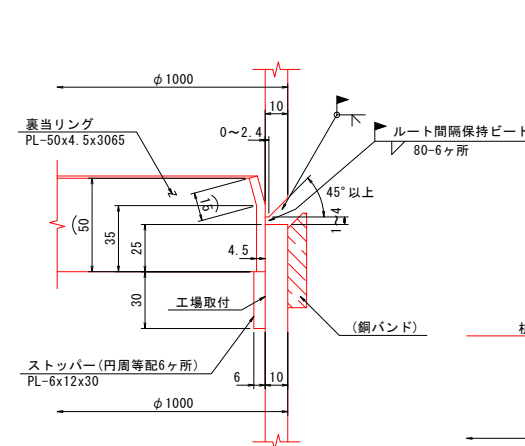
ずれ止め



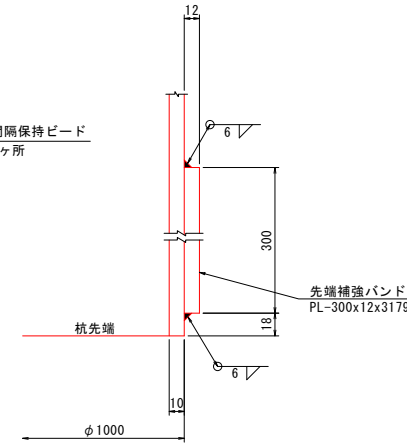
吊金具図 S=1:5



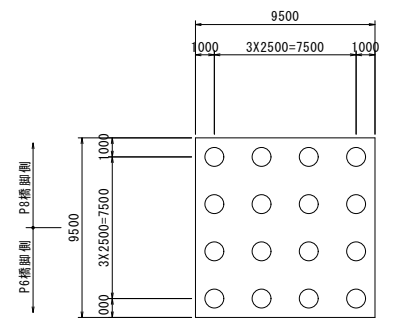
現場継手図 S=1:2



先端補強バンド詳細図 S=1:3



杭配置図 S=1:200



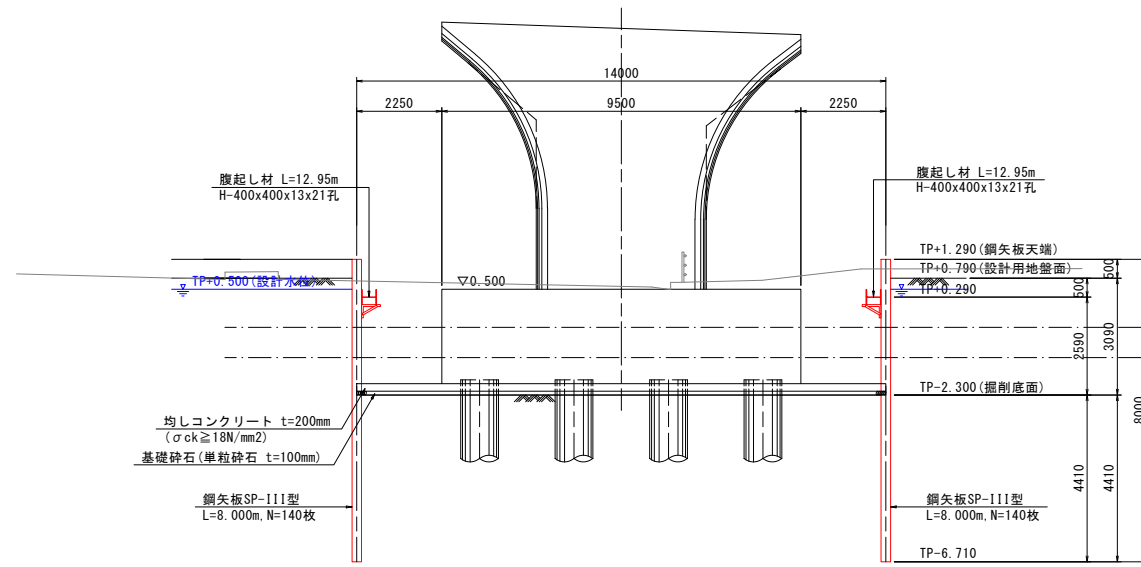
縮小版 13/36

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	P7橋脚鋼管杭詳細図
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)

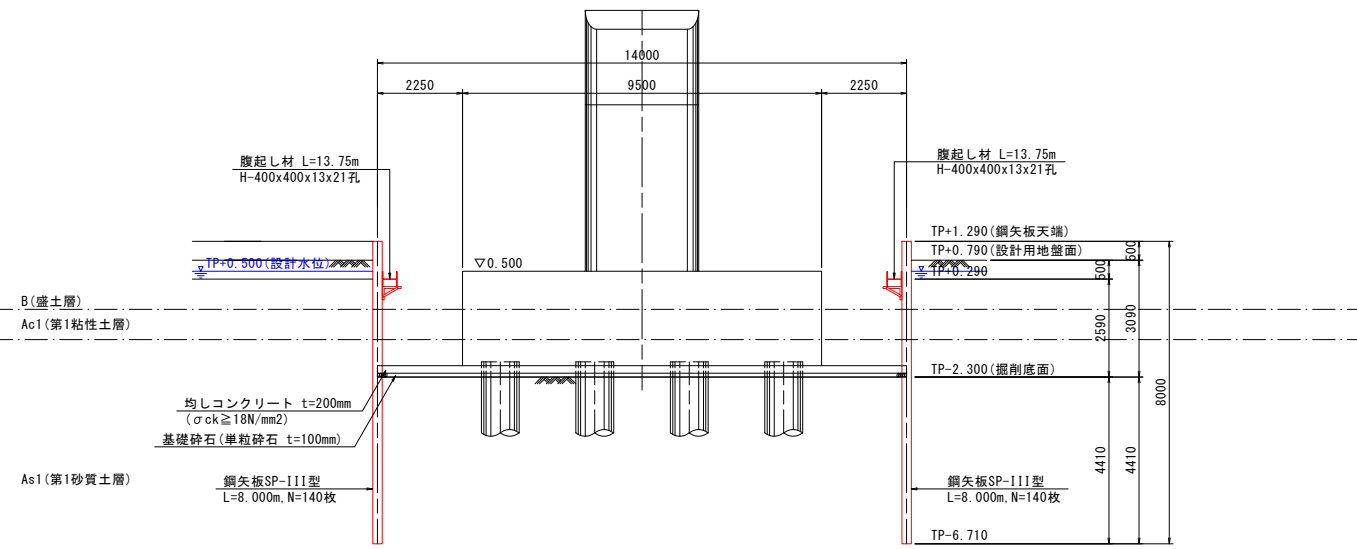
「本図面は新JISA0101(2003)に基づき作成した図面である」(外形寸法)

# P7橋脚土留工詳細図 S=1:100

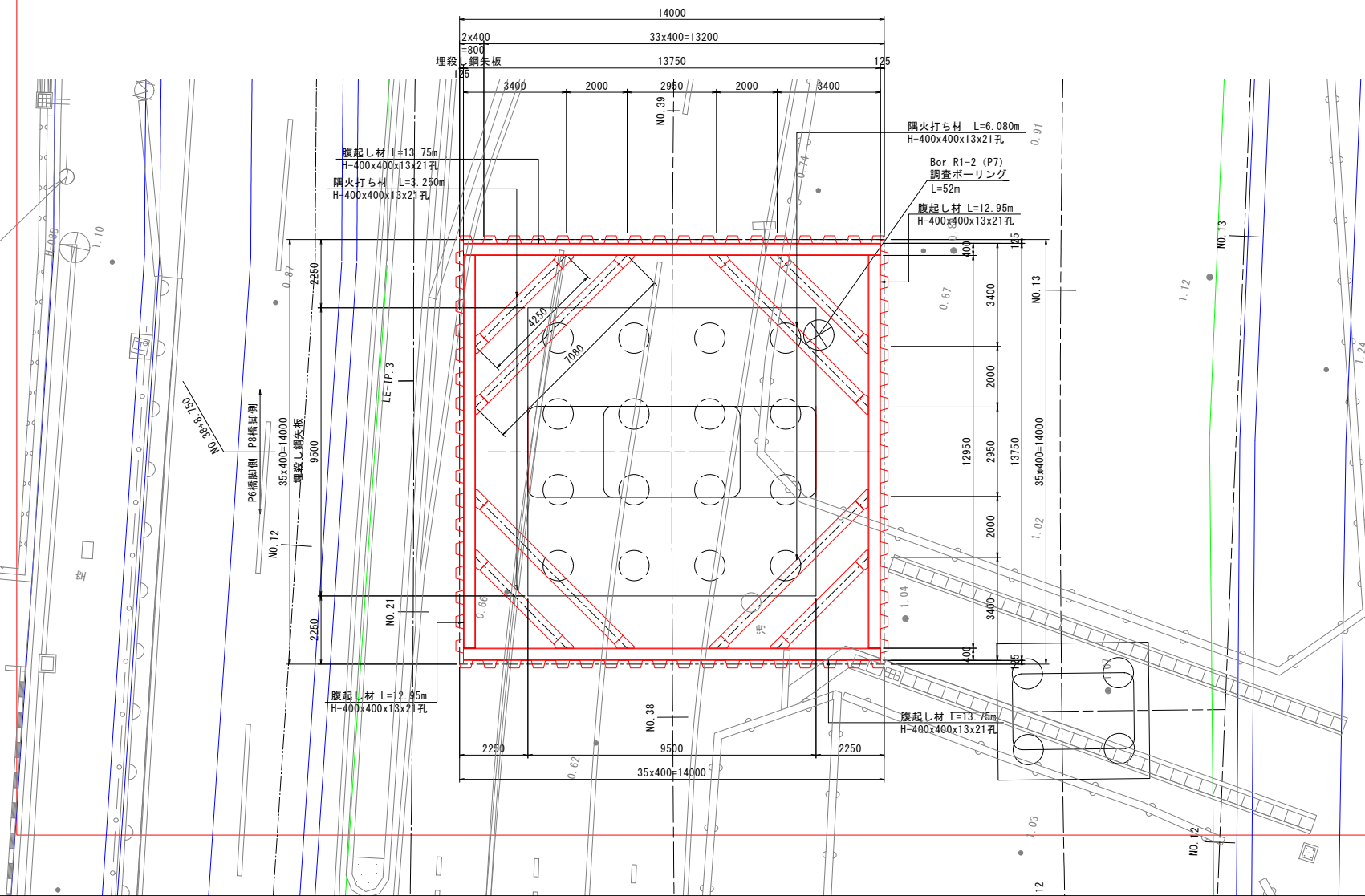
正面図



側面図



平面図



仮設土留工数量表

種別	鋼材形式	部材長 (mm)	本数 (枚)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
鋼矢板	III型	8000	103	60.0	480.0	49440	SY295
"	III型(埋設し分)	8000	37	60.0	480.0	17760	"
小計						67200	kg
腹起し材	H-400×400×13×21孔	13750	2	200.0	2750.0	5500	SS400 加工材
"	"	12950	2	200.0	2590.0	5180	"
隅火打ち材	H-400×400×13×21孔	3250	4	200.0	650.0	2600	SS400 加工材
"	"	6080	4	200.0	1216.0	4864	"
小計						18144	kg
副部材 A		18144 × 0.22				= 3992	kg
副部材 B		18144 × 0.04				= 726	kg
合計						22862	kg

注) 隅火打ち材は隅火打ち実長-1.0m(火打受ベース)を差し引いた長さである。

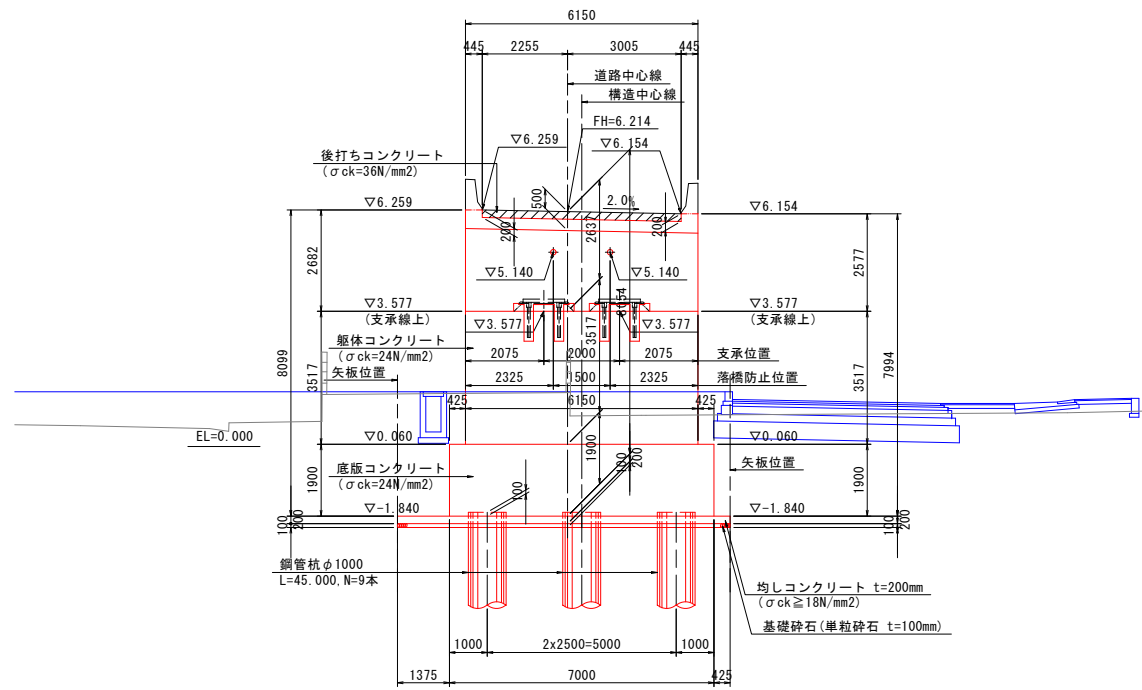
土質定数一覧表

地層名	記号	層厚 (m)	設計N値	単位重量 γ t (kN/m³)	粘着力 C (kN/m²)	せん断抵抗角 φ (°)	変形係数 α E0 (kN/m²)
盛土層(最上部層)	B	1.300	12	20	—	40.0	33600
第1砂質土層	Ac1	0.800	4	16	28	—	11200
第2粘性土層	As1	7.800	9	17	—	33.0	26000
第2粘性土層	Ac2-1	7.400	6	18	44	—	23600

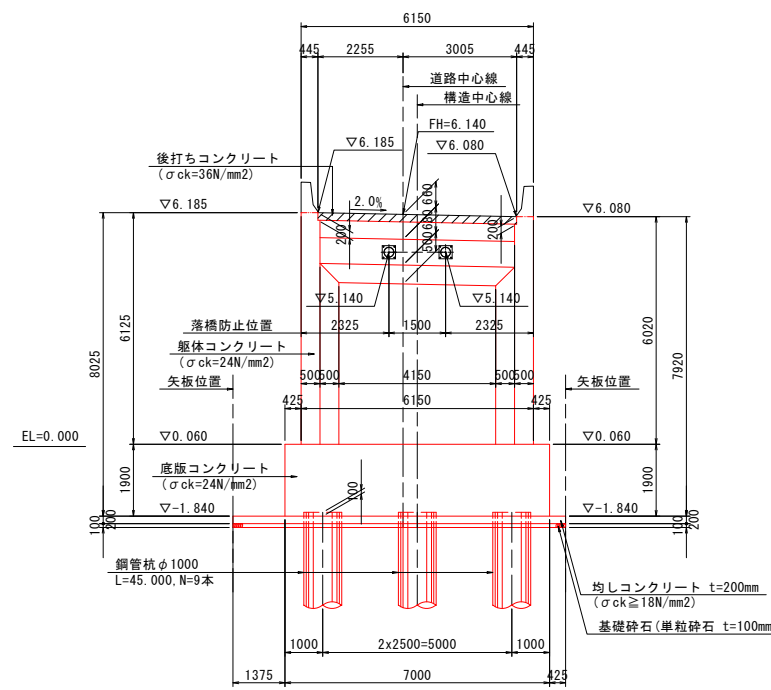
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	P7橋脚土留工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

# BA1橋台構造図(その1) S=1:100

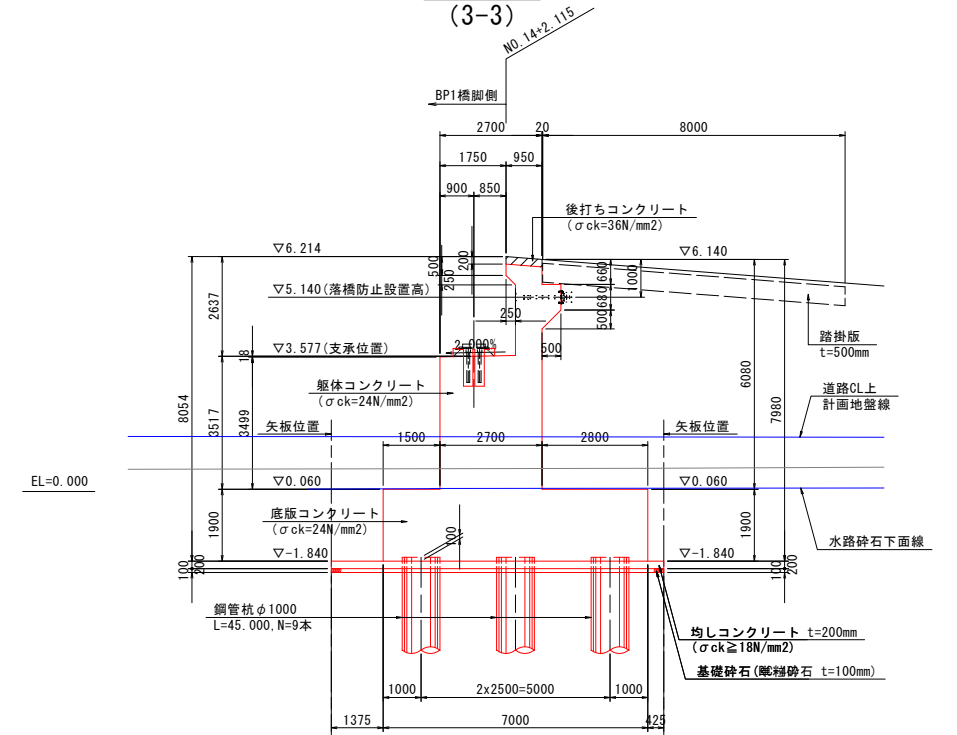
正面図  
(1-1)



背面図  
(2-2)

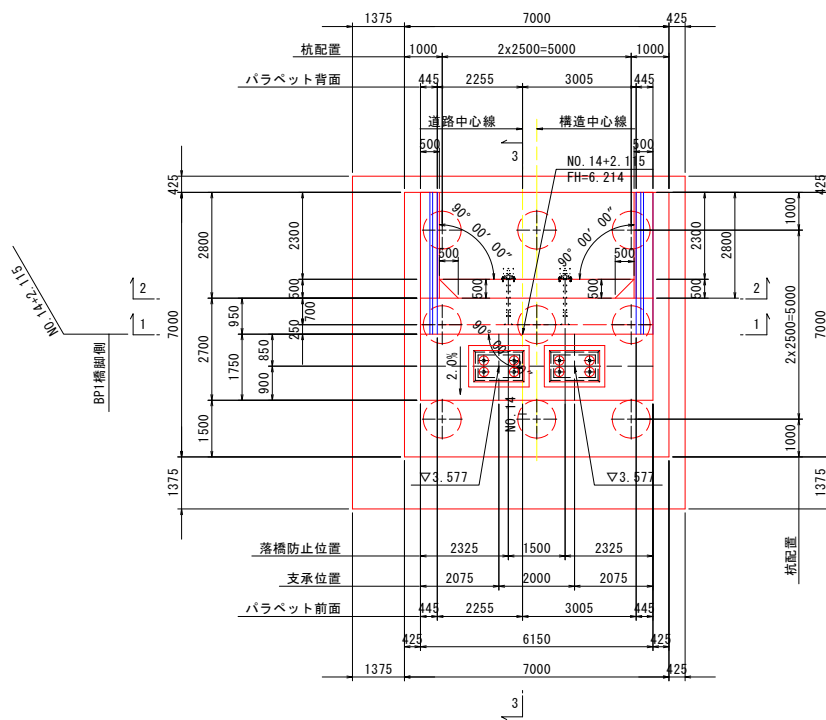


側面図  
(3-3)

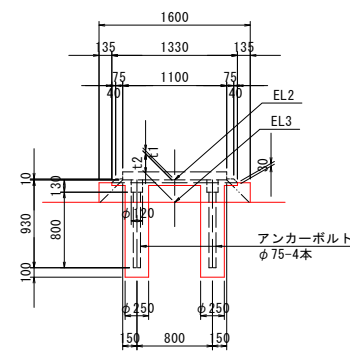


支承箱抜き詳細図 S=1:40

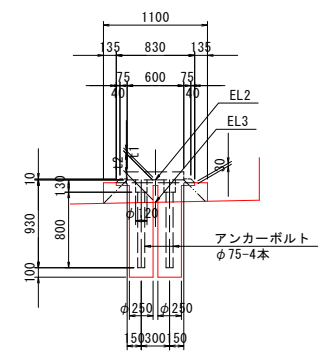
平面図



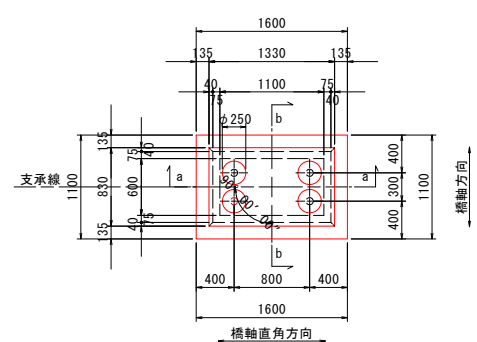
a-a



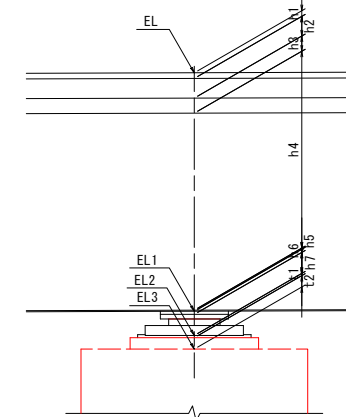
b-b



平面図



支承位置断面図



構造高表 (S2上)

	G1LL	G1	G1LR
路面計画高	EL 6.293	6.273	6.253
舗装厚	h1	0.075	0.075
床版高	h2	0.210	0.210
ハンチ高	h3	0.100	0.100
主桁高	h4	1.820	1.800
下フランジ厚	h5	0.011	0.011
下フランジ下面高	EL1	4.077	4.077
ソールプレート厚	h6	0.050	-
支承高	h7	0.212	-
支承設置高	EL2	3.815	-
調整モルタル厚	t1	0.030	-
台座コンクリート高	t2	0.208	-
下部工天端高	EL3	3.577	-

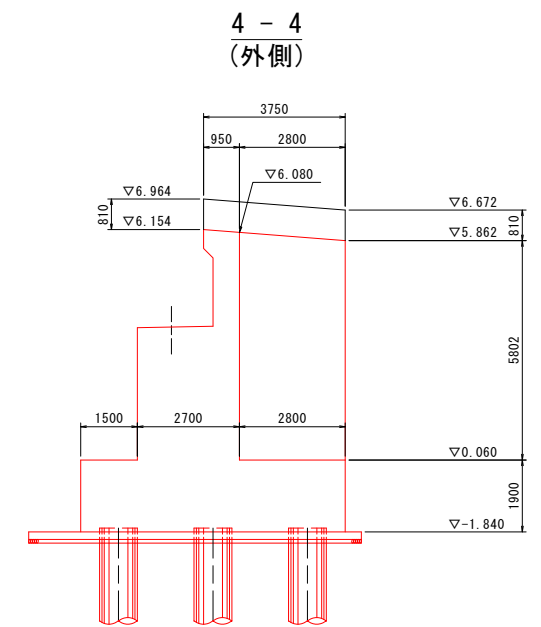
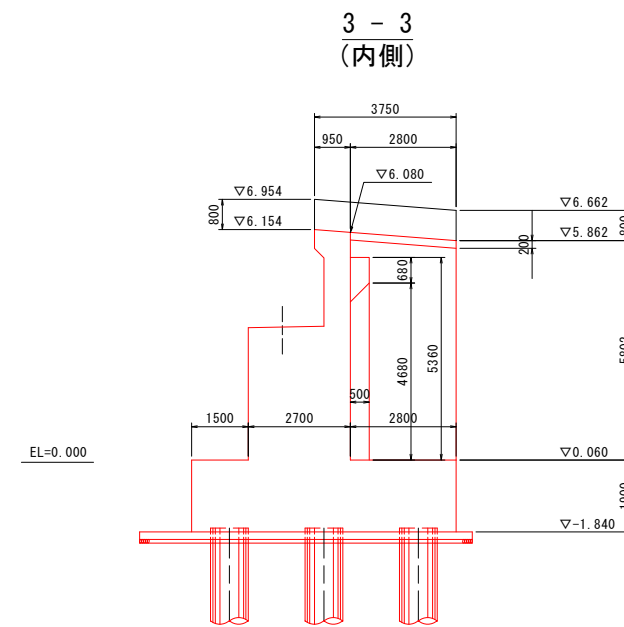
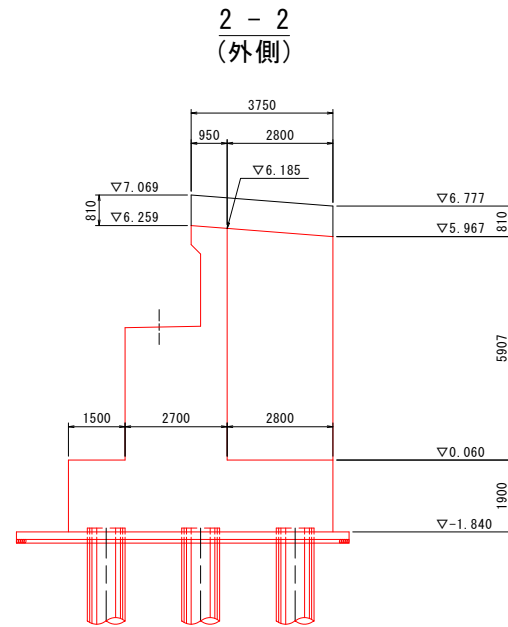
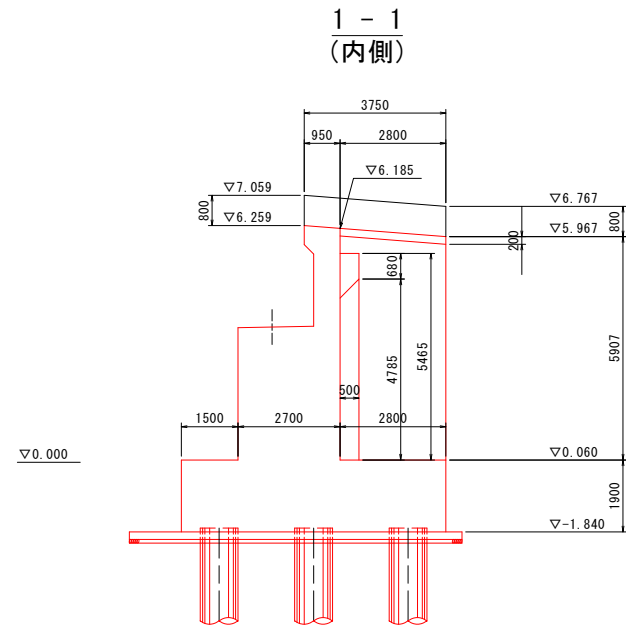
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名			
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		



# BA1橋台構造図(その2) S=1:100

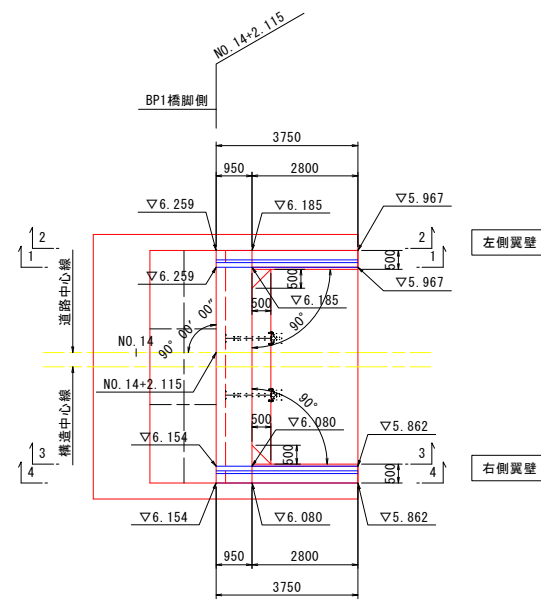
左側翼壁

右側翼壁



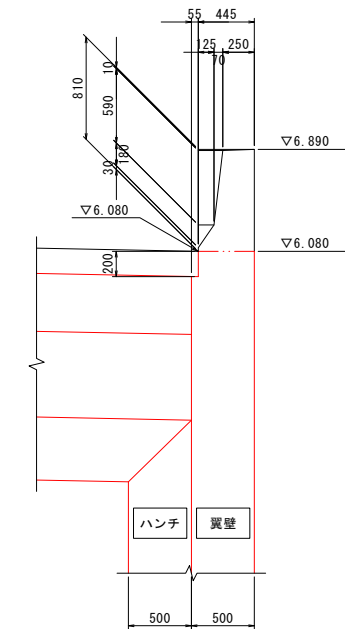
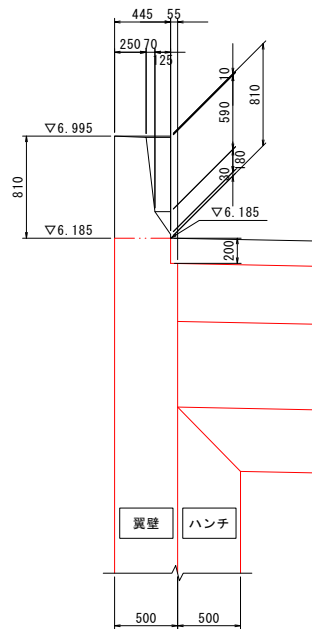
平面図

翼壁天端詳細図 S=1:30



左側翼壁

右側翼壁



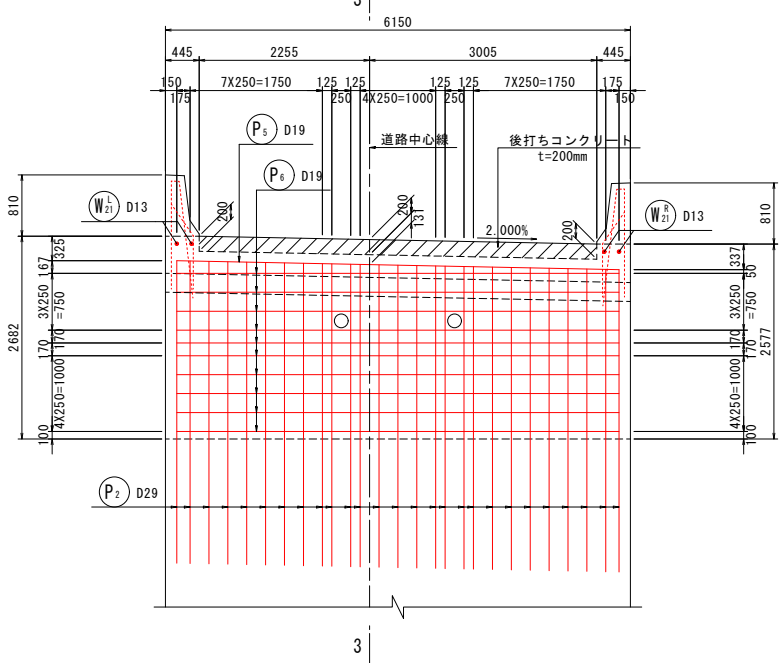
縮小版 15/36

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	BA1橋台構造図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

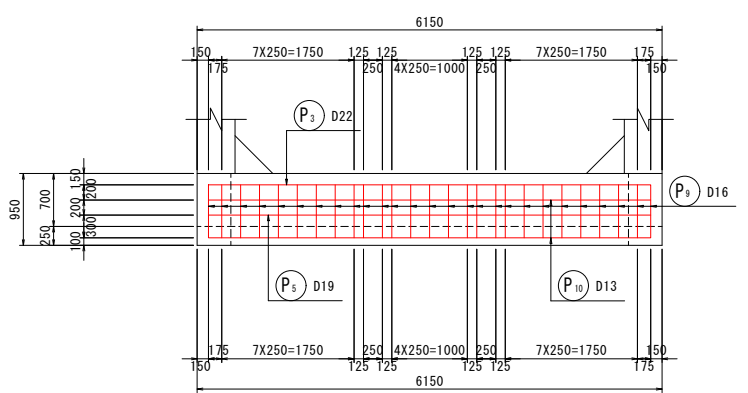
# BA1橋台配筋図(その1) S=1:50

3-3  
(断面図)

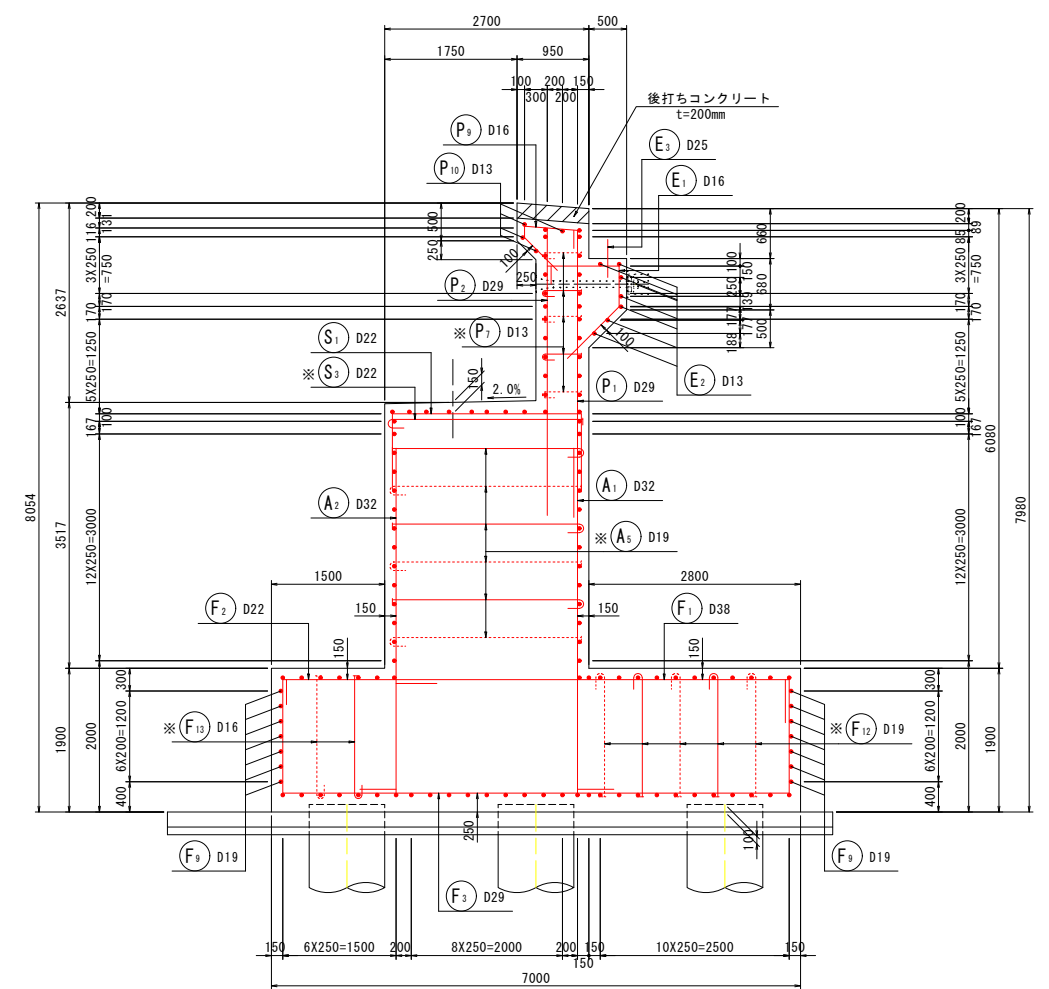
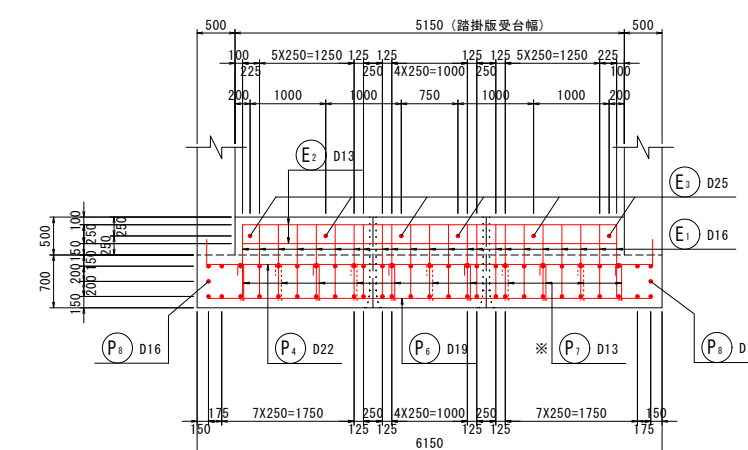
1-1  
(胸壁前面)



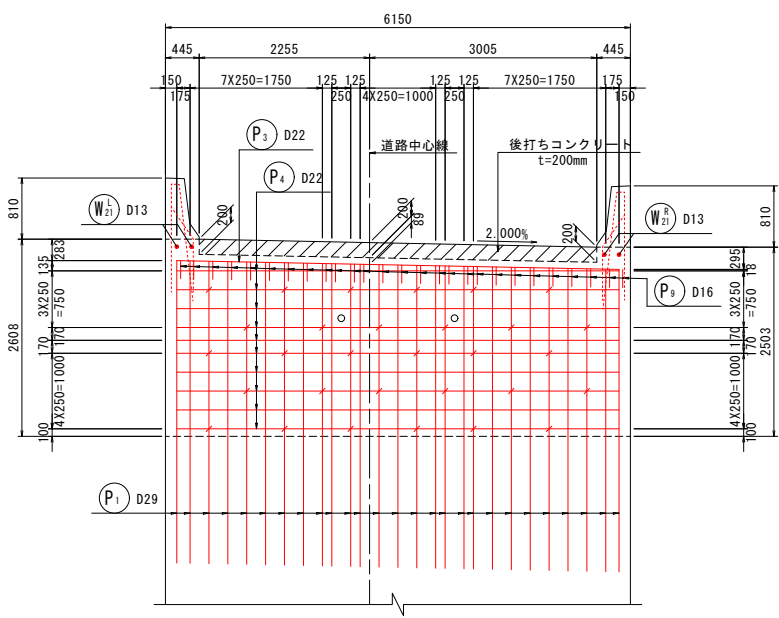
4-4  
(胸壁天端)



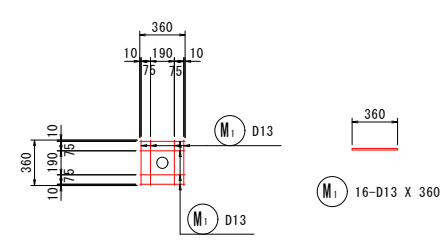
5-5  
(胸壁断面・踏掛版受台)



2-2  
(胸壁背面)

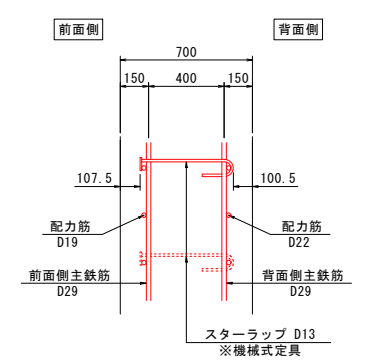


落防用用心鉄筋 S=1:30  
(N=2カ所)

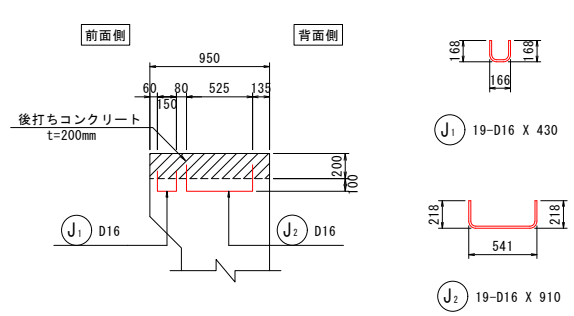


※ 踏掛版受台施工時に背面側に配置すること。  
用心鉄筋の配置詳細については、別図「落橋防止構造図」を参照のこと。

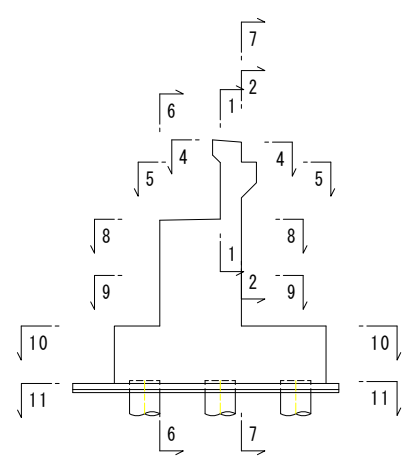
胸壁部スターラップ詳細図



伸縮装置用補強鉄筋 S=1:30



※ 胸壁施工時に配置すること。  
埋込み鉄筋の配置詳細については、別図「伸縮装置詳細図」を参照のこと。



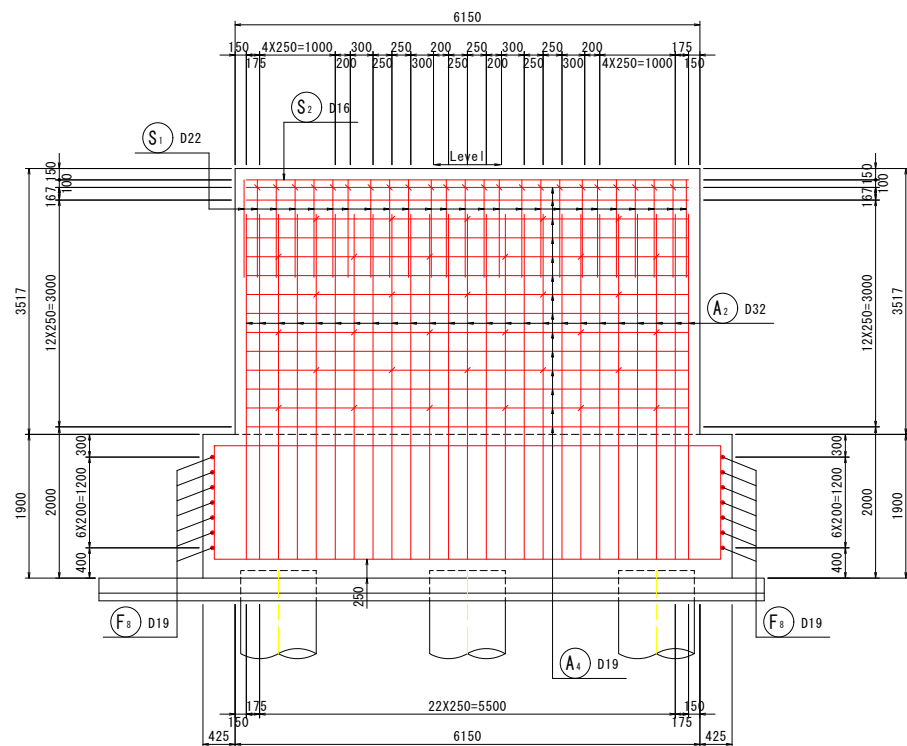
縮小版 17/36

注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

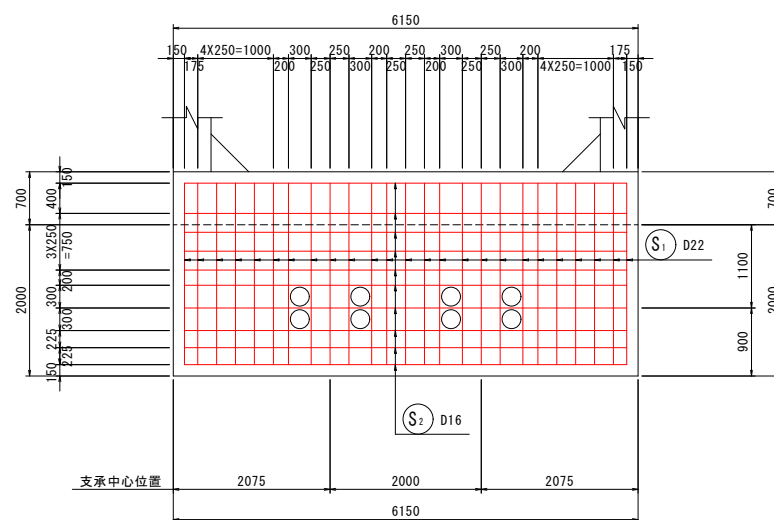
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BA1橋台配筋図(その1)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)

# BA1橋台配筋図(その2) S:1:50

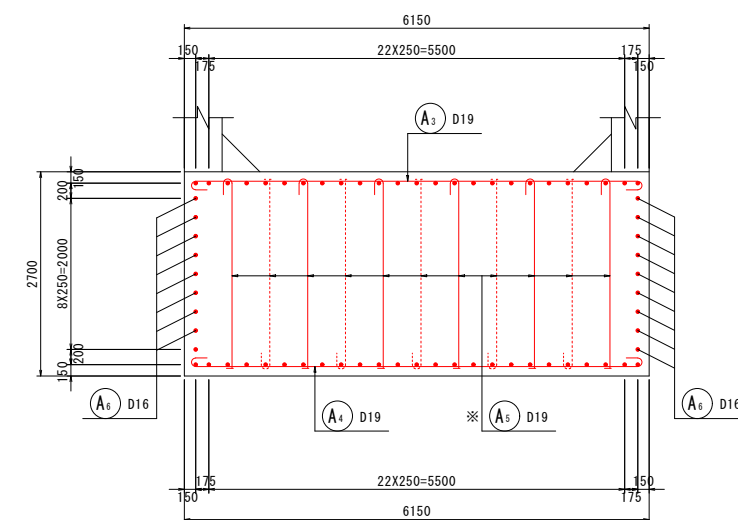
6-6  
(たて壁前面)



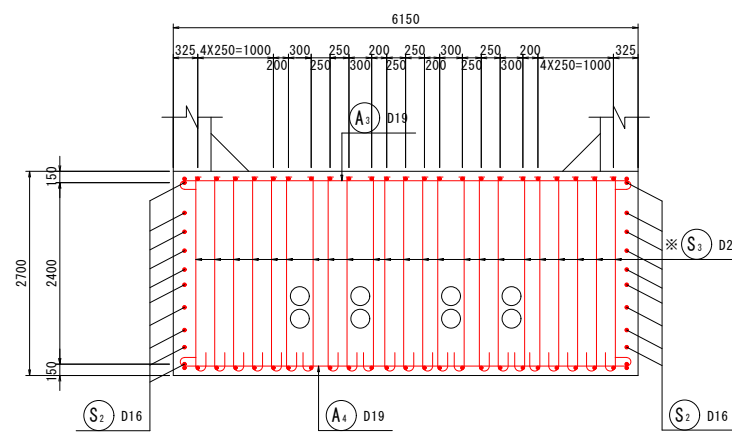
8-8  
(橋座面)



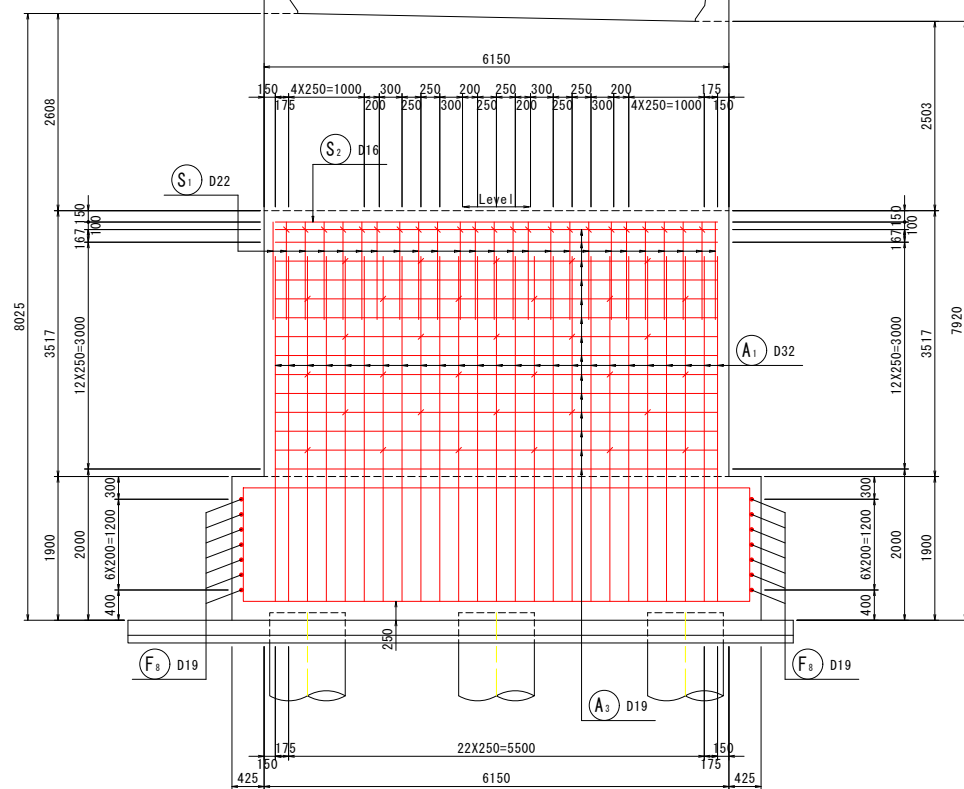
9-9  
(たて壁断面)



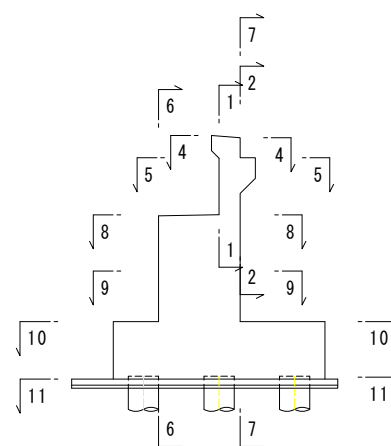
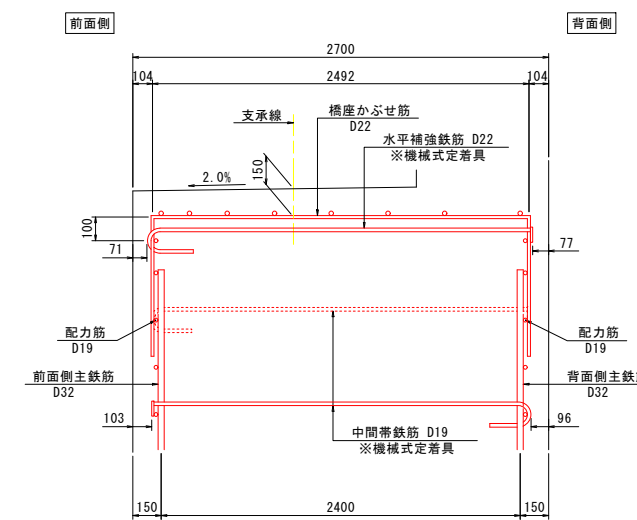
8'-8'  
(2段目)



7-7  
(たて壁背面)



たて壁中間帯鉄筋詳細図

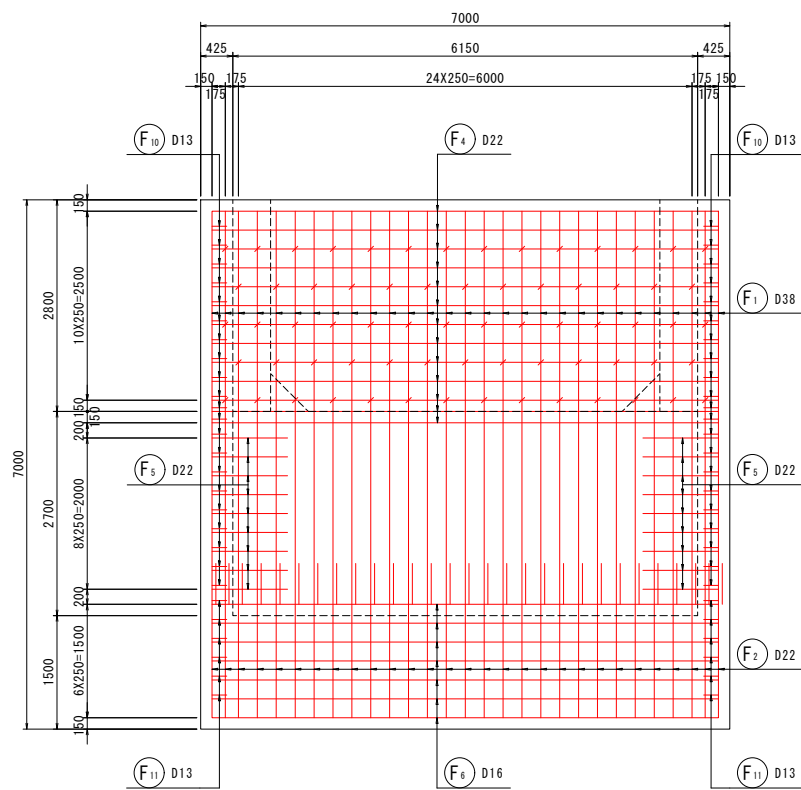


注記 ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
注記 この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

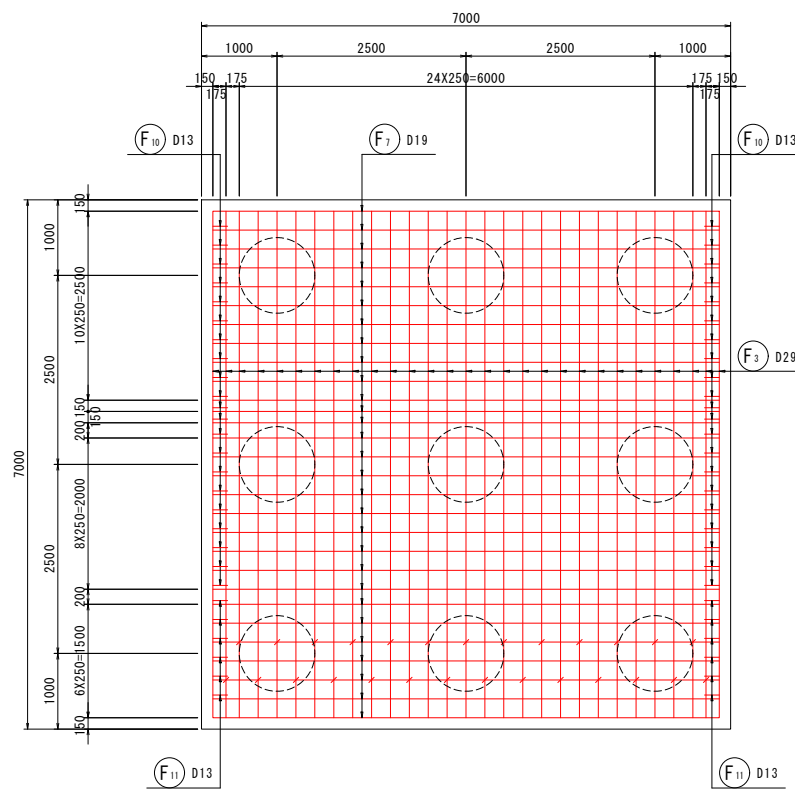
工事名	R1徳環 徳島環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BA1橋台配筋図(その2)
縮尺	図示
図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

# BA1橋台配筋図(その3) S=1:50

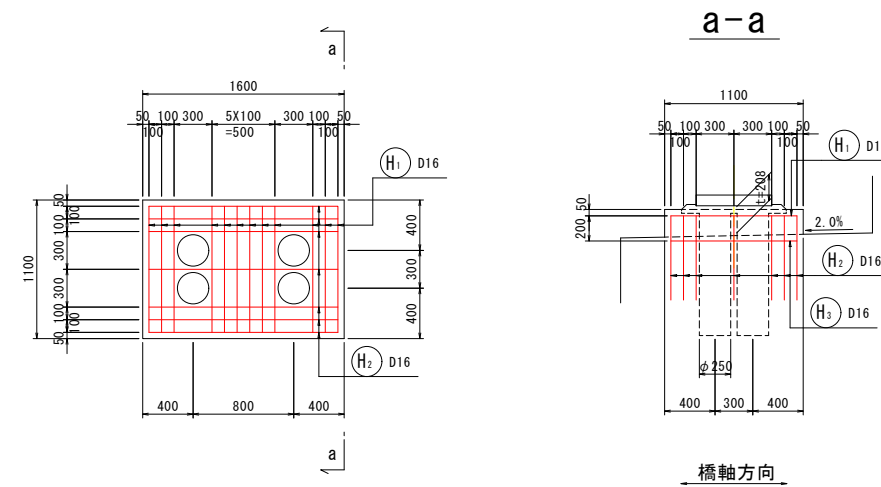
10-10  
(底版上面)



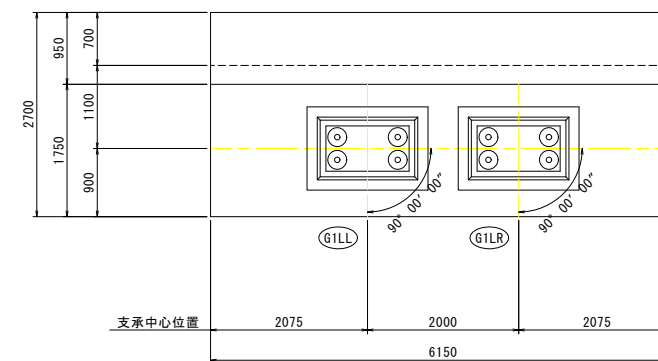
11-11  
(底版下面)



支承部台座コンクリート S=1:30  
(N=2カ所)

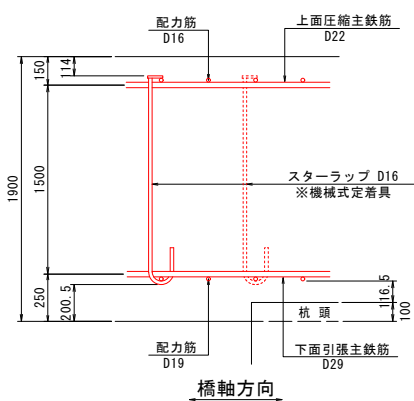


支承配置図

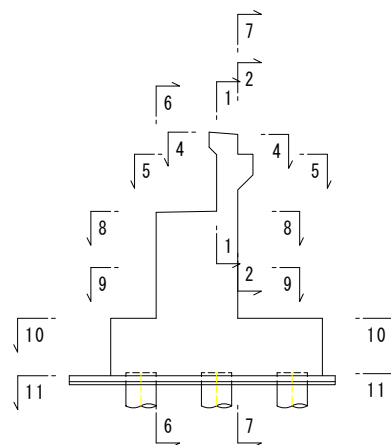
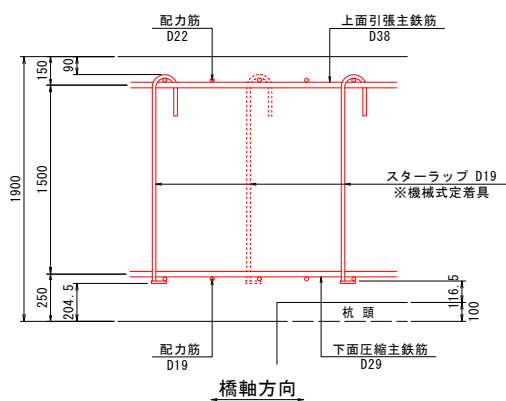


底版部スターラップ詳細図

前フーチング



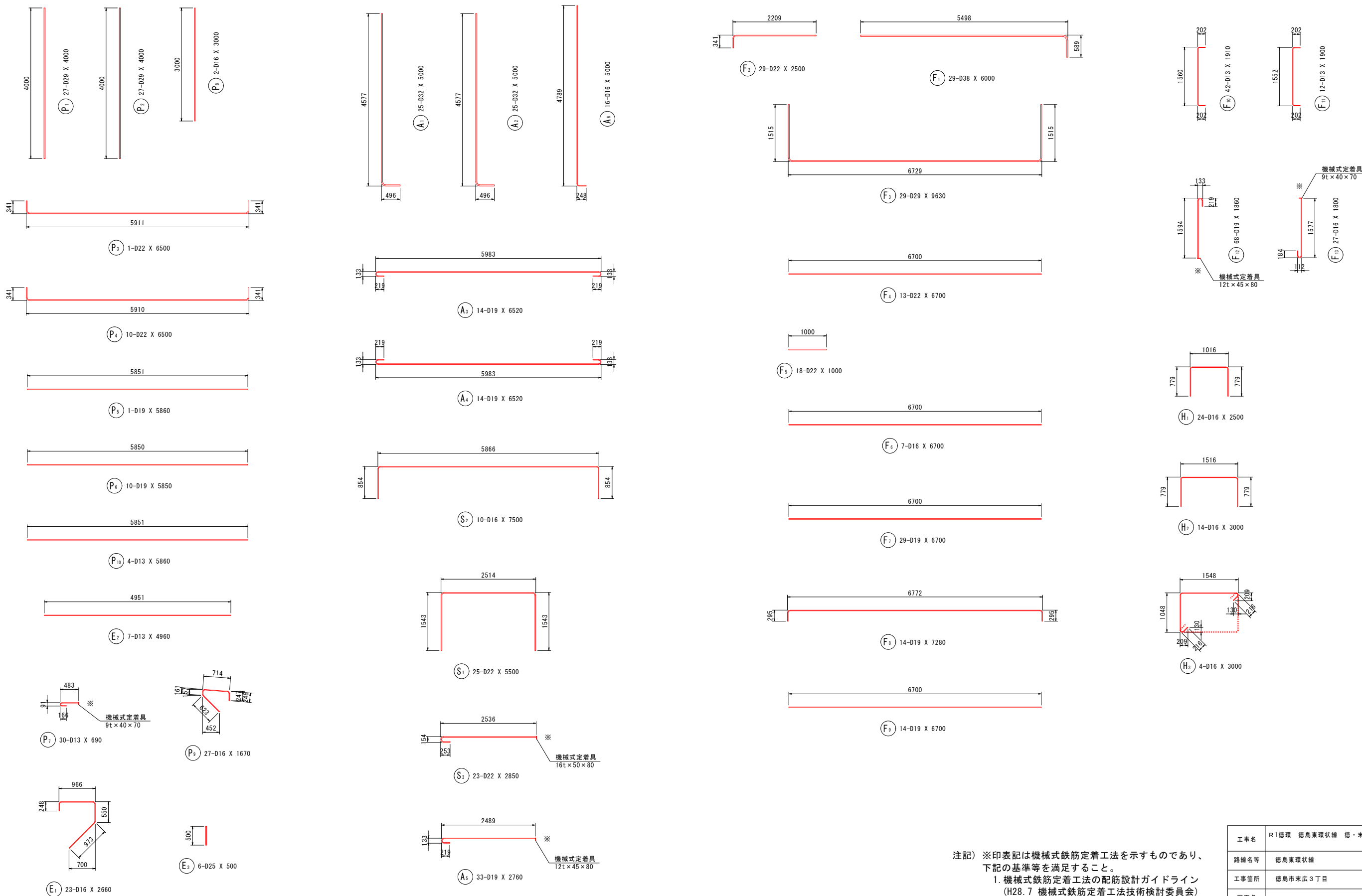
後ろフーチング



注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事項名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BA1橋台配筋図(その3)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

# BA1橋台配筋図(その4) S=1:50



縮小版 20/36

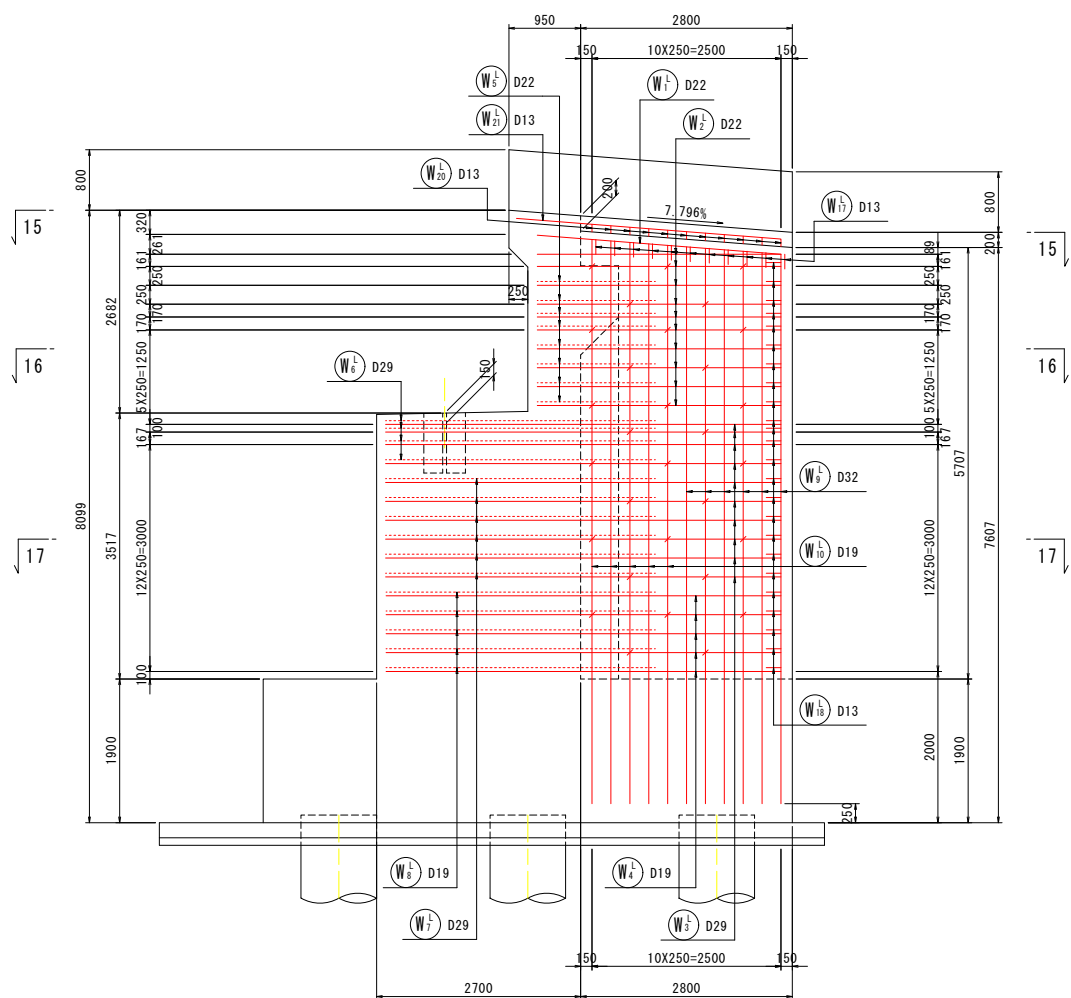
注記 ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	BA1橋台配筋図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

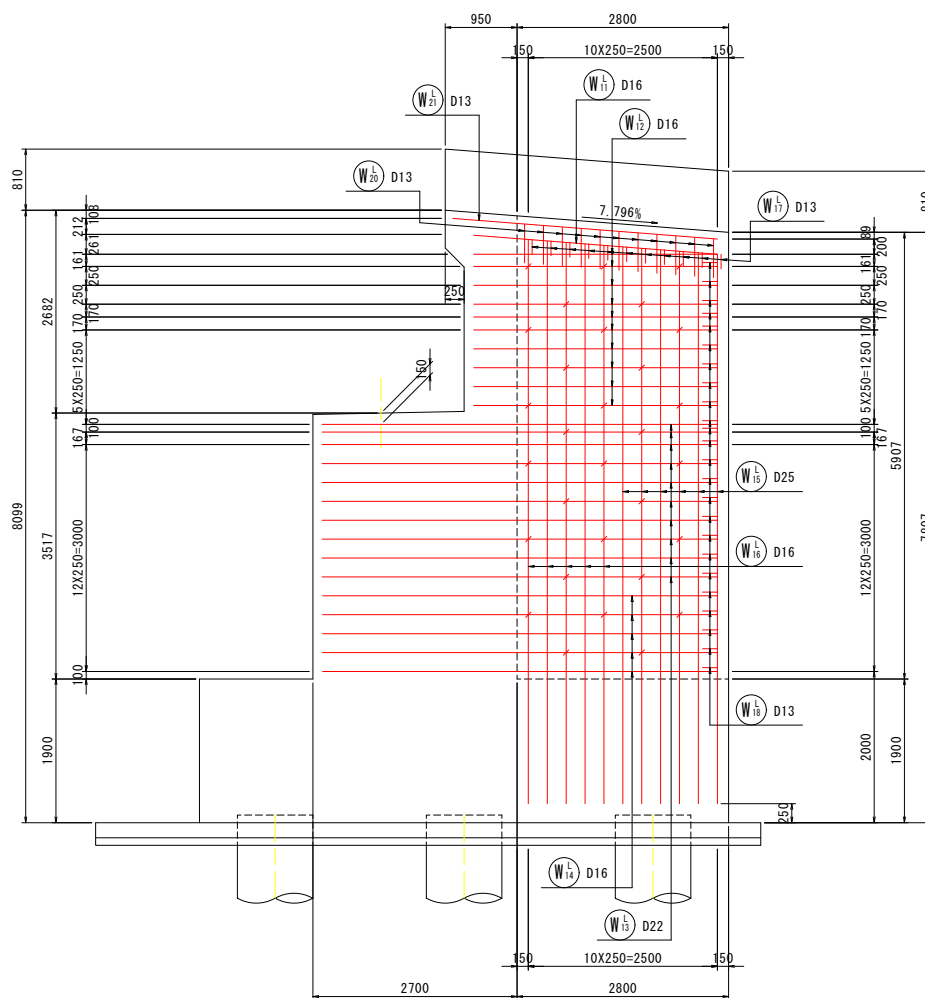
# BA1橋台配筋図(その5) S=1:50

## 左側翼壁

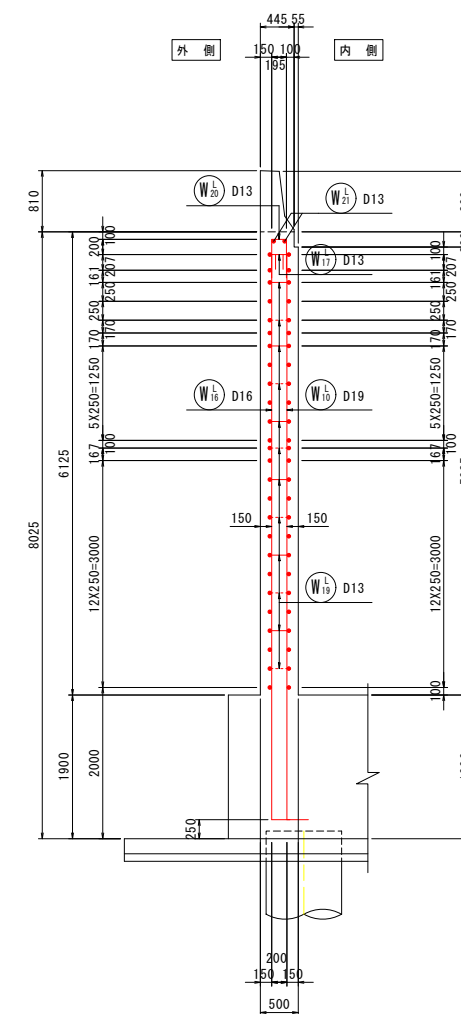
12-12  
(内側)



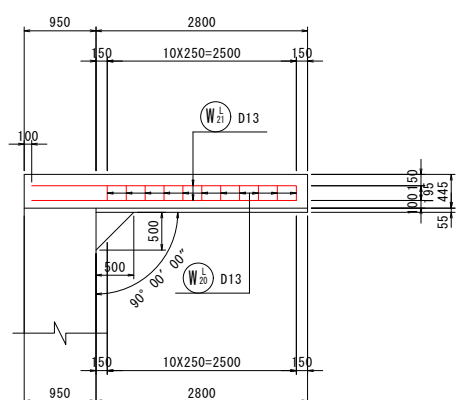
13-13  
(外側)



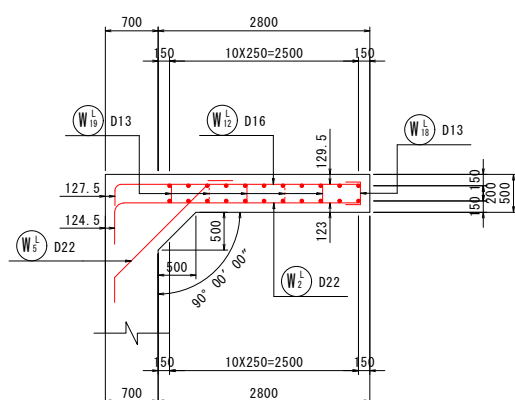
14-14



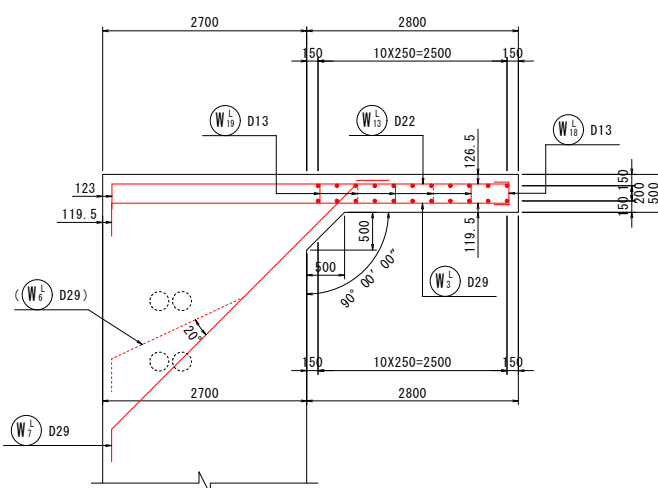
15-15



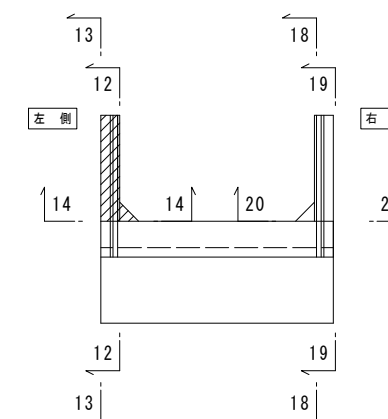
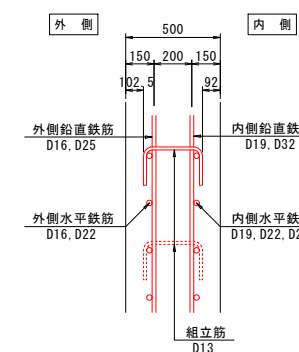
16-16



17-17



### 組立筋詳細図



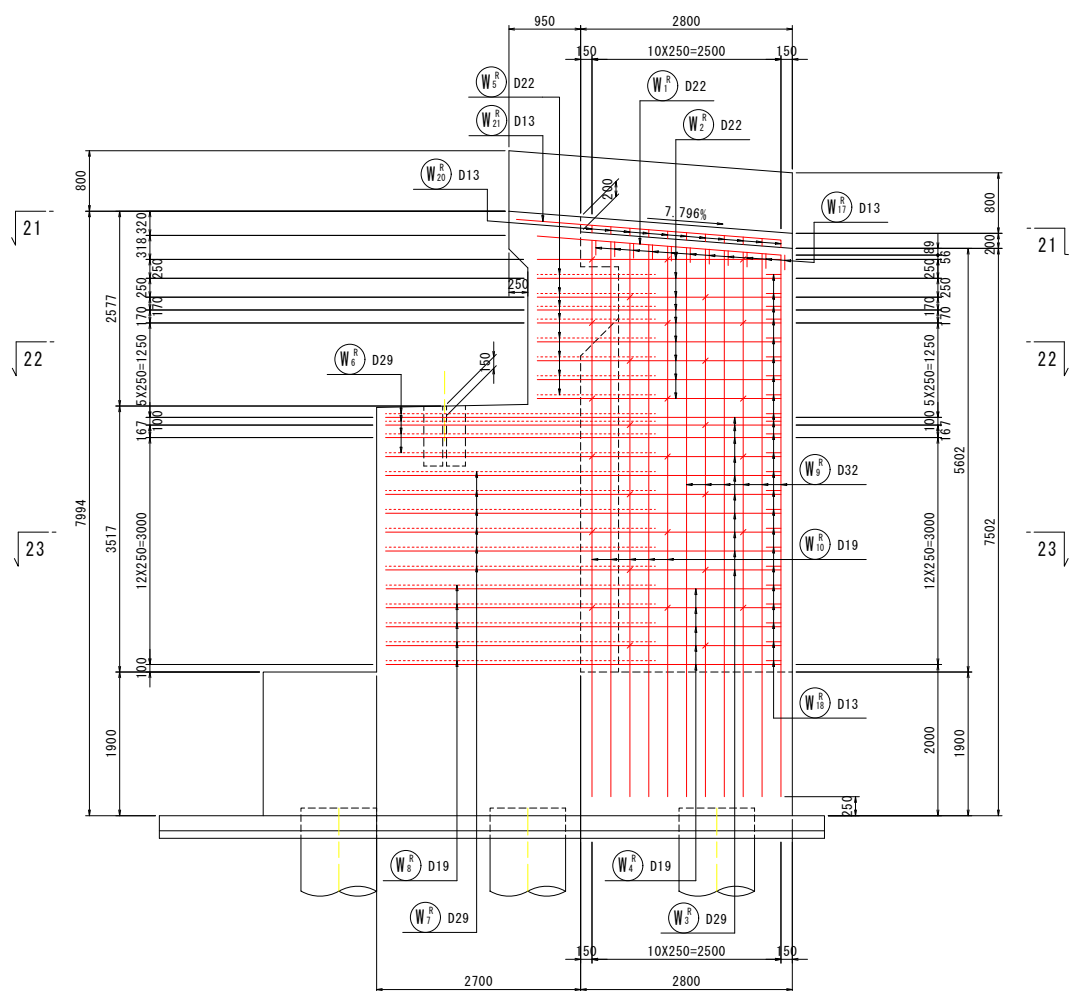
注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BA1橋台配筋図(その5)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

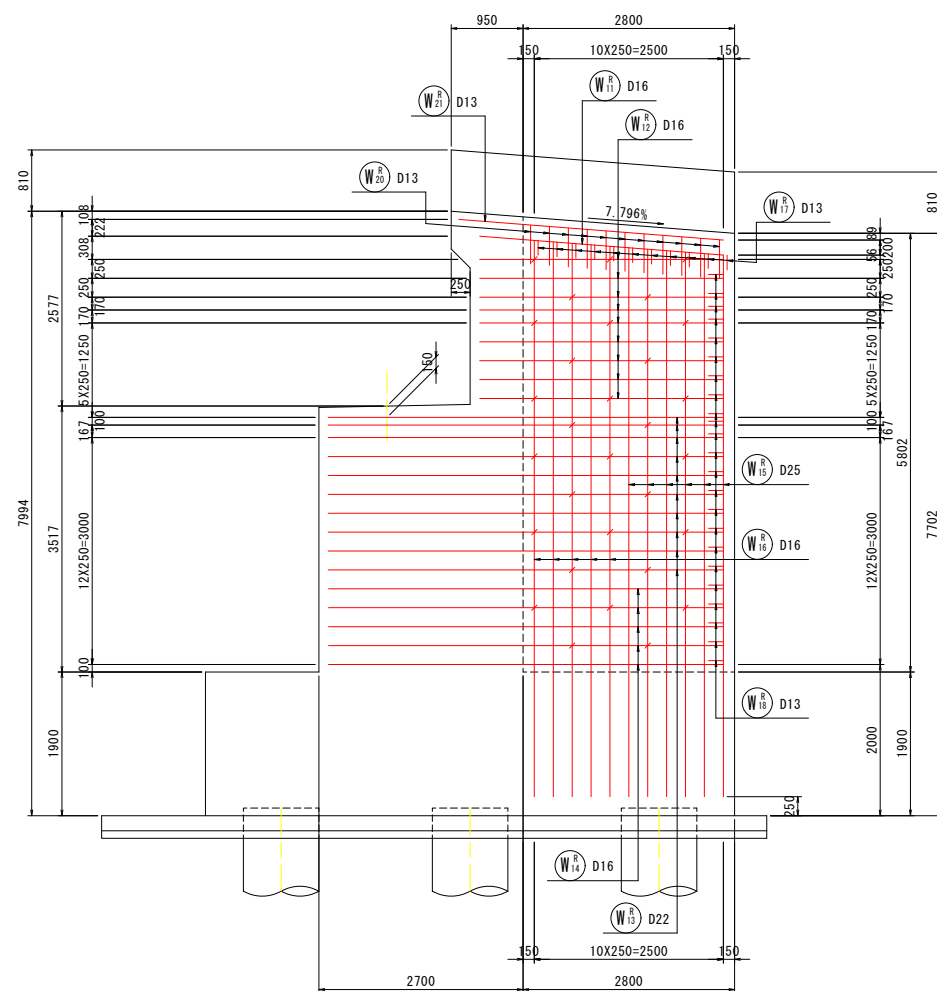
# BA1橋台配筋図(その6) S=1:50

## 右側翼壁

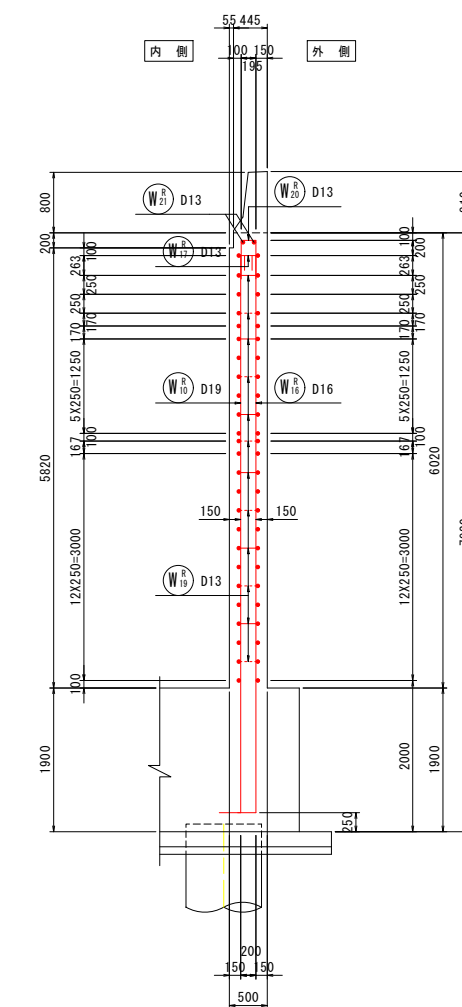
18-18  
(内側)



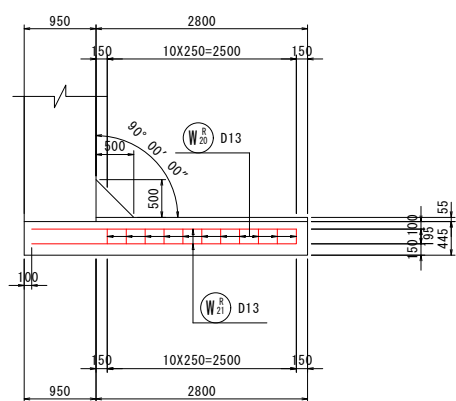
19-19  
(外側)



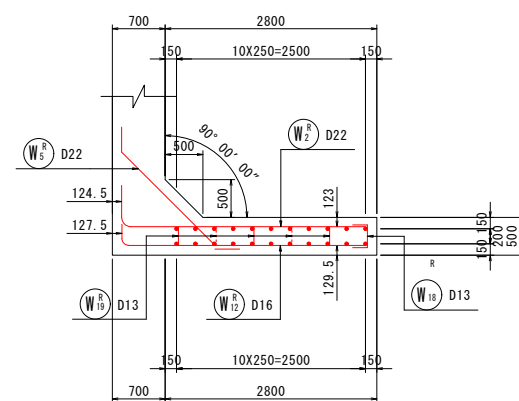
20-20



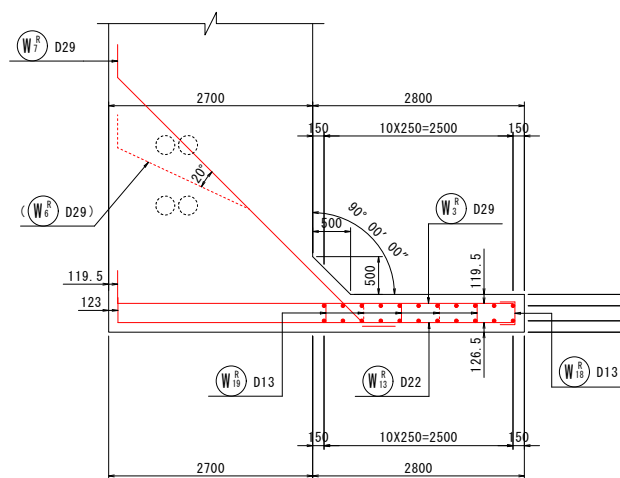
21-21



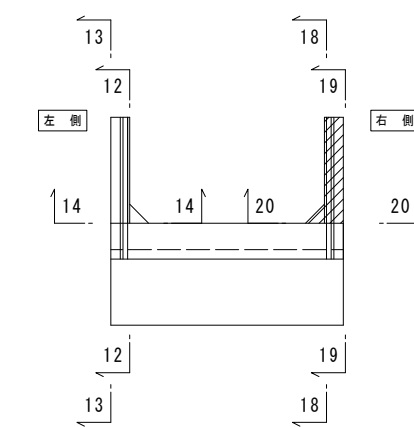
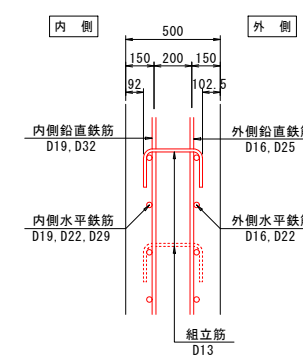
22-22



23-23



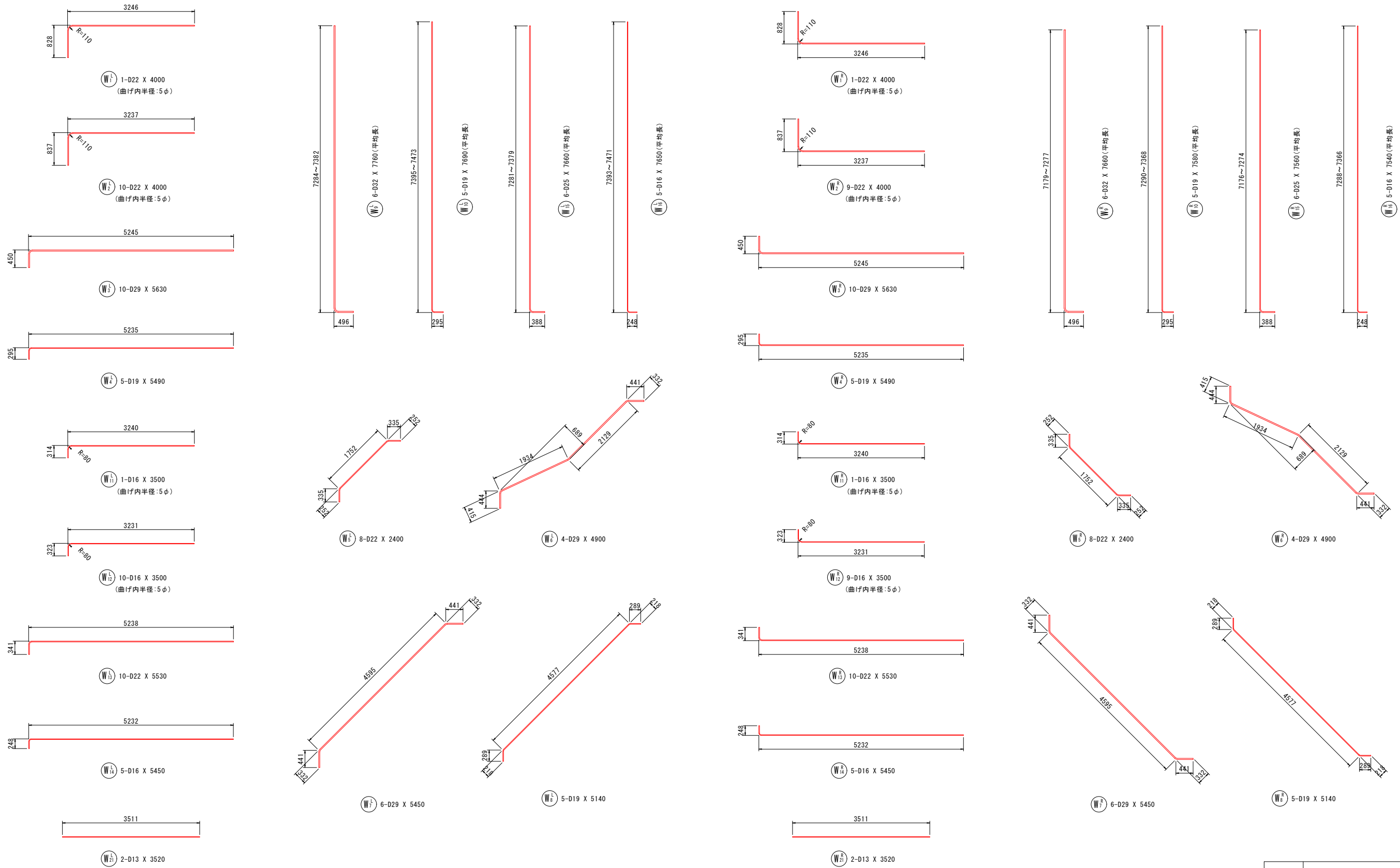
### 組立筋詳細図



注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BA1橋台配筋図(その6)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)

# BA1橋台配筋図(その7) S=1:50



注記 ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記 この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担入手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BA1橋台配筋図(その7)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)



# BA1橋台配筋図(その8) S=1:50

## 壁高欄

側面図

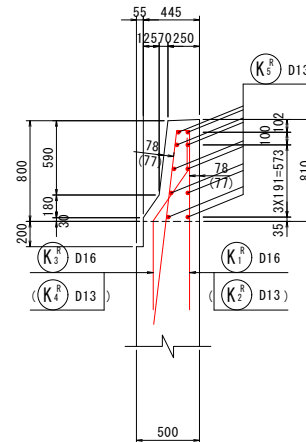
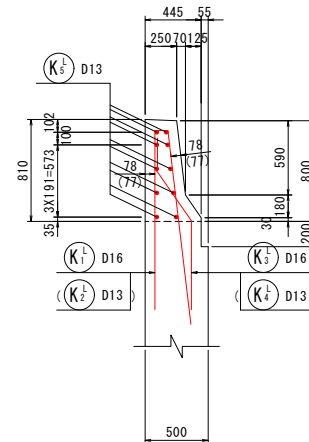
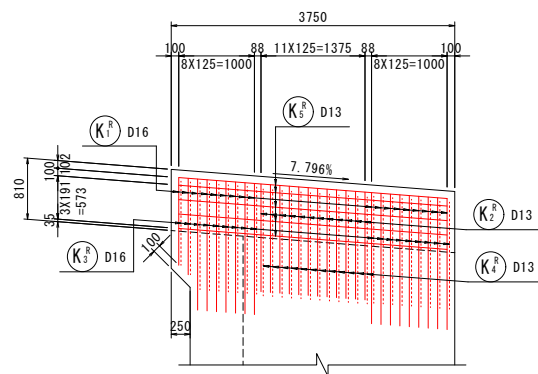
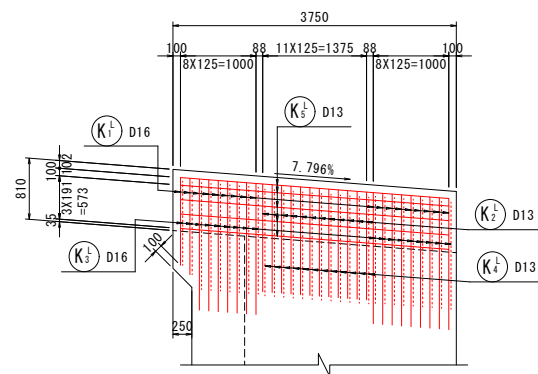
断面図 S=1:30

A-A (左側)

B-B (右側)

C-C (左側)

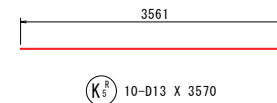
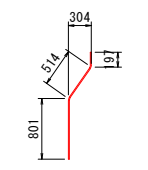
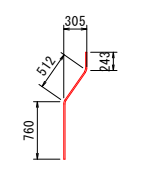
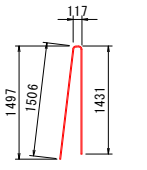
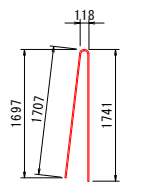
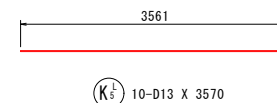
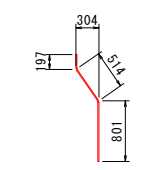
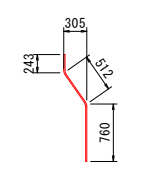
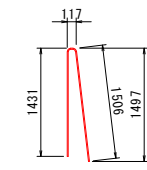
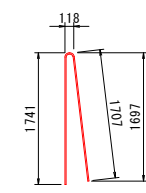
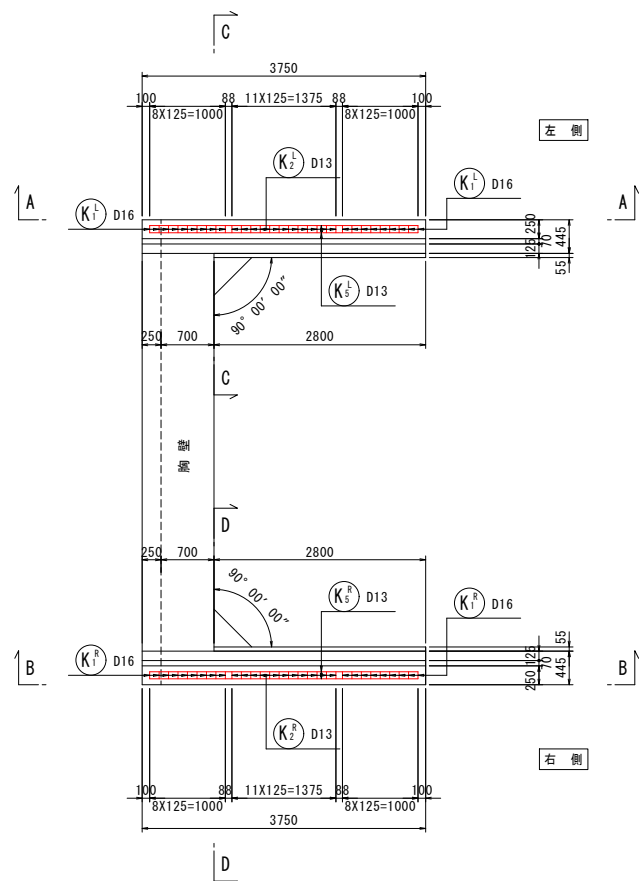
D-D (右側)



※ 胸壁側の端部主鉄筋は、下面かぶり100mmの位置で適宜折り曲げること。

※ ( ) 内は、壁高欄中央付近を示す。

平面図



注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BA1橋台配筋図(その8)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

# BA1橋台配筋図(その9) S=1:50

鉄筋質量表(SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P <sub>1</sub>	D29	4000	27	5.04	20.16	544	┆
P <sub>2</sub>	D29	4000	27	5.04	20.16	544	┆
P <sub>3</sub>	D22	6500	1	3.04	19.76	20	┆
P <sub>4</sub>	D22	6500	10	3.04	19.76	198	┆
P <sub>5</sub>	D19	5860	1	2.25	13.19	13	┆
P <sub>6</sub>	D19	5850	10	2.25	13.16	132	┆
※ P <sub>7</sub>	D13	690	30	0.995	0.69	21	┆
P <sub>8</sub>	D16	3000	2	1.56	4.68	9	┆
P <sub>9</sub>	D16	1670	27	1.56	2.61	70	┆
P <sub>10</sub>	D13	5860	4	0.995	5.83	23	┆
1574							
E <sub>1</sub>	D16	2660	23	1.56	4.15	95	┆
E <sub>2</sub>	D13	4960	7	0.995	4.94	35	┆
E <sub>3</sub>	D25	500	6	3.98	1.99	12	┆
142							
F <sub>1</sub>	D38	6000	29	8.95	53.70	1557	┆
F <sub>2</sub>	D22	2500	29	3.04	7.60	220	┆
F <sub>3</sub>	D29	9630	29	5.04	48.54	1408	┆
F <sub>4</sub>	D22	6700	13	3.04	20.37	265	┆
F <sub>5</sub>	D22	1000	18	3.04	3.04	55	┆
F <sub>6</sub>	D16	6700	7	1.56	10.45	73	┆
F <sub>7</sub>	D19	6700	29	2.25	15.08	437	┆
F <sub>8</sub>	D19	7280	14	2.25	16.38	229	┆
F <sub>9</sub>	D19	6700	14	2.25	15.08	211	┆
F <sub>10</sub>	D13	1910	42	0.995	1.90	80	┆
F <sub>11</sub>	D13	1900	12	0.995	1.89	23	┆
※ F <sub>12</sub>	D19	1860	68	2.25	4.19	285	┆
※ F <sub>13</sub>	D16	1800	27	1.56	2.81	76	┆
4919							
H <sub>1</sub>	D16	2500	24	1.56	3.90	94	┆
H <sub>2</sub>	D16	3000	14	1.56	4.68	66	┆
H <sub>3</sub>	D16	3000	4	1.56	4.68	19	┆
179							
A <sub>1</sub>	D32	5000	25	6.23	31.15	779	┆
A <sub>2</sub>	D32	5000	25	6.23	31.15	779	┆
A <sub>3</sub>	D19	6520	14	2.25	14.67	205	┆
A <sub>4</sub>	D19	6520	14	2.25	14.67	205	┆
※ A <sub>5</sub>	D19	2760	33	2.25	6.21	205	┆
A <sub>6</sub>	D16	5000	16	1.56	7.80	125	┆
2298							
S <sub>1</sub>	D22	5500	25	3.04	16.72	418	┆
S <sub>2</sub>	D16	7500	10	1.56	11.70	117	┆
※ S <sub>3</sub>	D22	2850	23	3.04	8.66	199	┆
734							
K <sub>L1</sub>	D16	3500	18	1.56	5.46	98	┆
K <sub>L2</sub>	D13	3000	12	0.995	2.99	36	┆
K <sub>L3</sub>	D16	1500	18	1.56	2.34	42	┆
K <sub>L4</sub>	D13	1500	12	0.995	1.49	18	┆
K <sub>L5</sub>	D13	3570	10	0.995	3.55	36	┆
230							
K <sub>R1</sub>	D16	3500	18	1.56	5.46	98	┆
K <sub>R2</sub>	D13	3000	12	0.995	2.99	36	┆
K <sub>R3</sub>	D16	1500	18	1.56	2.34	42	┆
K <sub>R4</sub>	D13	1500	12	0.995	1.49	18	┆
K <sub>R5</sub>	D13	3570	10	0.995	3.55	36	┆
230							

機械式鉄筋定着工法数量表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	箇所数						
								0<L≤1m	1<L≤2m	2<L≤3m	3<L≤4m	4<L≤5m	5<L≤6m	
J <sub>1</sub>	D16	430	19	1.56	0.67	13	┆							
J <sub>2</sub>	D16	910	19	1.56	1.42	27	┆							
40														
W <sub>1</sub>	D13	360	16	0.995	0.36	6	┆							
6														
W <sub>L1</sub>	D22	4000	1	3.04	12.16	12	┆							
W <sub>L2</sub>	D22	4000	10	3.04	12.16	122	┆							
W <sub>L3</sub>	D29	5630	10	5.04	28.38	284	┆							
W <sub>L4</sub>	D19	5490	5	2.25	12.35	62	┆							
W <sub>L5</sub>	D22	2400	8	3.04	7.30	58	┆							
W <sub>L6</sub>	D29	4900	4	5.04	24.70	99	┆							
W <sub>L7</sub>	D29	5450	6	5.04	27.47	165	┆							
W <sub>L8</sub>	D19	5140	5	2.25	11.57	58	┆							
W <sub>L9</sub>	D32	7760	6	6.23	48.34	290	┆ (平均長)							
W <sub>L10</sub>	D19	7690	5	2.25	17.30	87	┆ (平均長)							
W <sub>L11</sub>	D16	3500	1	1.56	5.46	5	┆							
W <sub>L12</sub>	D16	3500	10	1.56	5.46	55	┆							
W <sub>L13</sub>	D22	5530	10	3.04	16.81	168	┆							
W <sub>L14</sub>	D16	5450	5	1.56	8.50	43	┆							
W <sub>L15</sub>	D25	7660	6	3.98	30.49	183	┆ (平均長)							
W <sub>L16</sub>	D16	7650	5	1.56	11.93	60	┆ (平均長)							
W <sub>L17</sub>	D13	560	11	0.995	0.56	6	┆							
W <sub>L18</sub>	D13	600	24	0.995	0.60	14	┆							
W <sub>L19</sub>	D13	650	30	0.995	0.65	20	┆							
W <sub>L20</sub>	D13	1190	11	0.995	1.18	13	┆							
W <sub>L21</sub>	D13	3520	2	0.995	3.50	7	┆							
1811														
W <sub>R1</sub>	D22	4000	1	3.04	12.16	12	┆							
W <sub>R2</sub>	D22	4000	9	3.04	12.16	109	┆							
W <sub>R3</sub>	D29	5630	10	5.04	28.38	284	┆							
W <sub>R4</sub>	D19	5490	5	2.25	12.35	62	┆							
W <sub>R5</sub>	D22	2400	8	3.04	7.30	58	┆							
W <sub>R6</sub>	D29	4900	4	5.04	24.70	99	┆							
W <sub>R7</sub>	D29	5450	6	5.04	27.47	165	┆							
W <sub>R8</sub>	D19	5140	5	2.25	11.57	58	┆							
W <sub>R9</sub>	D32	7660	6	6.23	47.72	286	┆ (平均長)							
W <sub>R10</sub>	D19	7580	5	2.25	17.06	85	┆ (平均長)							
W <sub>R11</sub>	D16	3500	1	1.56	5.46	5	┆							
W <sub>R12</sub>	D16	3500	9	1.56	5.46	49	┆							
W <sub>R13</sub>	D22	5530	10	3.04	16.81	168	┆							
W <sub>R14</sub>	D16	5450	5	1.56	8.50	43	┆							
W <sub>R15</sub>	D25	7560	6	3.98	30.09	181	┆ (平均長)							
W <sub>R16</sub>	D16	7540	5	1.56	11.76	59	┆ (平均長)							
W <sub>R17</sub>	D13	560	11	0.995	0.56	6	┆							
W <sub>R18</sub>	D13	600	23	0.995	0.60	14	┆							
W <sub>R19</sub>	D13	650	30	0.995	0.65	20	┆							
W <sub>R20</sub>	D13	1190	11	0.995	1.18	13	┆							
W <sub>R21</sub>	D13	3520	2	0.995	3.50	7	┆							
1783														
合計 D38						1557 kg								
D32						2134 kg								
D29						3592 kg								
D25						376 kg								
D22						2082 kg								
D19						2334 kg								
D16						1383 kg								
D13						488 kg								
総質量						13946 kg								

鉄筋径	箇所数					
	0<L≤1m	1<L≤2m	2<L≤3m	3<L≤4m	4<L≤5m	5<L≤6m
D13	30	-	-	-	-	-
D16	-	27	-	-	-	-
D19	-	68	33	-	-	-
D22	-	-	23	-	-	-
D25	-	-	-	-	-	-
小計	30	95	56	-	-	-
合計	181					

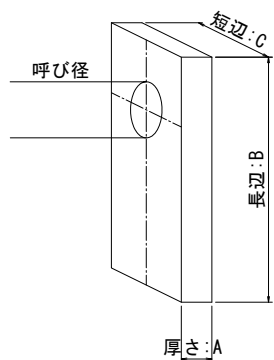
注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	BA1橋台配筋図(その9)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

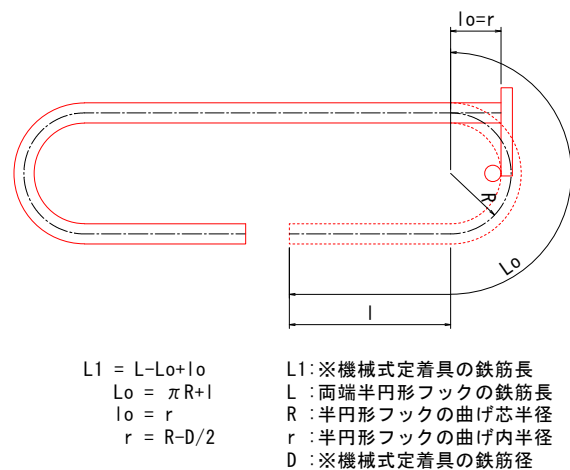
# BA1橋台配筋図(その10) S=1:50

## (参考図)

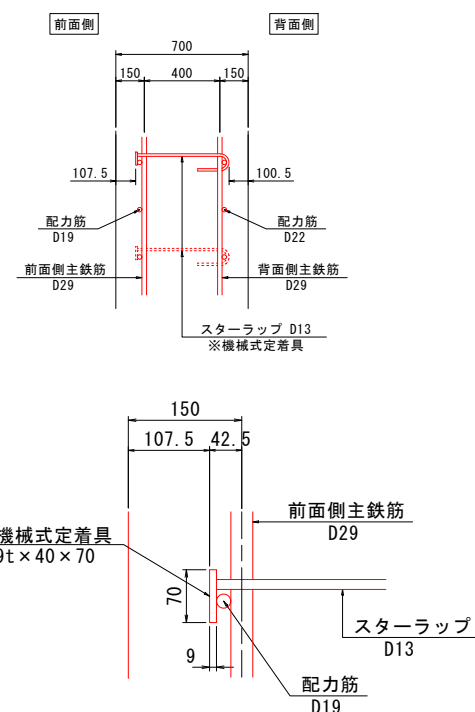
### 寸法図



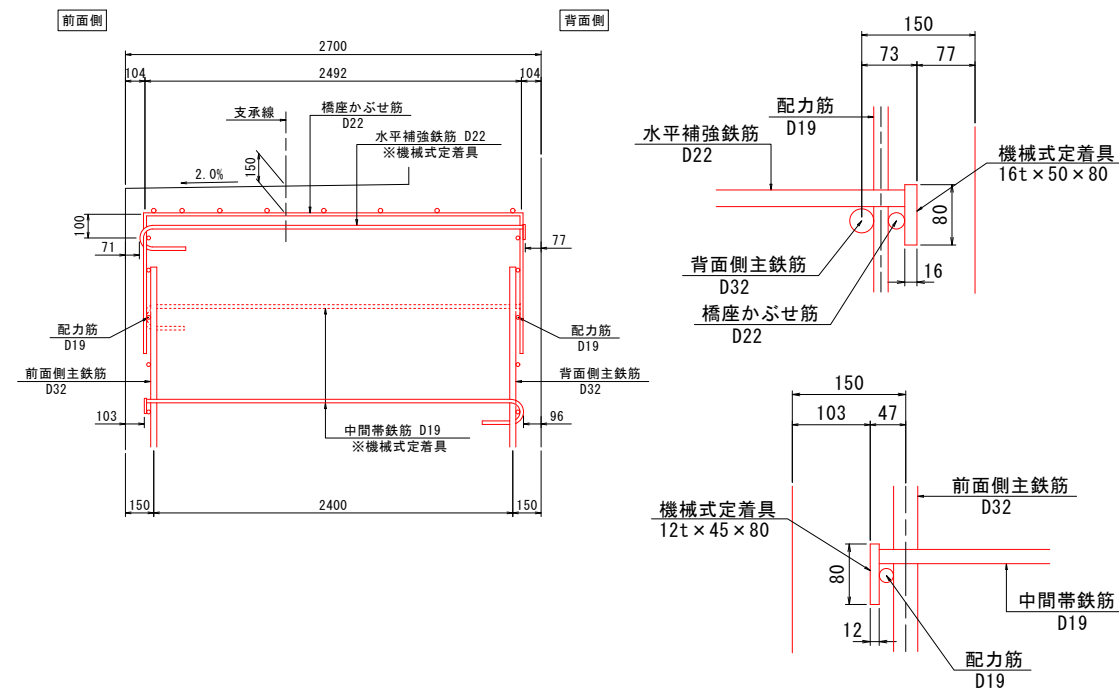
### 加工仕様



### 胸壁部スターラップ詳細図



### たて壁中間帯鉄筋・水平補強筋詳細図



### 寸法表

#### 定着プレートの寸法 (SD345, SD295適用)

せん断補強鉄筋呼び径		D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51
標準プレート寸法	A 厚さ	9	9	12	16	16	19	19	22	25	25	32
	B 長辺	70	70	80	80	90	90	90	-	-	-	-
	C 短辺	40	40	45	50	60	65	70	80	85	95	120
掛けられる鉄筋の呼び径	D13	70	70	80	80	90	90	90	80	90	95	110
	D16								85	90	95	115
	D19								85	90	100	115
	D22								90	95	100	120
	D25								95	95	105	120
	D29								95	100	105	125
	D32								100	100	110	125
	D35								95	100	105	130
	D38								95	105	105	130
	D41								75	75	85	95
D51	80	85	85	90	100	105	105	115	120	125	140	

※鉄筋種類がSD345, SD295以外、プレート材質がSM490以外、コンクリート強度が30N/mm<sup>2</sup>以上の場合、審査証明の詳細に従う。

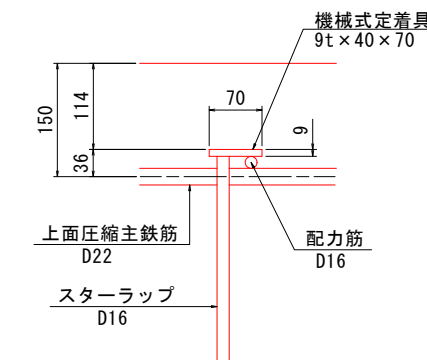
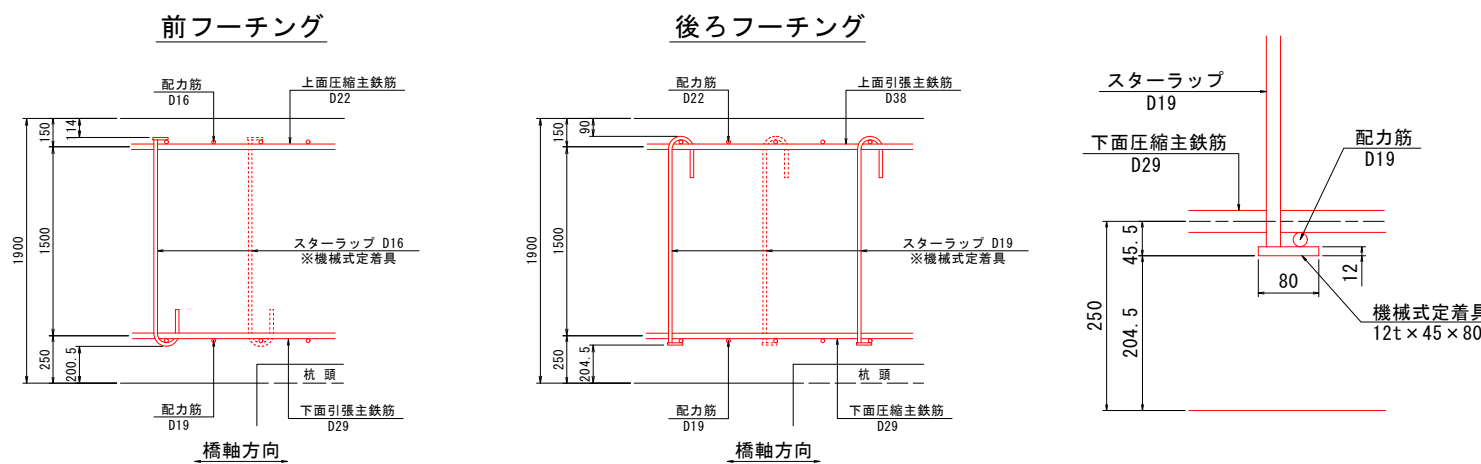
#### 適用範囲(せん断補強鉄筋または中間帯鉄筋)

呼び名	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51	プレート材質
鉄筋の種類	SD295	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SM490, S35C, S45C
	SD345	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SM490, S35C, S45C
	SD390	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SM490, S45C
	SD490	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	SM490, S45C

### 配置上の留意点

※機械式定着具のプレートおよびフックは掛けられる鉄筋と直交するようにする。

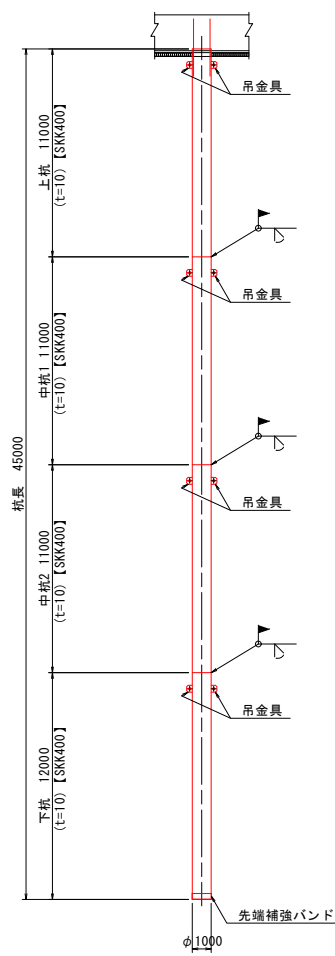
### 底版部スターラップ詳細図



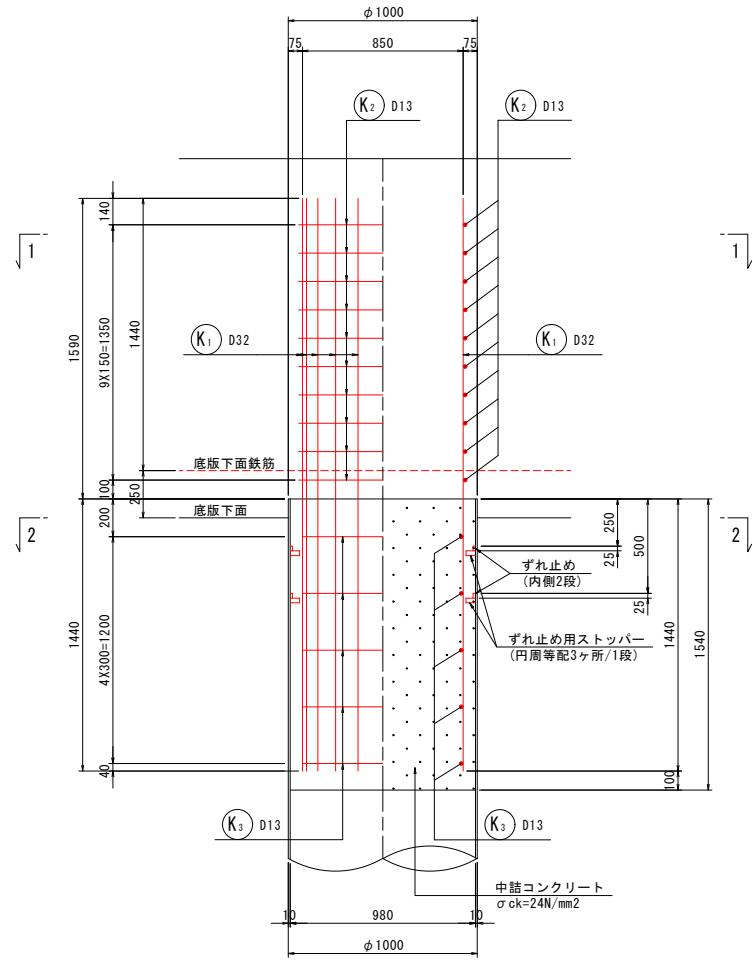
注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

# BA1橋台鋼管杭詳細図

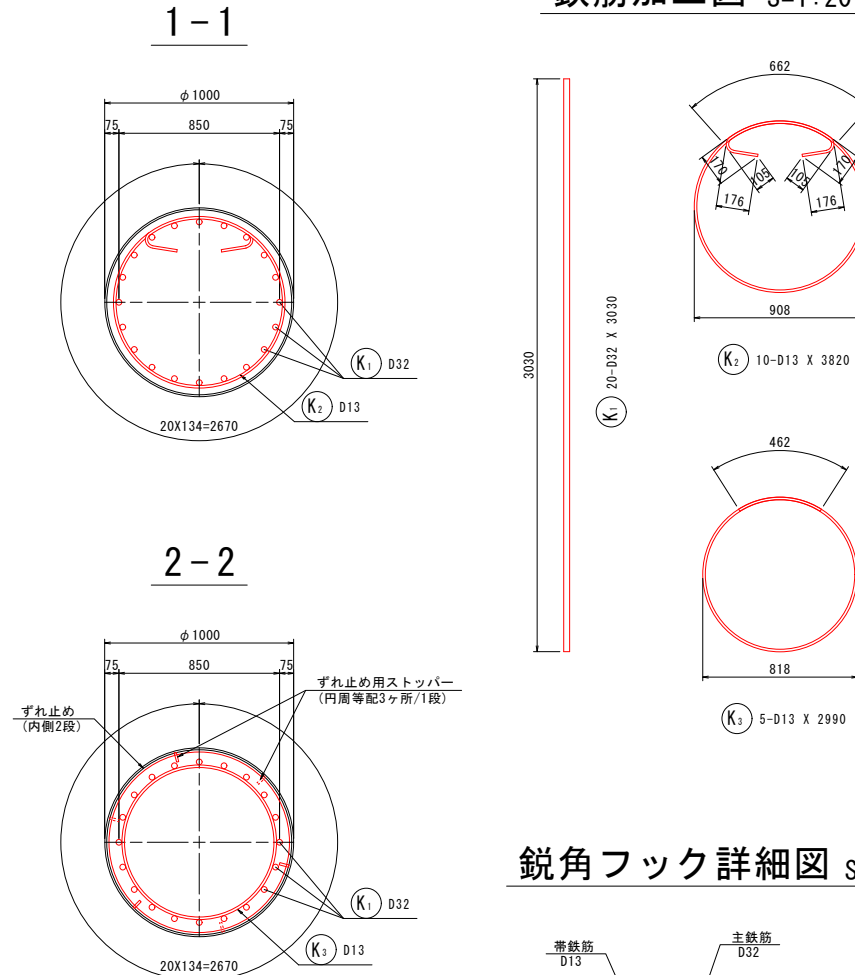
鋼管杭構成図 S=1:200



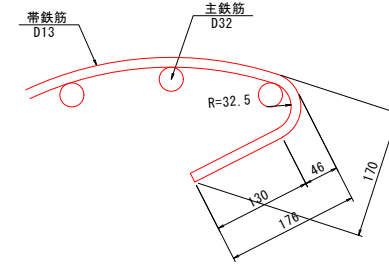
杭頭処理図 S=1:20



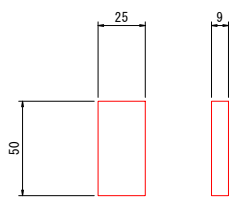
鉄筋加工図 S=1:20



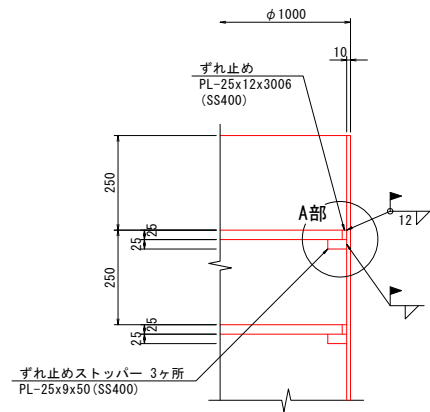
鋭角フック詳細図 S=1:5



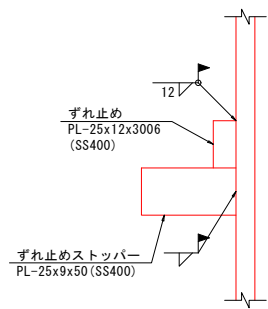
ずれ止めストッパー S=1:2



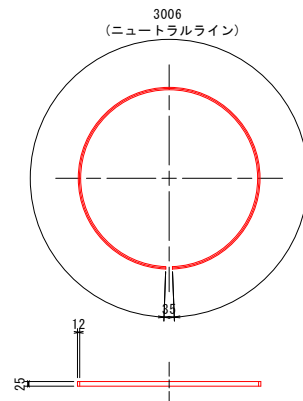
ずれ止め詳細図 S=1:10



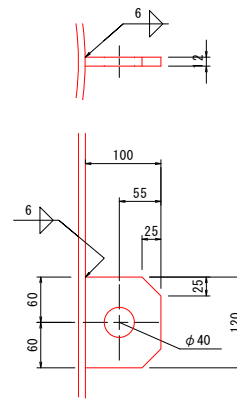
A部詳細図 S=1:2



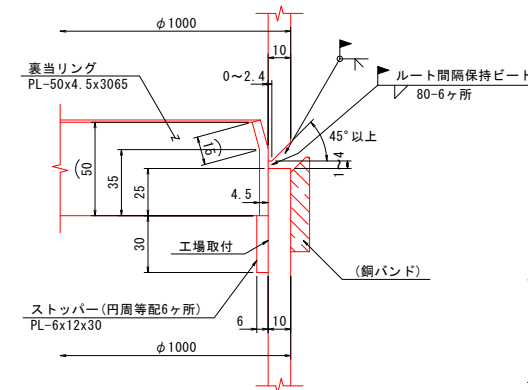
ずれ止め S=1:20



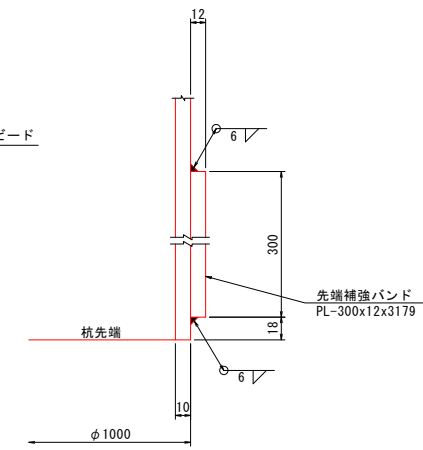
吊金具図 S=1:5



現場継手図 S=1:2



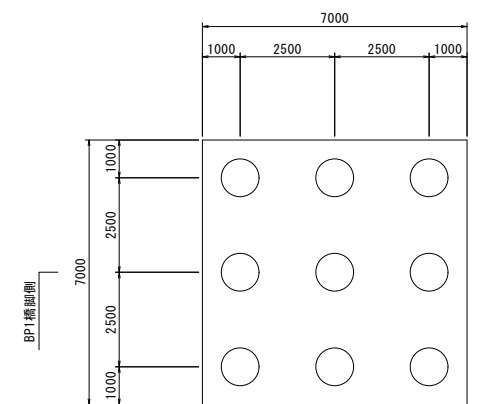
先端補強バンド詳細図 S=1:3



材料集計表 1基当り 鋼管数量 9本

項目	寸法	単位	杭1本当り	数量	摘要
鋼管	φ 1000 x t 10	kg	10980	98820	SKK400
	小計	"	"	98820	"
杭頭鉄筋	D 32	kg	378	3402	SD345
	D 13	"	53	477	"
	小計	"	431	3879	"
プレート		kg	121.28	1092	SS400
		"	9.04	81	SM490A
頭部中詰コンクリート		m <sup>3</sup>	1.162	10.46	σck=24N/mm <sup>2</sup>

杭配置図 S=1:100



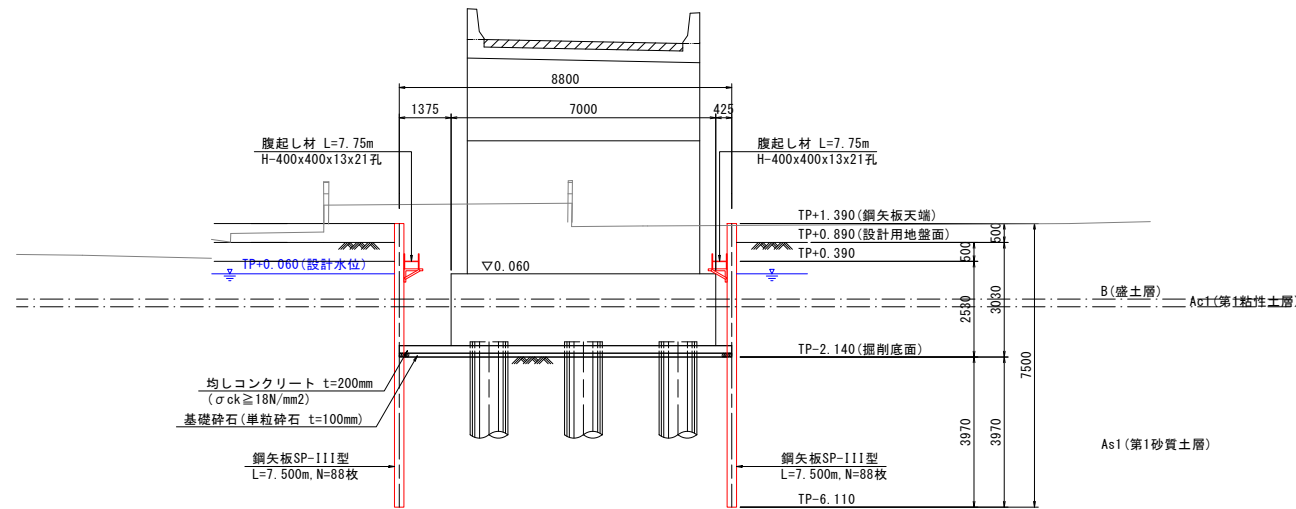
縮小版 27/36

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	BA1橋台鋼管杭詳細図		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

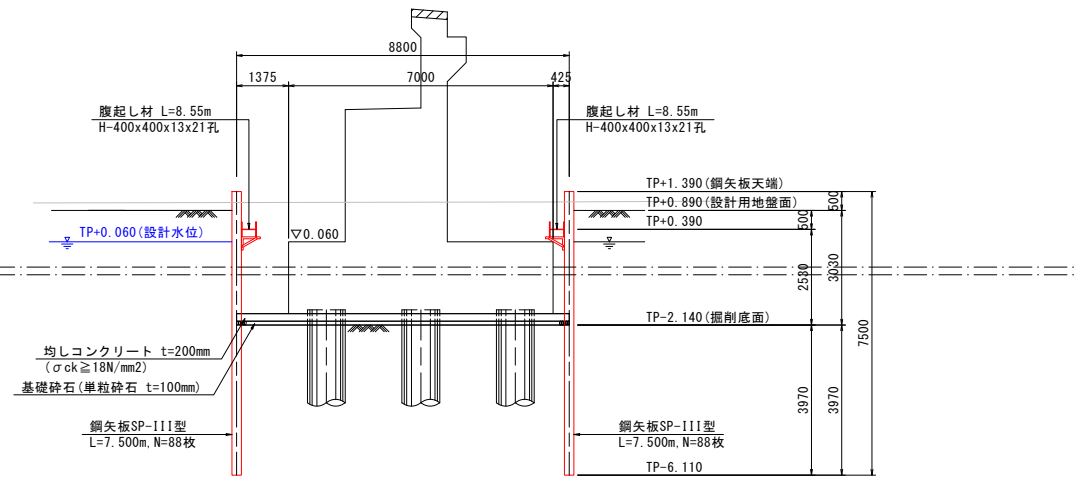
「本図面は新JISA0101(2003)に基づき作成した図面である」(外形寸法)

# BA1橋台土留工詳細図 S=1:100

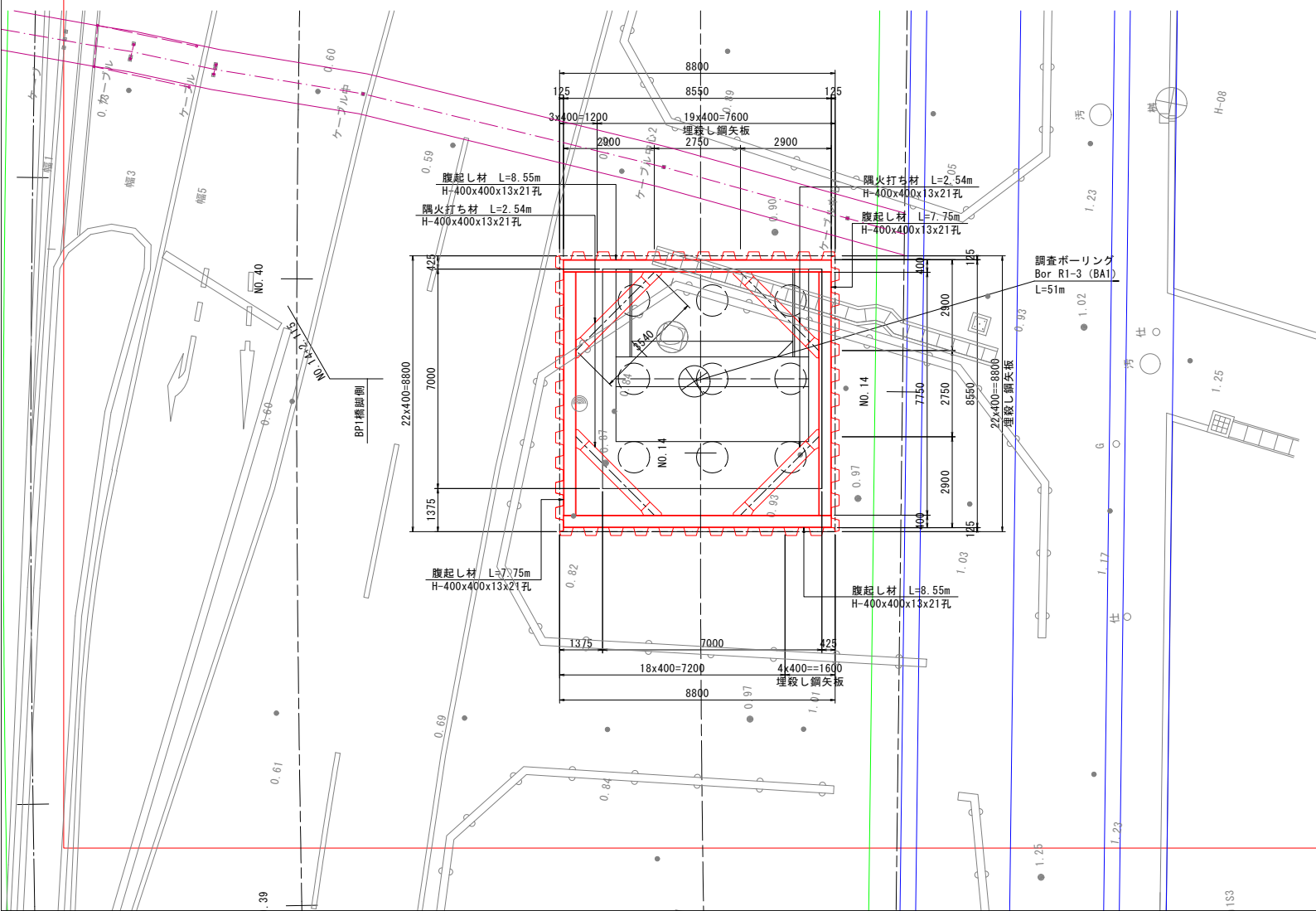
正面図



側面図



平面図



仮設土留工数量表

種別	鋼材形式	部材長 (mm)	本数 (枚)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
鋼矢板	111型	7500	43	60.0	450.0	19350	SY295
"	111型(埋殺し分)	7500	45	60.0	450.0	20250	"
小計						39600	
腹起し材	H-400×400×13×21孔	8550	2	200.0	1710.0	3420	SS400 加工材
"	"	7750	2	200.0	1550.0	3100	"
隅火打ち材	H-400×400×13×21孔	2540	4	200.0	508.0	2032	SS400 加工材
小計						8552	
副部材 A		8552 × 0.22				= 1881	kg
副部材 B		8552 × 0.04				= 342	kg
合計						10775	kg

注) 隅火打長は隅火打実長-1.0m(火打受ピース)を差し引いた長さである。

土質定数一覧表

地層名	記号	層厚 (m)	設計N値	単位重量 $\gamma t$ (kN/m <sup>3</sup> )	粘着力 C (kN/m <sup>2</sup> )	せん断抵抗角 $\phi$ (°)	変形係数 $\alpha E0$ (kN/m <sup>2</sup> )
盛土層(最上部層)	B	1.500	12	20	—	40.0	33600
第1砂質土層	Ac1	0.200	4	16	28	—	11200
第2粘性土層	As1	7.700	9	17	—	33.0	26000
第2粘性土層	Ac2-1	7.000	6	18	44	—	23600

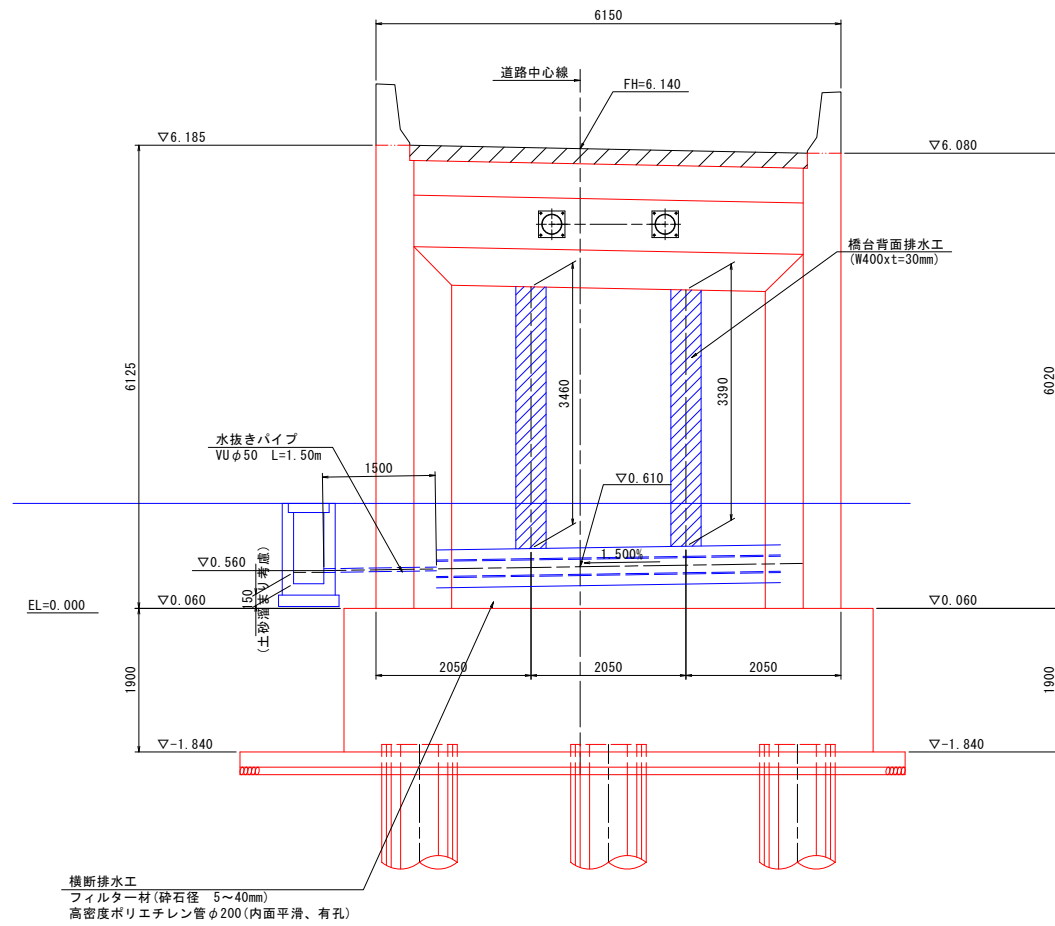
縮小版 28/36

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	BA1橋台土留工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

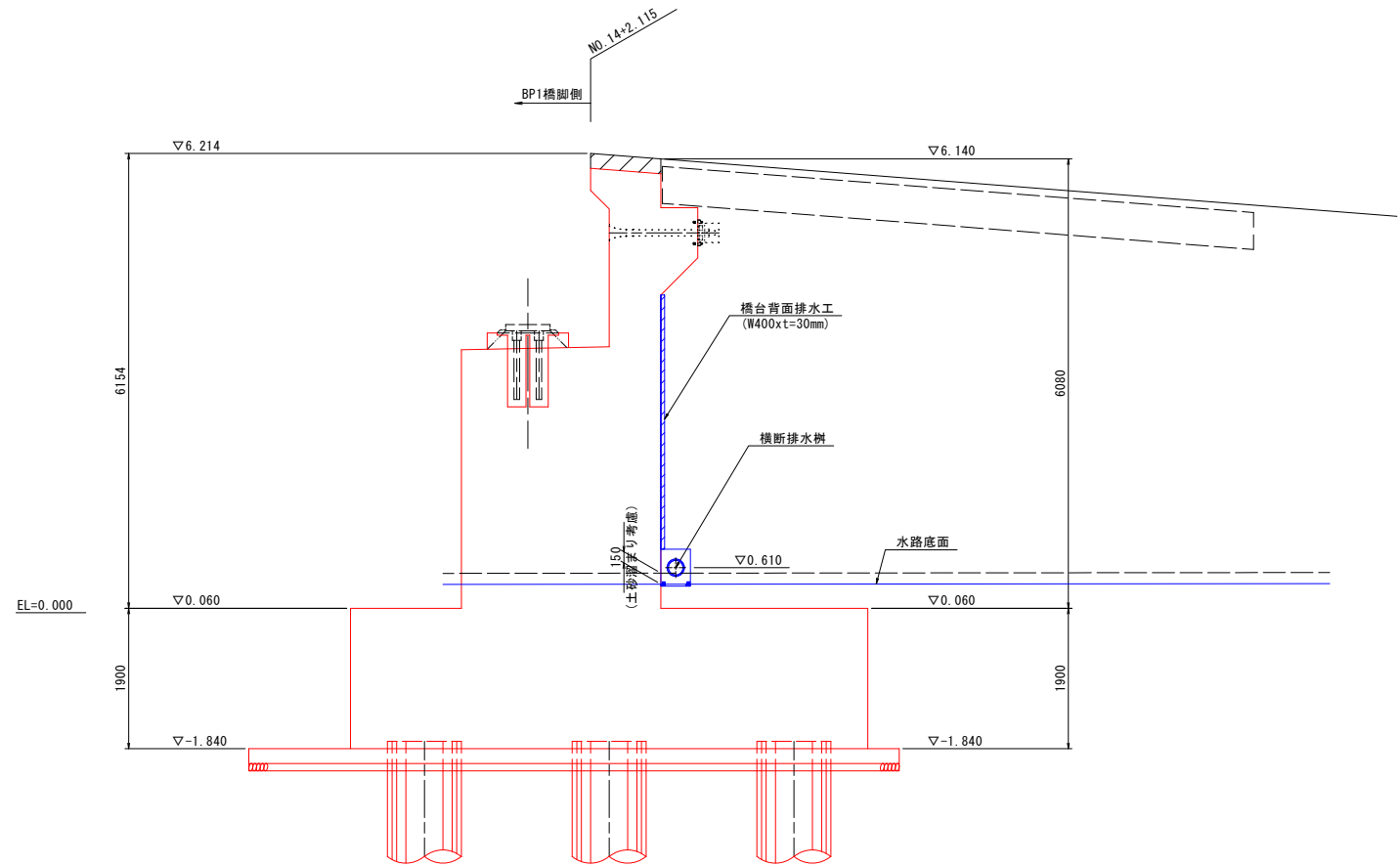
# BA1橋台背面排水工計画図 S=1:50

(参考図)

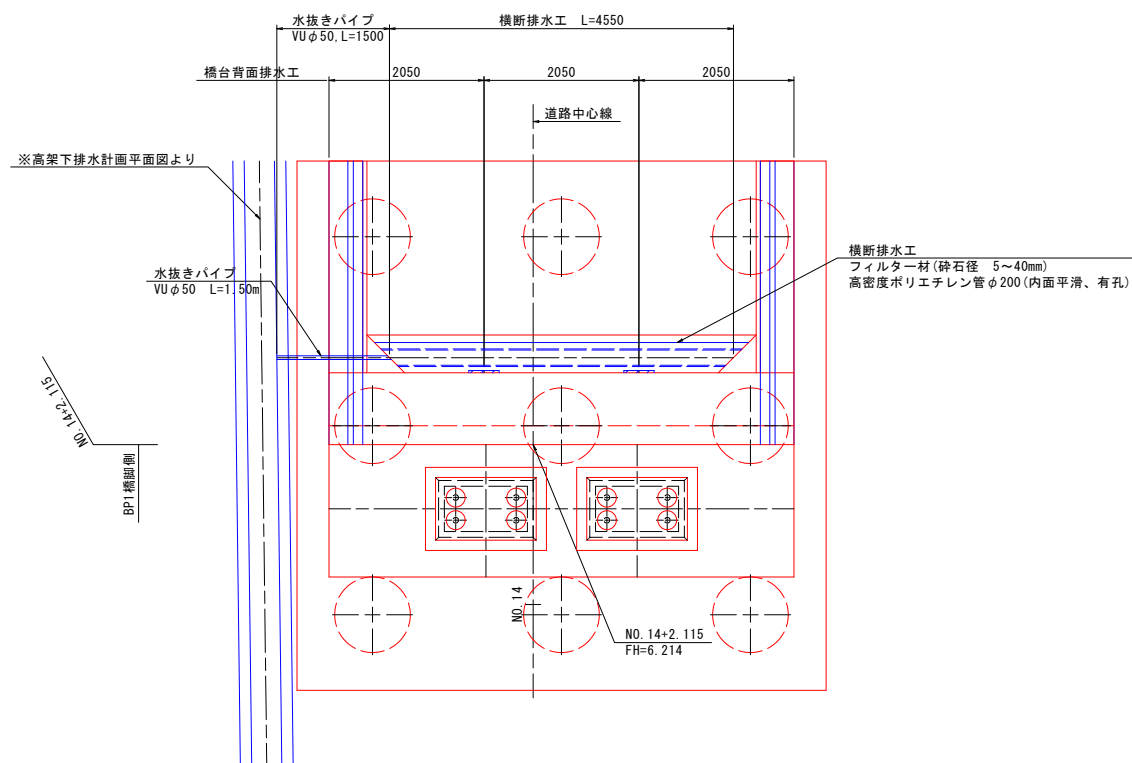
## 背面図



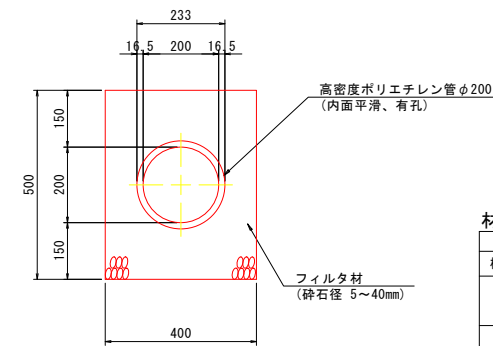
## 側面図



## 平面図



## 横断排水工詳細図 S=1:10



### 材料表

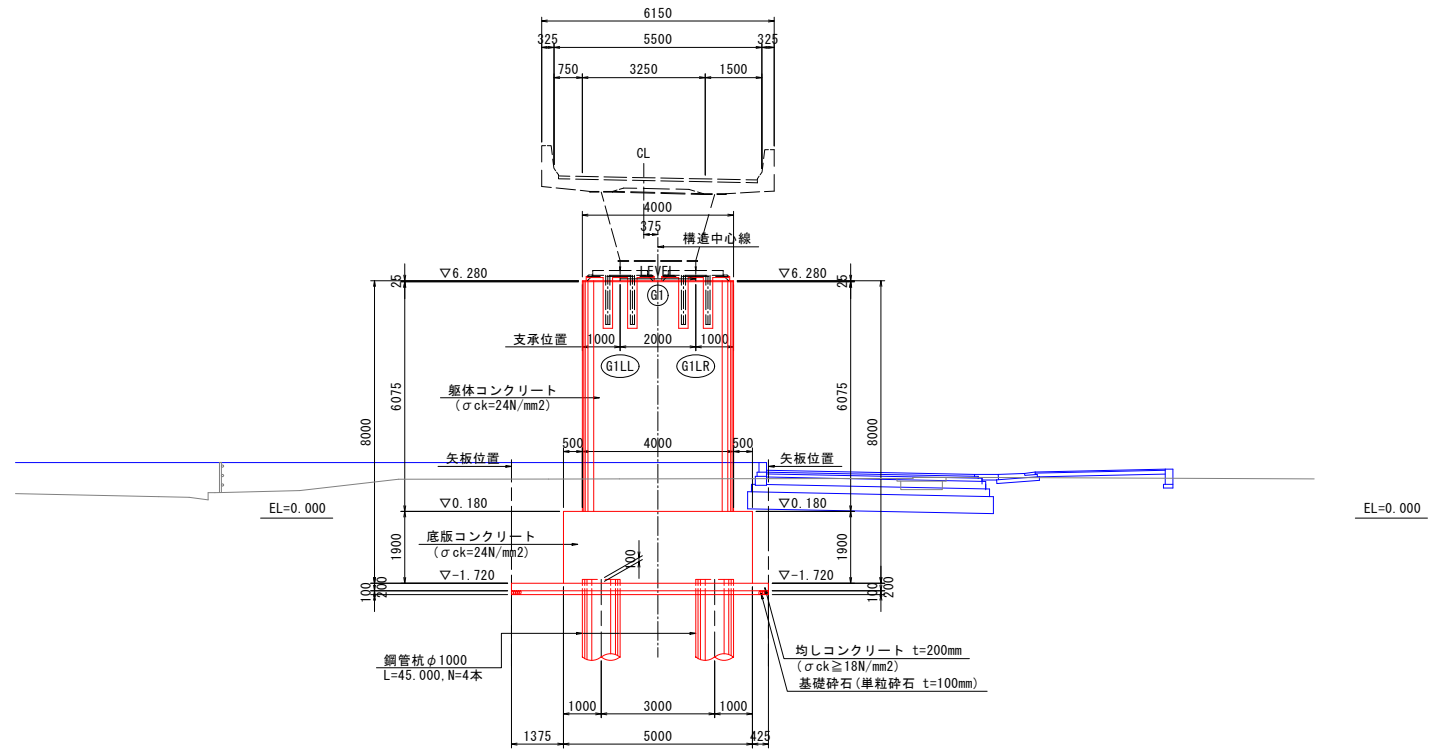
名称	規格	単位	数量
橋台背面排水工	W400x30mm	m	6.85
横断排水工	フィルター材 H500xW400mm	m <sup>3</sup>	0.72
	高密度ポリエチレン管φ200	m	4.55
水抜きパイプ	VUφ50	m	1.50

注) 橋台背面排水工材料については、発注者と協議の上決定すること。

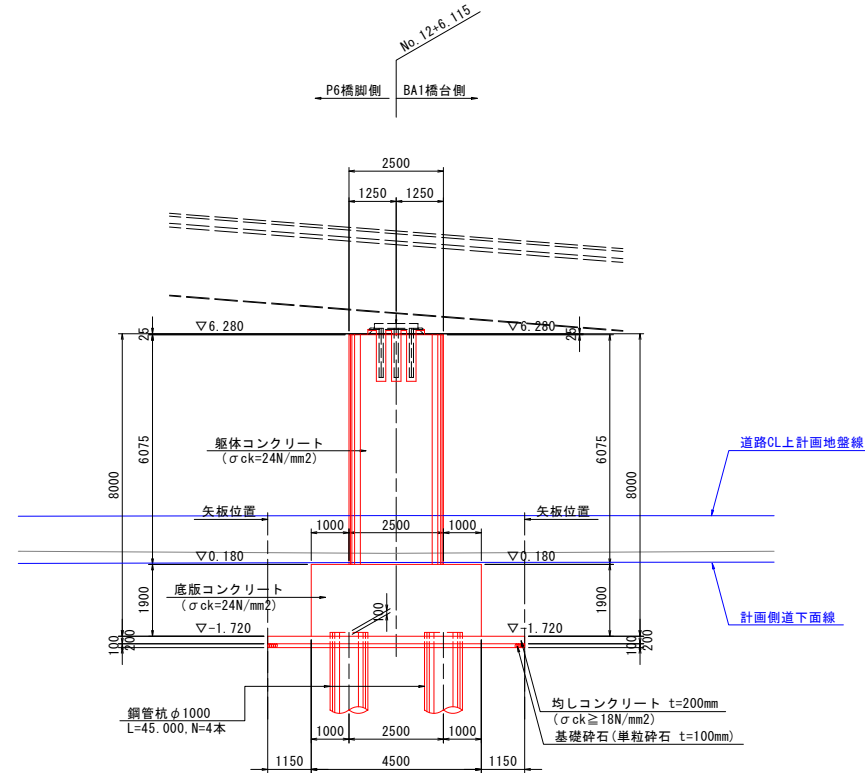
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BA1橋台背面排水工計画図 (参考図)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)

# BP1橋脚構造図 S=1:100

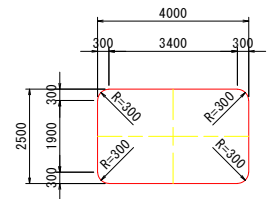
正面図



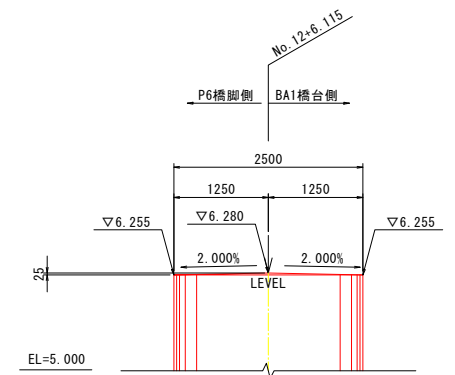
側面図



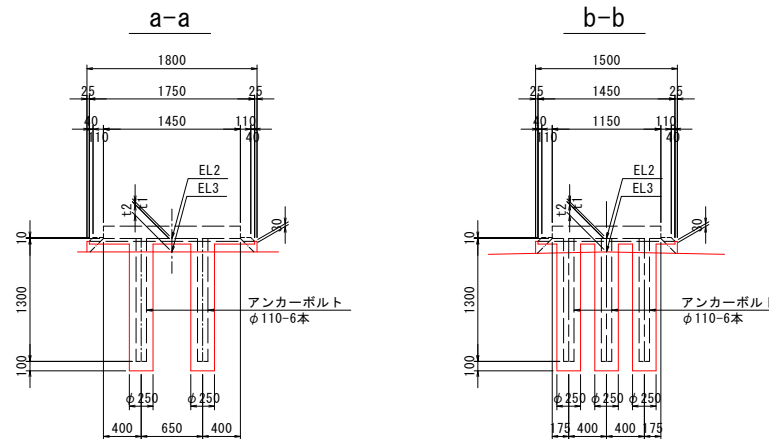
面取り部詳細図



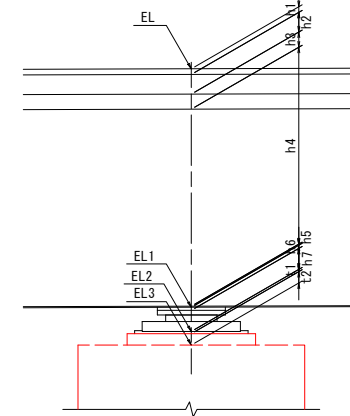
桁受け詳細図 S=1:50



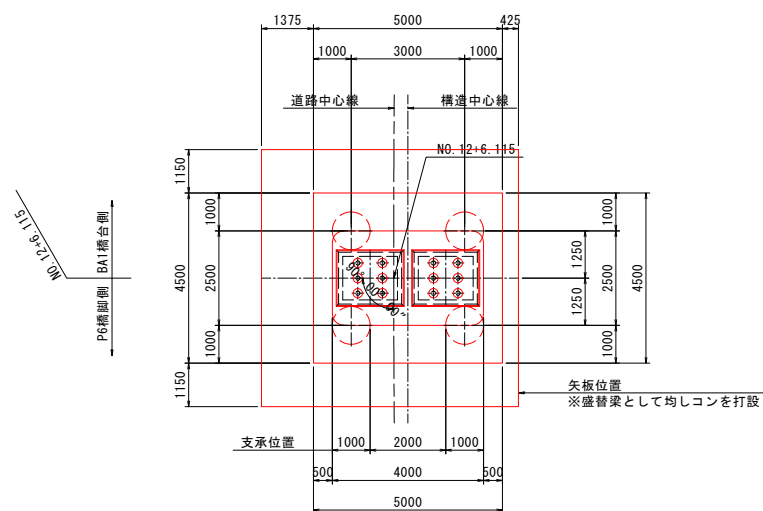
支承箱抜き詳細図 S=1:40



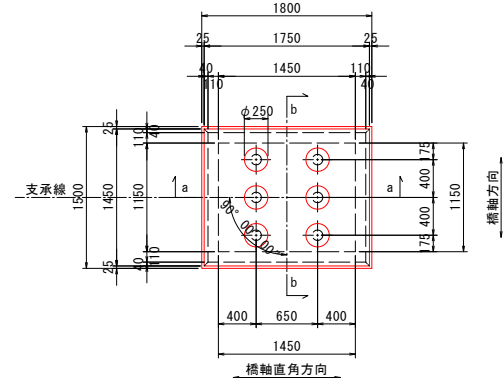
支承位置断面図



平面図



平面図



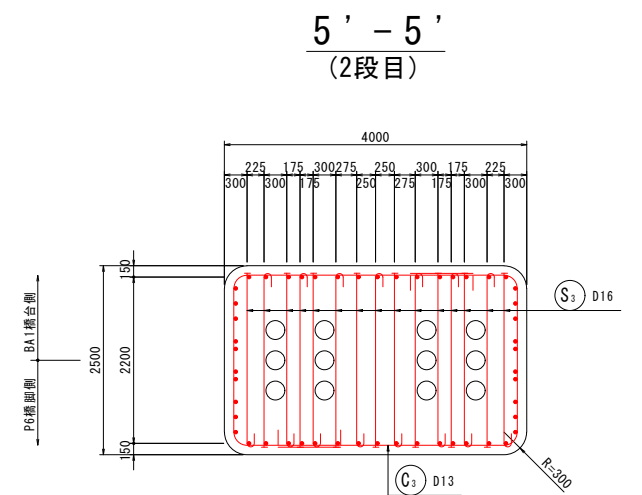
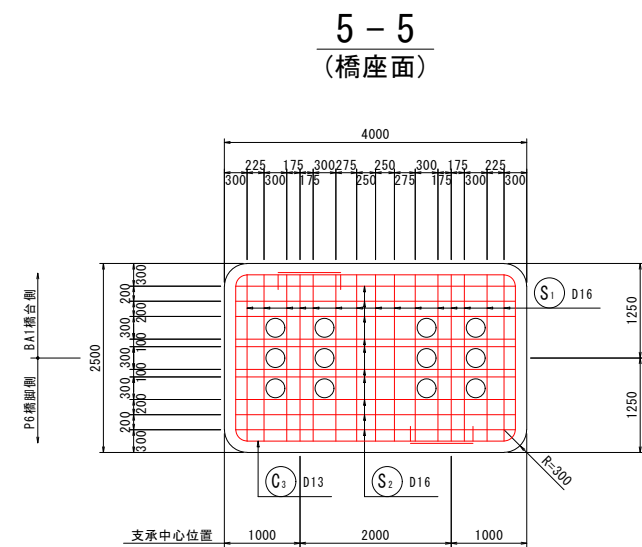
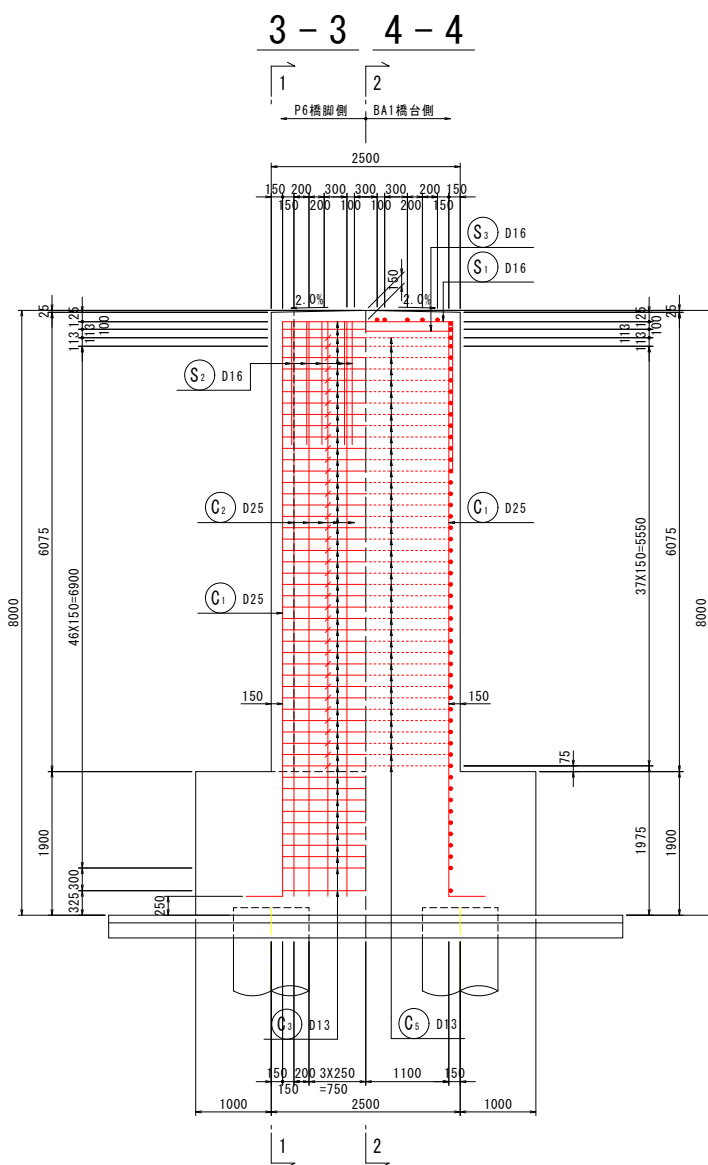
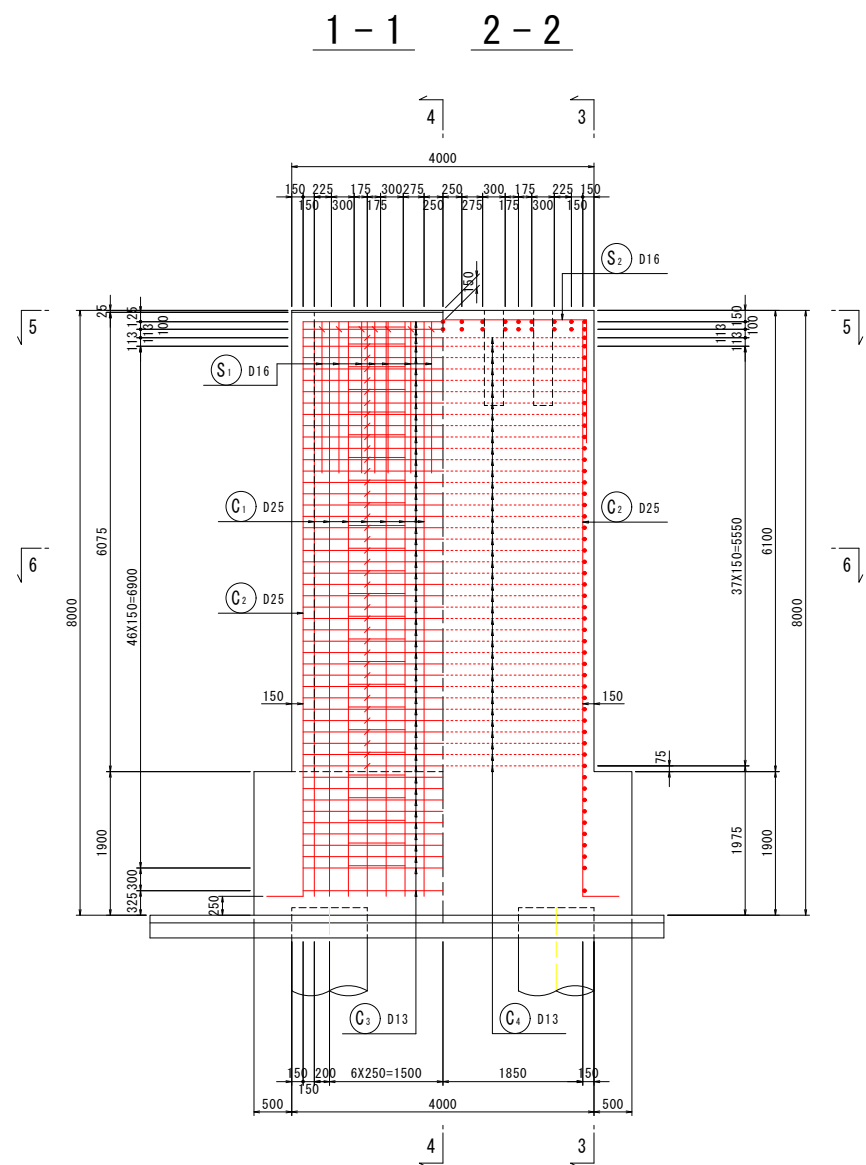
構造高表 (BP1上)

		G1LL	G1	G1LR
路面計画高	EL	9.019	8.999	8.979
舗装厚	h1	0.075	0.075	0.075
床版高	h2	0.210	0.210	0.210
ハンチ高	h3	0.100	0.100	0.100
主桁高	h4	1.820	1.800	1.780
下フランジ厚	h5	0.022	0.022	0.022
下フランジ下面高	EL1	6.792	6.792	6.792
ソールプレート厚	h6	0.053	-	0.053
支承高	h7	0.316	-	0.316
支承設置高	EL2	6.423	-	6.423
調整モルタル厚	t1	0.030	-	0.030
台座コンクリート高	t2	0.113	-	0.113
下部工天端高	EL3	6.280	-	6.280

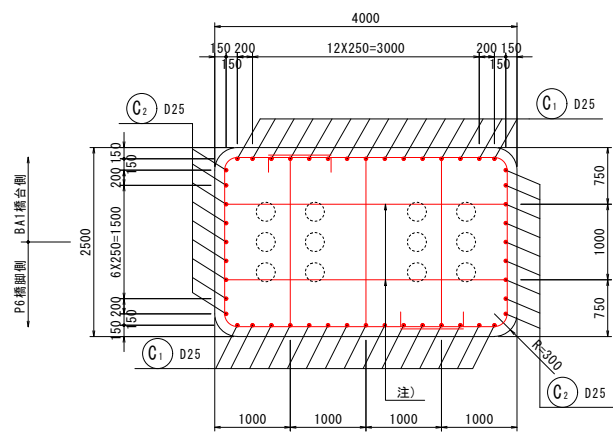
縮小版 30/36

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	BP1橋脚構造図		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

# BP1橋脚配筋図(その1) S=1:50

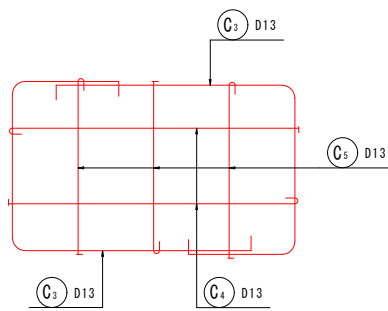


6-6  
(断面図)

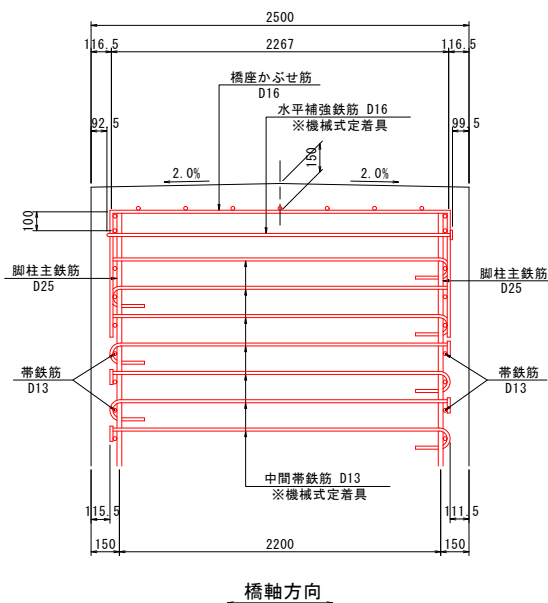


注) アンカー箱抜きに干渉する中間帯鉄筋(C4:上から7段目まで)は、適宜ずらして配置すること。

帯鉄筋組立図



柱部かぶり詳細図



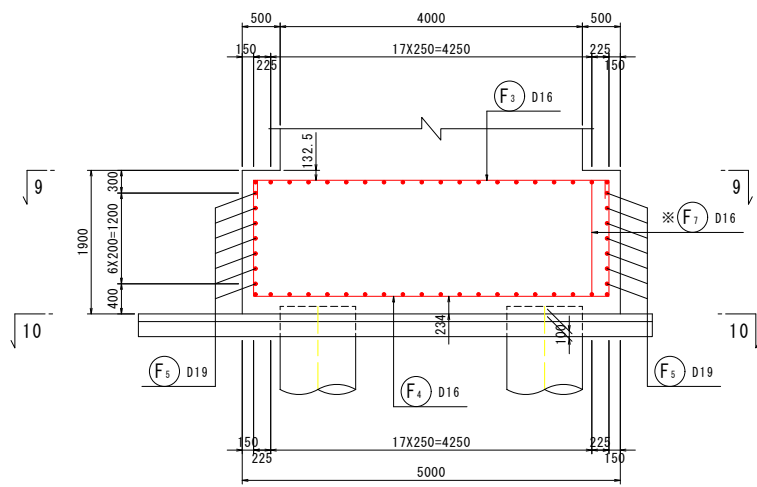
注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BP1橋脚配筋図(その1)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)



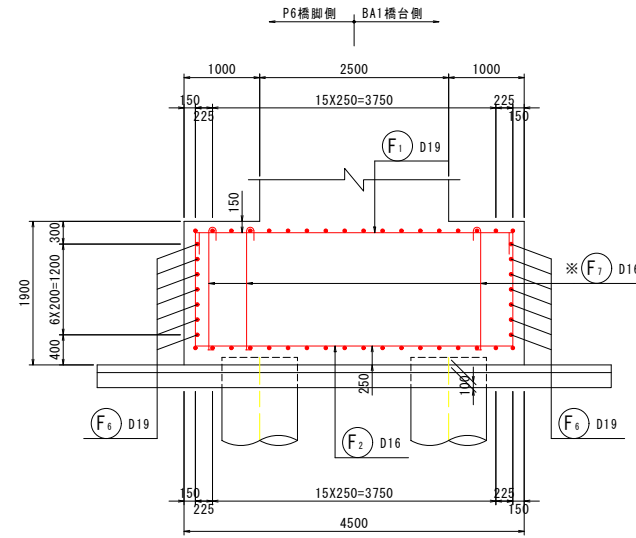
# BP1橋脚配筋図(その2) S=1:50

7-7



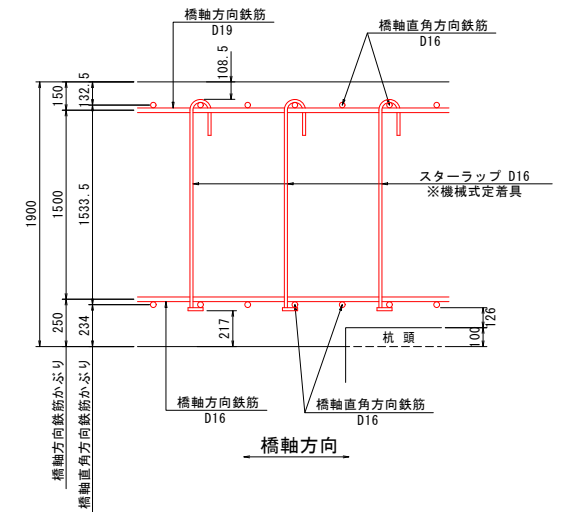
橋軸直角方向

8-8



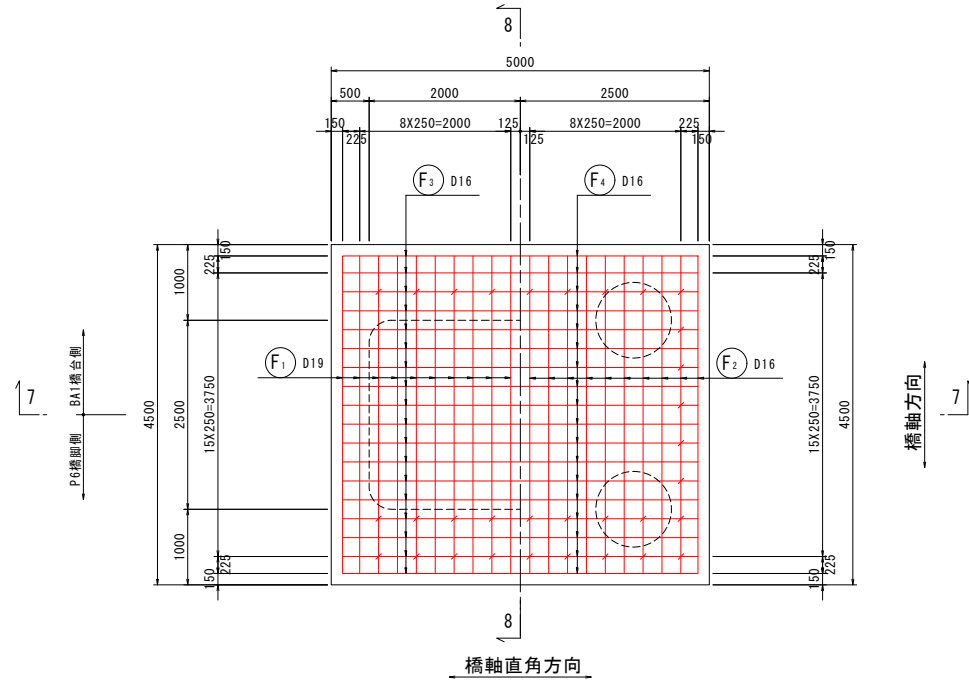
橋軸方向

底版部かぶり詳細図

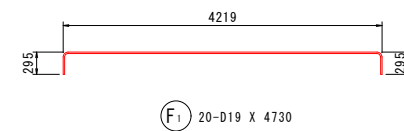


9-9 (上面)

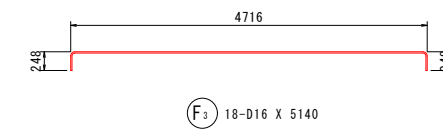
10-10 (下面)



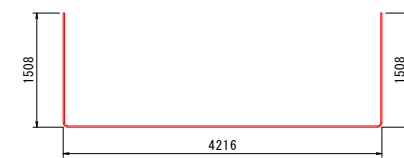
橋軸直角方向



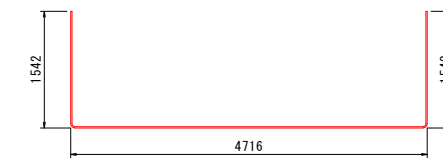
F1 20-D19 X 4730



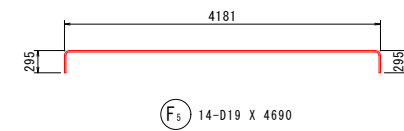
F3 18-D16 X 5140



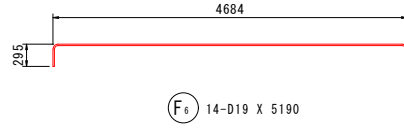
F2 20-D16 X 7160



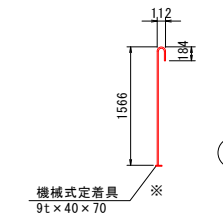
F4 18-D16 X 7730



F5 14-D19 X 4690



F6 14-D19 X 5190



F7 32-D16 X 1790

機械式定着具  
9t x 40 x 70

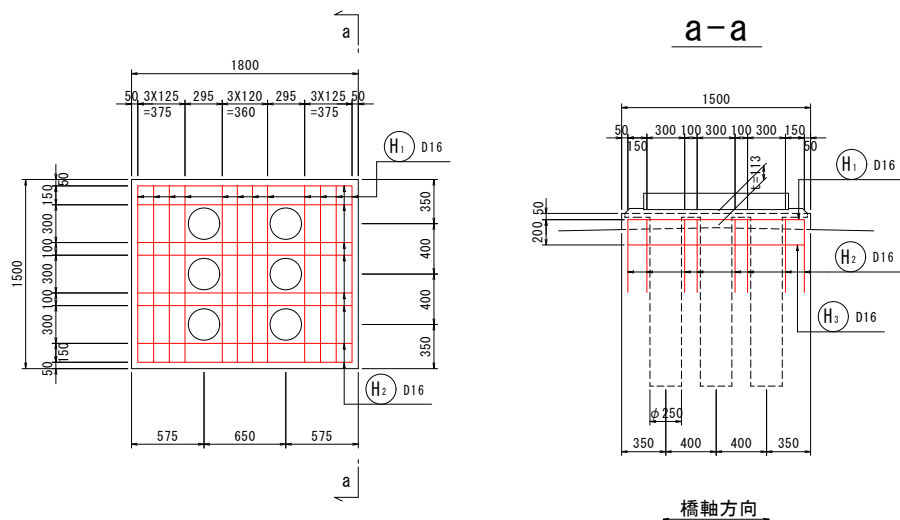
縮小版 32/36

注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

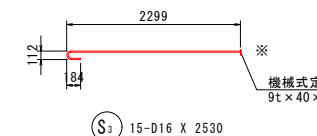
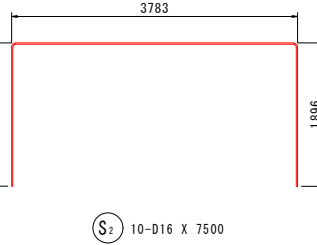
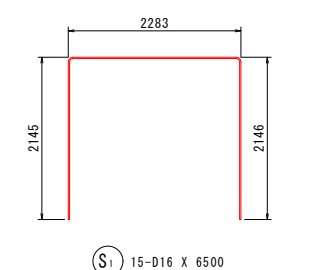
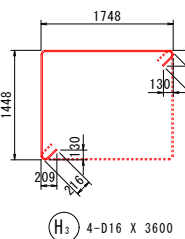
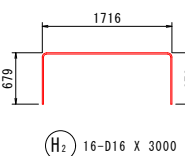
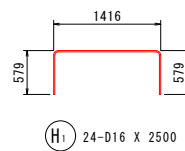
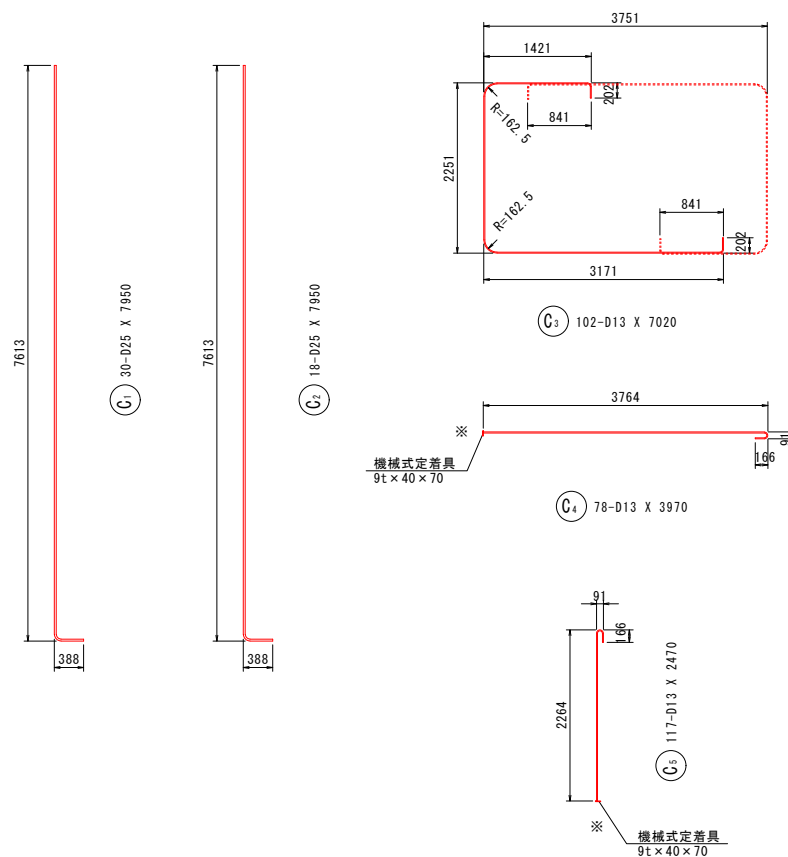
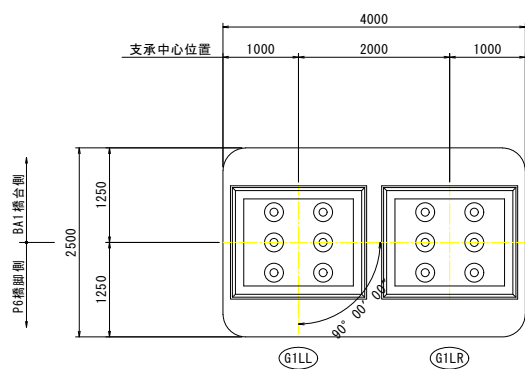
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BP1橋脚配筋図(その2)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

# BP1橋脚配筋図(その3) S=1:50

## 支承部台座コンクリート S=1:30 (N=2カ所)



## 支承配置図



## 鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C <sub>1</sub>	D25	7950	30	3.98	31.64	949	┆
C <sub>2</sub>	D25	7950	18	3.98	31.64	570	┆
C <sub>3</sub>	D13	7020	102	0.995	6.98	712	┆
※ C <sub>4</sub>	D13	3970	78	0.995	3.95	308	┆
※ C <sub>5</sub>	D13	2470	117	0.995	2.46	288	┆
2827							
F <sub>1</sub>	D19	4730	20	2.25	10.64	213	┆
F <sub>2</sub>	D16	7160	20	1.56	11.17	223	┆
F <sub>3</sub>	D16	5140	18	1.56	8.02	144	┆
F <sub>4</sub>	D16	7730	18	1.56	12.06	217	┆
F <sub>5</sub>	D19	4690	14	2.25	10.55	148	┆
※ F <sub>6</sub>	D19	5190	14	2.25	11.68	164	┆
※ F <sub>7</sub>	D16	1790	32	1.56	2.79	89	┆
1198							
H <sub>1</sub>	D16	2500	24	1.56	3.90	94	┆
H <sub>2</sub>	D16	3000	16	1.56	4.68	75	┆
H <sub>3</sub>	D16	3600	4	1.56	5.62	22	┆
191							
S <sub>1</sub>	D16	6500	15	1.56	10.14	152	┆
S <sub>2</sub>	D16	7500	10	1.56	11.70	117	┆
※ S <sub>3</sub>	D16	2530	15	1.56	3.95	59	┆
328							
合計		D25	1519	kg			
		D19	525	kg			
		D16	1192	kg			
		D13	1308	kg			
総質量			4544	kg			

## 機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数					
	0<L≤1m	1<L≤2m	2<L≤3m	3<L≤4m	4<L≤5m	5<L≤6m
D13	-	-	117	78	-	-
D16	-	32	15	-	-	-
D19	-	-	-	-	-	-
D22	-	-	-	-	-	-
D25	-	-	-	-	-	-
小計	-	32	132	78	-	-
合計						242

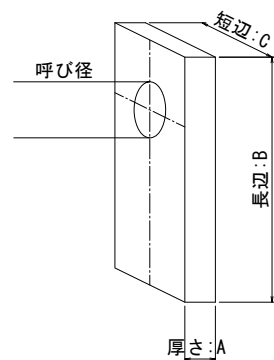
注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	BP1橋脚配筋図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

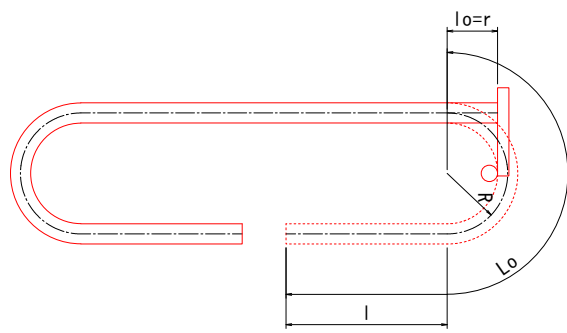
# BP1橋脚配筋図(その4) S=1:50

(参考図)

## 寸法図



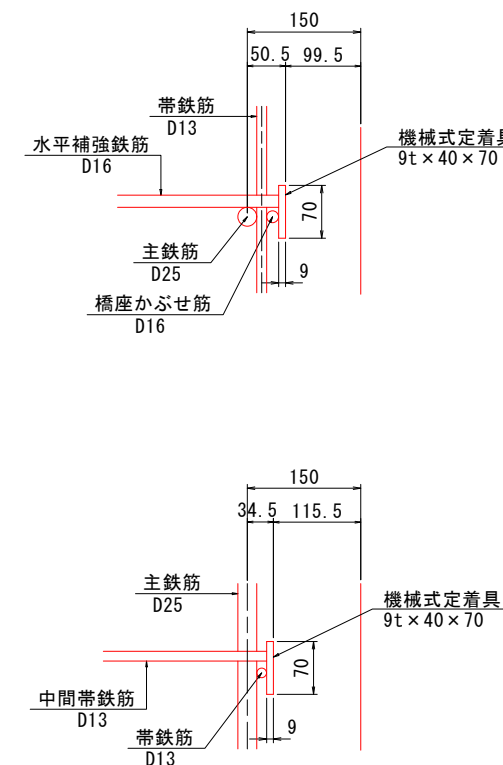
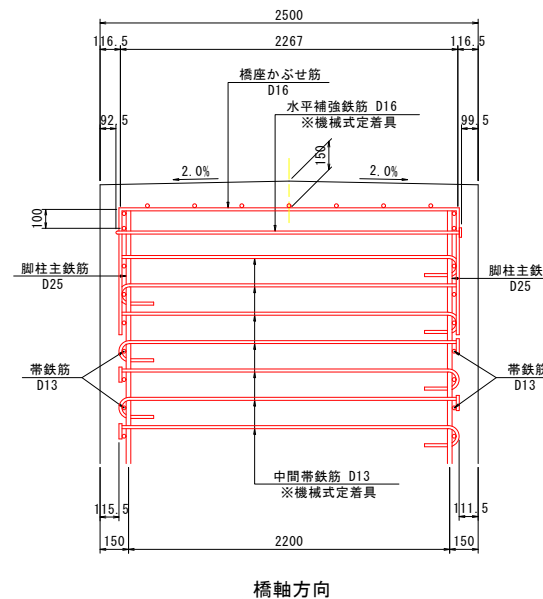
## 加工仕様



$L1 = L - L0 + l0$   
 $L0 = \pi R + l$   
 $l0 = r$   
 $r = R - D/2$

L1: ※機械式定着具の鉄筋長  
 L: 両端半円形フックの鉄筋長  
 R: 半円形フックの曲げ芯半径  
 r: 半円形フックの曲げ内半径  
 D: ※機械式定着具の鉄筋径

## 柱部水平補強筋・中間帯鉄筋詳細図



## 寸法表

定着プレートの寸法 (SD345, SD295適用)

せん断補強鉄筋呼び径		D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51
標準プレート寸法	A 厚さ	9	9	12	16	16	19	19	22	25	25	32
	B 長辺	70	70	80	80	90	90	90	-	-	-	-
	C 短辺	40	40	45	50	60	65	70	80	85	95	120
掛けられる鉄筋の呼び径	D13	70	70	80	80	90	90	90	80	90	95	110
	D16								85	90	95	115
	D19								85	90	100	115
	D22								90	95	100	120
	D25								95	95	105	120
	D29								95	100	105	125
	D32								100	100	110	125
	D35								95	100	105	130
	D38								75	95	105	130
	D41								75	75	85	95
D51	80	85	85	90	100	105	105	115	120	125	140	

※鉄筋種類がSD345, SD295以外、プレート材質がSM490以外、コンクリート強度が30N/mm<sup>2</sup>以上の場合、審査証明の詳細に従う。

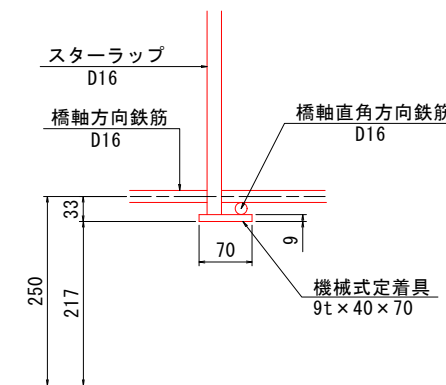
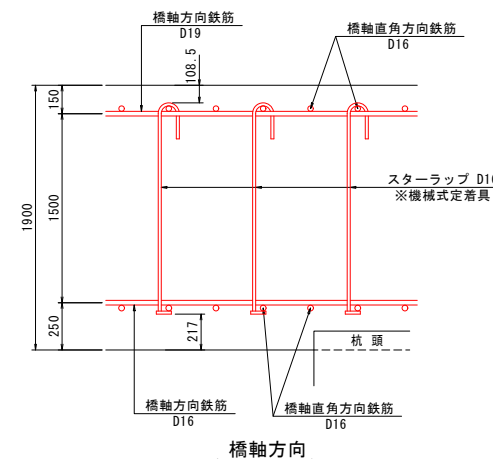
適用範囲(せん断補強鉄筋または中間帯鉄筋)

呼び名	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51	プレート材質
鉄筋の種類	SD295	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SM490, S35C, S45C
	SD345	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SM490, S35C, S45C
	SD390	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	SM490, S45C
	SD490	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	SM490, S45C

## 配置上の留意点

※機械式定着具のプレートおよびフックは掛けられる鉄筋と直交するようにする。

## 底版部スターラップ詳細図

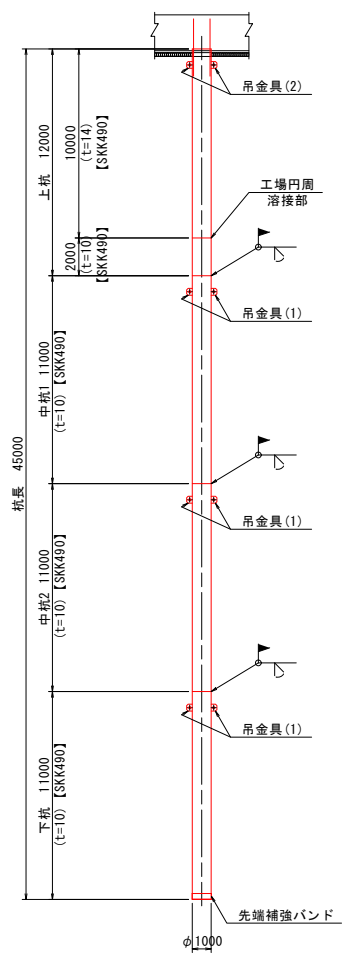


注記) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。  
 1. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)  
 注記) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり、製品を指定するものではない。

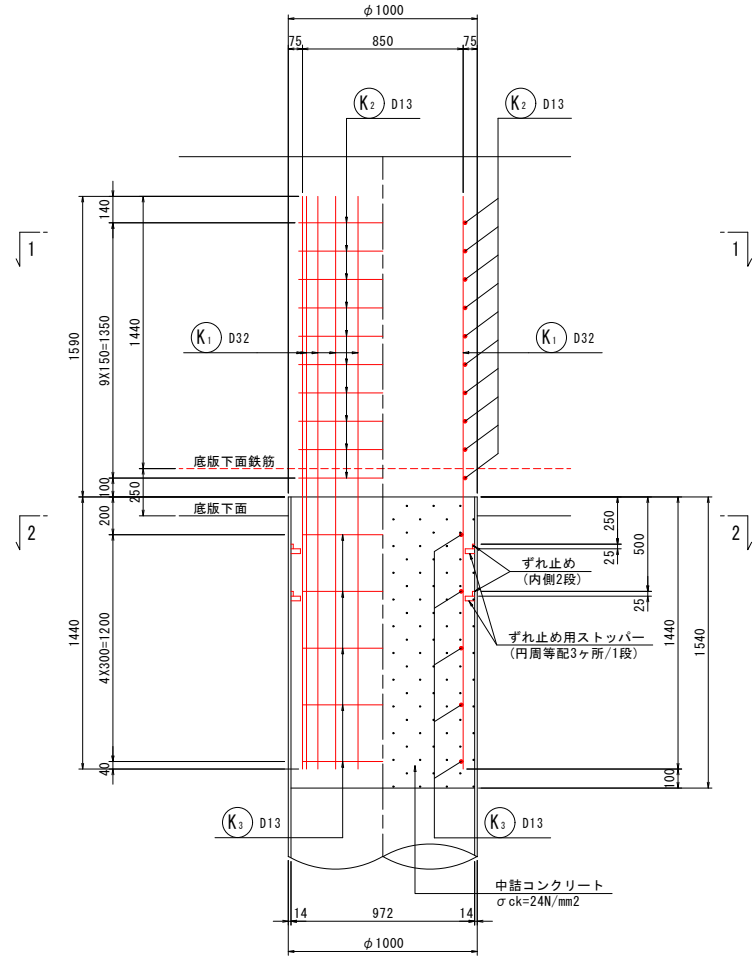
工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BP1橋脚配筋図(その4)
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

# BP1橋脚鋼管杭詳細図

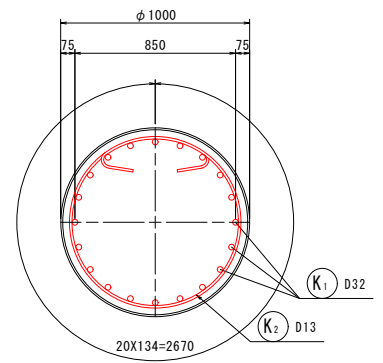
鋼管杭構成図 S=1:200



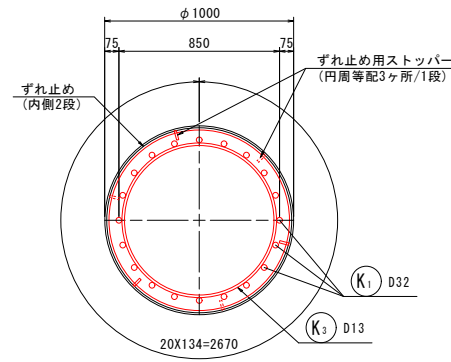
杭頭処理図 S=1:20



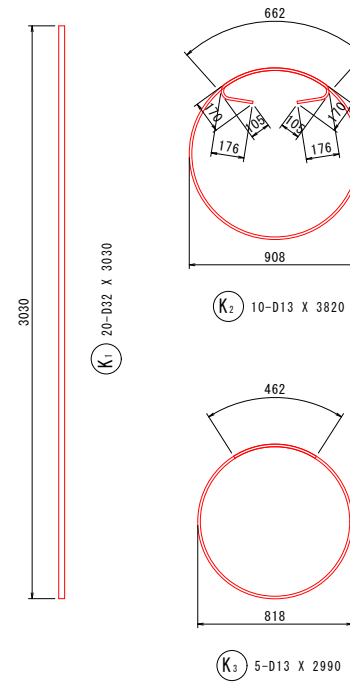
1-1



2-2



鉄筋加工図 S=1:20



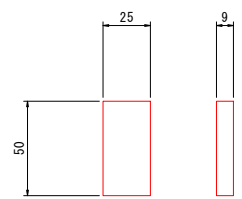
材料表

種別	形状寸法	単位	単位質量	本当り質量	本数	質量	材質	摘要
<b>鋼管</b>								
PIPE	φ 1000 x t 14 x 10 000	kg	340	3400	1	3400	SKK490	鋼管本体 上杭
"	φ 1000 x t 10 x 2 000	"	244	488	1	488	"	上杭
"	φ 1000 x t 10 x 11 000	"	244	2684	3	8052	"	中杭1, 2, 下杭
<b>杭頭・継ぎ手</b>								
PL	PL- 25 x 12 x 2981	kg	2.36	7.04	2	14.08	SS400	ずれ止め
"	PL- 25 x 9 x 50	"	1.77	0.0885	6	0.53	"	ずれ止めストッパー
"	PL- 50 x 4.5 x 3065	"	1.77	5.43	3	16.29	"	裏当てリング
"	PL- 6 x 12 x 30	"	0.565	0.0170	18	0.31	"	ストッパー
"	PL- 100 x 12 x 120	"	9.42	1.13	6	6.78	SM490A	吊金具(1)
"	PL- 100 x 16 x 120	"	12.6	1.51	2	3.02	"	吊金具(2)
"	PL- 300 x 12 x 3179	"	28.3	89.97	1	89.97	SS400	先端補強バンド
<b>鉄筋</b>								
K1	D 32 x 3030	kg	6.23	18.88	20	378	SD345	
K2	D 13 x 3820	"	0.995	3.80	10	38	"	
K3	D 13 x 2990	"	0.995	2.98	5	15	"	
			431 kg					
<b>頭部中詰コンクリート</b>								
V = 1/4 x			0.972 <sup>2</sup> x π x			1.540 = 1.143 m <sup>3</sup> σ <sub>ck</sub> =24N/mm		

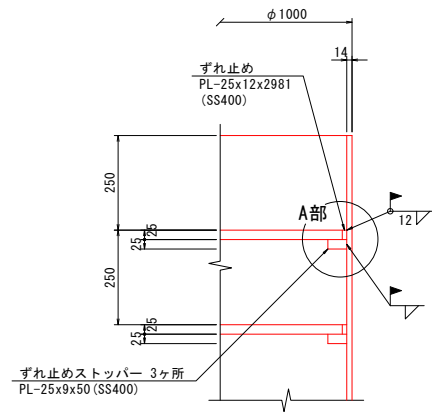
材料集計表

項目	寸法	単位	杭1本当り	数量	摘要
鋼管	φ 1000 x t 14	kg	3400	13600	SKK490
	φ 1000 x t 10	"	8540	34160	"
	小計	"		47760	
杭頭鉄筋	D 32	kg	378	1512	SD345
	D 13	"	53	212	"
	小計	"	431	1724	
プレート		kg	121.18	485	SS400
		"	9.80	39	SM490A
頭部中詰コンクリート		m <sup>3</sup>	1.143	4.57	σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup>

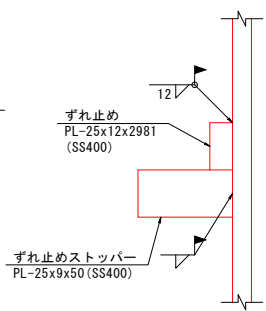
ずれ止めストッパー S=1:2



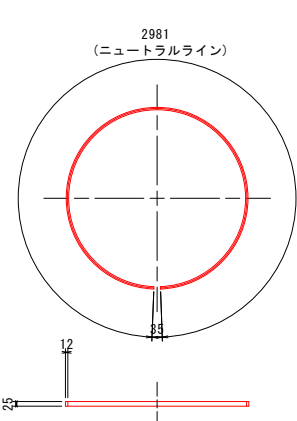
ずれ止め詳細図 S=1:10



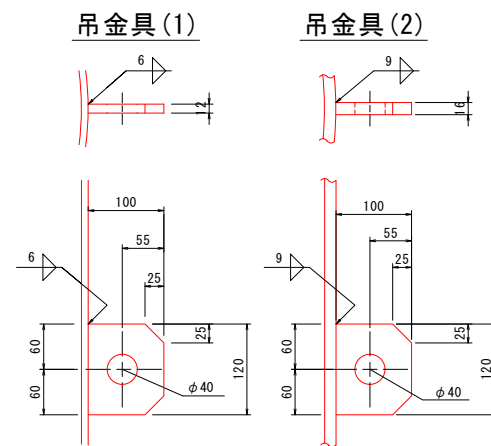
A部詳細図 S=1:2



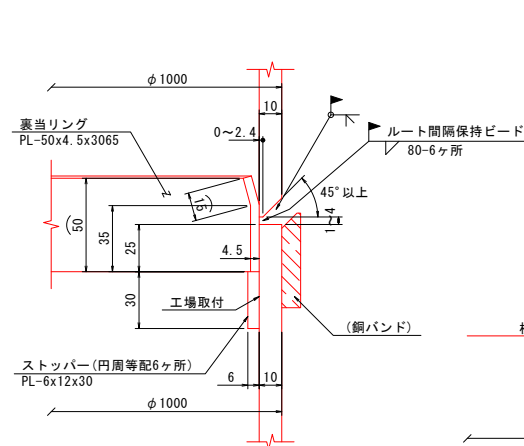
ずれ止め S=1:20



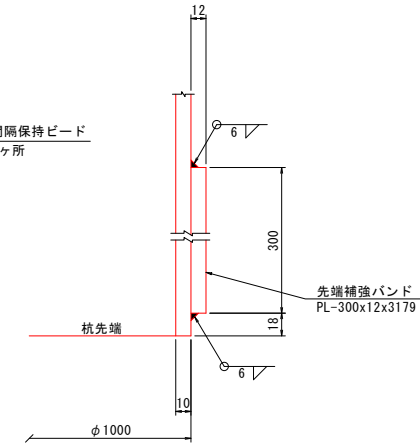
吊金具図 S=1:5



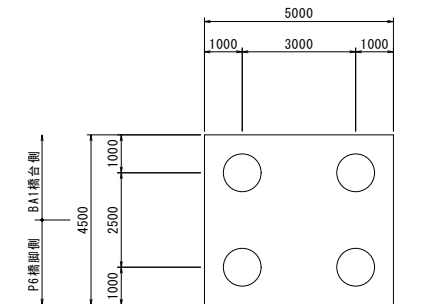
現場継手図 S=1:2



先端補強バンド詳細図 S=1:3



杭配置図 S=1:100

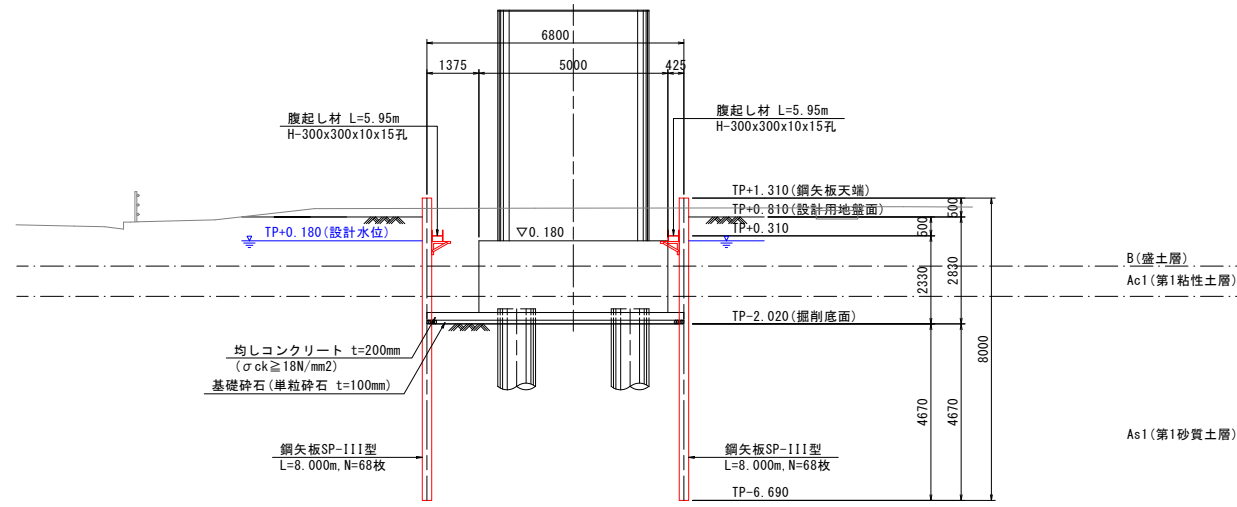


工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島東環状線
工事箇所	徳島市末広3丁目
図面名	BP1橋脚鋼管杭詳細図
縮尺	図示 図面番号 /
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)

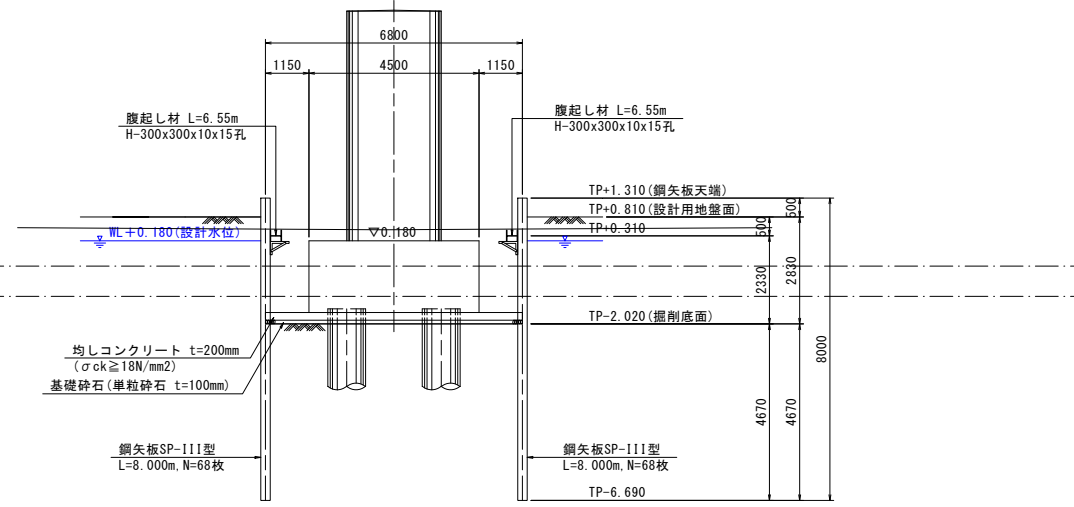
「本図面は新JISA0101(2003)に基づき作成した図面である」(外形寸法)

# BP1橋脚土留工詳細図 S=1:100

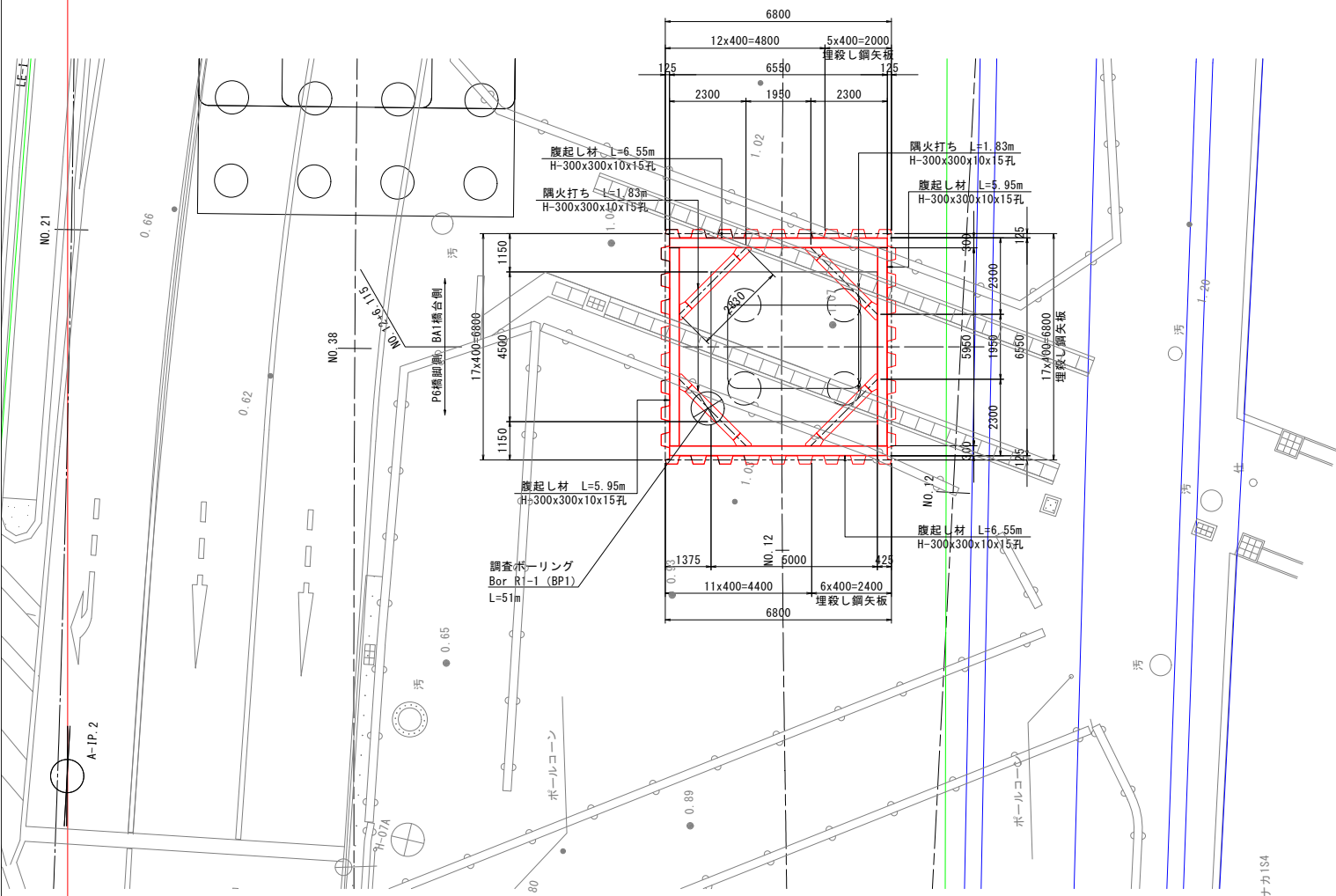
## 正面図



## 側面図



## 平面図



### 仮設土留工数量表

種別	鋼材形式	部材長 (mm)	本数 (枚)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
鋼矢板	111型	8000	40	60.0	480.0	19200	SY295
"	111型(埋設し分)	8000	28	60.0	480.0	13440	"
小計						32640 kg	
覆起し材	H-300×300×10×15孔	6550	2	100.0	655.0	1310	SS400 加工材
"	"	5950	2	100.0	595.0	1190	"
隅火打ち材	H-300×300×10×15孔	1830	4	100.0	183.0	732	SS400 加工材
小計						3232 kg	
副部材 A			3232 × 0.22			= 711 kg	
副部材 B			3232 × 0.04			= 129 kg	
合計						4072 kg	

注) 隅火打ち長は隅火打ち実長-1.0m(火打受ピース)を差し引いた長さである。

### 土質定数一覧表

地層名	記号	層厚 (m)	設計N値	単位重量 $\gamma t$ (kN/m <sup>3</sup> )	粘着力 C (kN/m <sup>2</sup> )	せん断抵抗角 $\phi$ (°)	変形係数 $\alpha E0$ (kN/m <sup>2</sup> )
盛土層(最上部層)	B	1.300	12	20	—	40.0	33600
第1砂質土層	Ac1	0.800	4	16	28	—	11200
第2粘性土層	As1	7.700	9	17	—	33.0	26000
第2粘性土層	Ac2-1	7.500	6	18	44	—	23600

縮小版

36/36

工事名	R1徳環 徳島東環状線 徳・末広3 高架橋下部工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島東環状線		
工事箇所	徳島市末広3丁目		
図面名	BP1橋脚土留工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	/
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		